

都合ト認ム

産組法 團體旅行貯金ニ關スル件 昭和三年度耕地整理事業及産業組合地方資金融通條件ニ關スル件 外一

一五六

九〇 團體旅行貯金ニ關スル件

昭和十五年八月二十日藏銀第二六五八號
大藏省銀行局長農林省經濟更生部長通牒

近時信用組合ニシテ貯金者ニ對シ或ハ聖地參拜或ハ名所舊跡巡リ其ノ他種々ナル名目ヲ附シ旅行（團體旅行）ノ便宜ヲ供與スル約定ノ下ニ特殊ノ貯金ノ募集ヲ爲スモノ有之候處右ハ組合ニ於ケル資金原價ヲ昂メ低金利ノ趨勢ニ反スル結果ヲ招來スル虞アルノミナラズ現下ノ交通統制並ニ消費規正上ヨリ觀ルトキハ該貯金ノ利廻、旅行名目ノ如何ニ不拘適當ナラサルモノト被認候ニ付爾今此ノ種貯金ノ新規募集ヲ嚴禁相成様致度此段及通牒候也

追而現ニ實行中ノモノニ付テモ右趣旨ニ依リ適當改善セシメラレ度申添候

九一 昭和三年度耕地整理事業及産業組合地方資金融通條件ニ關スル件

昭和四年一月七日四農第六五號

十二月二十八日附六商第四六四六號ヲ以テ中小商工業者等産業資金トシテ本道ニ對シ五百萬圓ノ配當有之右供給要項ニ依レハ北海道拓殖銀行又ハ産業組合中央金庫ヨリ信用組合ヲ經由シ中小商工業者等ニ供給セラルル場合ニ於テハ首題資金ニ比較シ融通利率利鞘預金ニ相當スル滯貨準備金ノ積立、貸付最高限度等ニ多少ノ差異アルノ外用途償還年限等ニ殆ト何等ノ差異ナク融通ノ趣旨目的ニ於テ變ルトコロナキ様被認候處本資金ニ就テハ首題資金ニ關スル貴省通牒ニ所謂別途積立金ノ積立、管理、使途、持分關係ニ付テノ定款變更ノ必要ノ有無ニ就テハ何等ノ通牒無之右ハ定款變更ヲ必要トセサル趣旨ニ依ルモノナリヤ若シ定款變更ノ必要ナシトセハ滯貨準備金ノ積立管理、使途持分其他ニ關スル處理ヲ如何ニスヘキモノナリヤ信用組合指導監督上必要有之候何分ノ義至急同示相成度

(乙 號)

首題ノ件ニ關シ一月十六日附産農第一九五五號ヲ以テ照會ノ趣了承今同融資決定ノ中小商工業者等産業資金ノ取扱ヲ爲ス各組合ニ於テハ義ニ融資決定セル信用組合經由中小商工業業者等ニ對スル資金取扱ノ場合ト同様（別紙参照）別途積立金ニ關シ定款變更ヲ爲ス等夫々處理スル

産組法 産業組合力會社ノ株式引受ニ關スル件

一五七

九二 信用組合經由中小商工業業者等ニ對スル資金融通ニ關スル件

昭和七年二月四日七農局第一七九號
農林省農務局長通牒

首題ノ件ニ關シ今回北海道廳長官ヨリ別紙甲號ノ通照會有之別紙乙號ノ通回答致置候條右御了知相成度此段及通牒候也

客年十二月十二日附六農局第四四五號ヲ以テ首題資金追加配當相成候處之ト前後シテ商工次官大藏次官ヨリ

ヲ要スル義ニ付右御了知相成度此段及回答候也
追而義ニ本件定款變更濟ノモノニ付テハ今回更ニ定款變更ノ必要無之爲念申添候也

九三 産業組合力會社ノ株式引受ニ關スル件

大正九年九月九農第一一八二二號

近時産業組合ニ對シ會社ノ株式ノ引受又ハ買入ヲ勸誘スル向有之ヤニ被存候處産業組合力資金利用ノ方法トシテ會社ノ株式ヲ取得スルハ必ラスシモ之ヲ禁止セサル處ナルモ弊害ヲ伴フ虞多キヲ以テ慎重ニ詮議スルコトヲ要シ殊ニ會社力組合ノ事業ト同一又ハ類似ノ事業ヲ營ム場合ニ在リテハ其株式ノ取得ハ組合又ハ聯合會ノ發達ヲ妨クル惧アルヲ以テ其ヲ認メサル方可然ト存候ニ付豫メ御了知相成度爲念此段及通牒候也

九四 蕪絲關係ノ產業組合及同聯合會ノ華中蠶絲株式會社株式取得ニ關スル件

昭和十四年一月廿六日一四更第四三二號
農林省經濟更生部長通牒各地方長官宛
(北海道、青森、和歌山、佐賀、大阪、大分ヲ除ク)

過般設立セラレタル華中蠶絲株式會社ハ日支兩國蠶絲業ノ調整ヲ圖リ其ノ健全ナル發達ニ資セントスルモノニ有之我國ニ於テハ全蠶絲業關係者ニ於テ其ノ資力ニ應シ之カ株式ヲ引受クルコトト相成候處蕪絲關係ノ產業組合及同聯合會ニ於テモ應分ノ取得ヲ爲スハ本會社設立ノ趣旨ニ鑑ミ己ムヲ得サルモノト被存候ヘ共之カ爲ニ苟モ組合本來ノ事業經營ニ支障ヲ來スカ如キコト無之様充分留意スルノ要有之從テ其ノ取得及取得株式數ニ付テハ當該組合ノ財務狀況等ヲ充分考慮ノ上決定セシムルコトトシ之カ取得ニ付テハ定款ニ規定セシムルト共ニ其ノ取得株式數ニ付テモ貴官ノ認可ヲ受ケシムル様致度此段及通牒候也

追テ定款變更及取得株式數ノ認可ニ當リテハ豫メ本省ニ打合セ相成度申添候

九五 產業組合ノ餘裕金管理運用方法トシテノ金錢信託ニ關スル件

昭和十六年三月三日一六總第三二四號
大藏省銀行局長農林省總務局長通牒

標記ノ件ニ關シテハ產業組合法施行規則第十一條ノ四ノ規定ニ依ラシムルノ外今後左記條件ヲ具備スル場合ニ限リ之ヲ行ハシムル様貴管下產業組合ノ指導方御取計相成度尙餘裕金ノ圓滑ナル管理運用ヲ期スル爲金錢信託ニ偏スルコトナカラシムル様督勵相成度此段及通牒候也

追而產業組合ノ積立金若ハ餘裕金ノ運用又ハ管理方法トシテノ信託預金ニ關スル大正十五年度農局第一〇九號通牒ハ本通牒ニ依リ廢止セラレタルモノニ付爲念申添候

記

- 一、定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定シタル場合ナルコト
- 1、信託會社ニ付テハ總會ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ルコト
- 2、信託ノ種類(特定金錢信託、指定金錢信託、特定及指定ナキ金錢信託ノ別)尙特定金錢信託ニ在リテハ其ノ運用方法ヲ當該產業組合カ取得シ得ル有價證券ニ特

定スル場合ニ限ルコト

3、信託期間ハ二ケ年ヲ超エサルコト

二、當該產業組合ヲ元本及利益ノ受益者ト爲スコト

三、指定金錢信託又ハ特定及指定ナキ金錢信託ニ在リテハ元本ニ損失ヲ來シタル場合ニ於テハ其ノ損失額ノ全額ニ對シ補填セシムルノ契約ヲ爲シタル場合ニ限ルコト

九六 產業組合ノ公社債應募ニ關スル件

昭和十四年八月十二日發更第七五八八號
農林省經濟更生部長大藏省銀行局長通牒
產業組合中央金庫理事長宛

(甲 號)

七月二十七日附ヲ以テ首題ノ件ニ關シ何出相成候處產業組合(同聯合會ヲ含ム以下同ジ)ノ新規發行ノ公社債ノ取得ハ原則トシテ產業組合中央金庫ヲ通ジ又ハ之ガ諒解ヲ得テ爲サシムルヲ適當ト被認候ヘ共特殊ノ事情アル場合ニ於テ確實且市場性アルモノニ付地方長官ノ承認ヲ經テ產業組合ガ直接之ガ應募ヲ爲スハ差支無之モノト被存候條此段及回答候也

追而產業組合ガ公社債ニ對シ應募ヲ爲スコトヲ得ルハ定

產組法 產業組合ノ公社債應募ニ關スル件

款ニ於テ其ノ旨ヲ定メタル場合ニ限ルハ勿論ナル儀ニ有之爲念申添候

產業組合ノ公社債應募ニ關スル件

昭和十四年八月十二日一四更第七五八八號
經濟更生部長銀行局長通牒
產業組合中央金庫理事長宛

近時產業組合(同聯合會ヲ含ム以下同ジ)ニ於テ直接公社債ノ應募ヲ希望スル尙有之產業組合金融統制團ヨリ產業組合ノ公社債應募ニ關スル方針ニ關シ別紙乙號ノ通り何出相成候ニ就テハ別紙甲號ノ通り回答致置候條右御諒知ノ上可然處理相成度此段及通牒候也

產業組合ノ公社債應募ニ關スル件

昭和十四年八月十二日一四更第七五八八號
經濟更生部長銀行局長通牒

近時產業組合(同聯合會ヲ含ム以下同ジ)ニ於テ直接公社債ノ應募ヲ希望スル尙有之產業組合金融統制團ヨリ產業組合ノ公社債應募ニ關スル方針ニ關シ別紙乙號ノ通り何出相成候ニ就テハ別紙甲號ノ通り回答致置候條右御諒知ノ上可然指導相成度此段及通牒候也

追而別紙甲號中產業組合ノ公社債ノ應募ヲ認ムル特殊ノ

產組法 產業組合中央金庫ノ債券購入特約預金取扱開始ニ關スル件

事情アル場合ハ狹義ニ解シ濫ニ陥ルコトナキ様致度ニ付、其ノ取扱ニ關シテハ農林大藏兩當局ニ打合相成度申添候
(乙 號)
信用組合聯合會ノ社債應募ニ關スル件

昭和十四年七月二十七日
農林大臣 大藏大臣 宛
產業組合金融統制團長
產業組合中央金庫理事長 何

從來產業組合ガ其ノ餘裕金運用方法トシテ社債ヲ買入ル、コトハ認ムルモ之ニ應募スルコトハ妥當ナラズトノ建前ヨリ之ヲ認メザル御方針ノ由以聞致シ居リ候處今般資金調整法關係ニテ岐阜縣信用組合聯合會ヨリ日本製鐵株式會社及南滿洲鐵道株式會社ノ社債應募方協議ヲ相受候就而此ノ際本問題ニ關スル確タル御方針ノ御指示ヲ得之ニ則リ本件ヲ處理致シ度ク存ジ候間產業組合ノ社債應募ニ關スル御方針ノ御指示ヲ相願度此之段及何候也

九七 產業組合中央金庫ノ債券購入特約預金取扱開始ニ關スル件

昭和十五年九月十八日藏銀第二九一七號
大藏省銀行局長 農林省經濟更生部長 通牒

今般產業組合中央金庫ニ於テハ別紙要項ニ依リ市街地信用組合ヨリノ債券購入特約預金ノ取扱ヲ開始スルコト相成候處右特約預金創設ノ趣旨ハ最近ニ於ケル市街地信用組合ノ貯金増加ノ趨勢ニ顧ミ其ノ増加貯金ノ一部分ヲ中央金庫ニ預入セシメ之ヲ國債、興業債券其ノ他ノ有價證券ノ購入ニ充ツルノ途ヲ拓キ以テ組合ノ餘裕金消化ノ便宜ヲ圖ルト共ニ國債ノ消化、起債市場ノ圓滑化ニ資セントスルモノニシテ、現下ノ金融狀態ニ徴シ頗ル適切ナル施設ト被認候條貴官ニ於テモ管下ノ市街地信用組合ニ對シ、事業不振ニシテ資金ニ餘裕ナキモノヲ除キ全組合ヲシテ本施設ヲ利用セシムル様積極的ニ御指導相成様致度此之段及通牒候也

債券購入特約預金取扱要項

- 一、本預金制度ノ目的
市街地信用組合ノ貯金増加ノ傾向ハ頗ル顯著ナルモノアルヲ以テ其ノ増加貯金ノ一部分ヲ組合力當金庫ニ預入シ右資金ヲ國債、興業債券其他ノ有價證券ノ購入ニ充ツル途ヲ拓キ以テ組合ノ餘裕金消化ノ便宜ヲ圖ルト共ニ國債ノ消化、起債市場ノ圓滑化ニ資セントス
- 二、預り條件
イ、預ケ主

市街地信用組合

ロ、預ケ入金額ノ限度並ニ預ケ入期限
組合ノ毎月貯金増加額ノ三分ノ一ヲ預ケ入金額ノ最低基準トシ其ノ翌月中ニ預ケ入ルルモノトス預ケ入基準並預ケ入期限ハ每六ヶ月毎ニ豫メ預ケ主ト約定スルモノトス

ハ、預り期間

本預金ヲ以テ有價證券購入ニ充ツルトキ迄トス
但シ本預金ノ第一回預ケ入後一ケ年ヲ經タルトキハ預ケ入契約繼續ノ申込ナキ限り拂戻期限到來スルモノトス

三、預り利率

日歩八厘

本預金ニ付テハ特別配當ヲナサズ

四、本預金ニヨル債券購入ノ方法

イ、購入債券ノ種類
國債ノ外差當リ特殊法人債券、政府保證債券ニ限定スルモノトス

ロ、各組合ニ對スル購入債券ノ割當

各組合毎ニ預入額ノ二割(組合ノ希望ニ依リ二割以上トナスヲ妨ゲズ)ヲ先ツ事變國債ノ購入ニ當テ殘額ハ

產組法 產業組合及同聯合會ノ有價證券取得ニ關スル件

當金庫カ新規發行債券ノ一括引受ヲ爲シタル場合本預金預ケ主組合ニ對シ各預ケ入金額ニ應シ優先的ニ割當ツルモノトス
前記ノ割當ハ大藏、農林兩省ノ諒解ヲ得タル上產業組合金融統制團ニ於テ市信協ト協議ノ上之ヲ爲ス

五、債券購入後ノ措置

本預金ヲ以テ購入セル債券ハ之ヲ各組合ニ交付スルコトナク其ノ儘當金庫ニ於テ保護預リトナス

組合ニ於テ右債券ヲ處分スル必要ヲ生シタルトキハ產業組合金融統制團ヲ通シ大藏、農林兩省ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノトス

九八 產業組合及同聯合會ノ有價證券取得ニ關スル件

昭和十四年十一月十日一四更第九八七號
農林省經濟更生部長 大藏省銀行局長 通牒

國民貯蓄ノ趣旨徹底等ニ依リ產業組合及同聯合會(以下單ニ產業組合ト稱ス)ノ資金狀態ノ變化ニ鑑ミ其ノ餘裕金ノ管理運用ノ方法ニ付テハ充分戒心ヲ要スルモノ有之、產業組合ノ公社債ノ應募ニ依ル有價證券取得ニ關シテハ義ニ八月十二日附一四更第七五八八號ヲ以テ通牒致置候處今般產

業組合中央金庫ニ於テ産業組合ノ有價證券投資ノ統制ニ一層力ヲ致スコトト相成候ニ付テハ産業組合ノ有價證券ノ買入、管理及處分ニ付テモ左記方針ニ依リ御指導御督勵相成度此段及通牒候也

追而産業組合中央金庫ニ於テハ右ノ産業組合金融事情ノ趨勢ニ鑑ミ今年十月一日ヨリ別紙要綱ニ依リ長期預リ金制度ヲ開始シ餘裕金管理運用ニ資スルコトト相成候條爲念申添候

記

- 一、餘裕金ノ管理運用ノ爲ニスル有價證券ノ取得ニ關スル定款ノ規定ニ於テ産業組合中央金庫ノ認ムル有價證券ニ付テハ其ノ銘柄ヲ具體的ニ、列舉的ニ規定セズシテ「産業組合中央金庫ノ認ムル有價證券」ナル字句ヲ以テ之ヲ定ムルモ差支ナキコト
- 二、國債及産業組合中央金庫ノ認ムル有價證券以外ノ有價證券ノ餘裕金管理運用ノ爲ニスル取得ノ指導監督ニ付テハ今後豫メ其ノ銘柄ニ付農林大藏兩當局ト打合ヲ爲スコト
- 三、産業組合ノ有價證券ノ買入管理又ハ處分ニ付テハ成ル可ク産業組合中央金庫ヲ利用セシムルコト
- 四、産業組合ノ有價證券取得ニ因リ系統機關利用ノ本旨ニ

反スルガ如キコトナキ様充分指導監督シ特ニ單位産業組合ノ有價證券取得ニ付テハ慎重ヲ期セシムルコト

産業組合及同聯合會ノ有價證券取得ニ關スル件

昭和十四年十一月十日一四更第九八五號
農林省經濟更生部長大藏省銀行局長通牒
産業組合中央金庫理事長宛

首題ノ件ニ關シ本日附ヲ以テ各地方長官宛別紙ノ通牒候條右運用ニ關シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

長期預リ金取扱要項 (昭和十五年五月改訂)

- 一、預リ 先 所屬信用組合聯合會及所屬信用組合
- 一、約定期間 五ヶ年
- 一、利率 年三分五厘
- 一、利息計算期 每六ヶ月
- 一、一件金額 參萬圓以上百萬圓以内
- 一、預入制限
 - (1) 信用組合聯合會ニ在リテハ其ノ中央金庫ニ對スル定期預ケ金額ノ五割以内
 - (2) 信用組合ニ在リテハ其ノ中央金庫及信用組合聯合會ニ對スル預ケ金合計額ノ參割以内但シ場合ニヨリ預入ヲ謝絶スルコトアルヘシ

- 一、本預リ金ニ對シテハ特殊ノ特別配當ヲナスモノトス
 - 一、本預リ金ニ代理所扱ヲ認ムルモノトス
- * (昭和十五年十二月十二日改訂ス)

九九 地方金利平準化ニ關スル件

昭和十四年八月二十三日藏銀第二六三號
大藏省銀行局長農林省經濟更生部長通牒

地方金利ノ平準化ハ貴官ノ御盡力ト關係各方面ノ協力トニ依リ格段ノ效果ヲ收メ、昨年來全國各道府縣ニ於テハ夫々金融懇談會ノ成立ヲ見タルト共ニ異種金融機關ノ間ニ預貯金利率ノ協定締結セラレ地方金利ハ相當低下セラレタル様被認候處今後金利平準化ノ一層ノ徹底ヲ期スルハ現下ノ經濟情勢ノ下ニ於テ最モ緊要ト被存候ニ付左記ニ依リ十分御指導相成度此段及通牒候也

記

- 今後ニ於テハ指導ノ重點ヲ左ノ三點ニ置クコト
- 協定金利ノ勵行確保
- 金利平準化ノ徹底
- 金融懇談會ノ内容ノ充實
- 第一 協定金利ノ勵行確保

産組法 地方金利平準化ニ關スル件

- 第二 金利平準化ノ徹底
- 一、別紙地方金利指導目標ニ照シ、尙協定金利引下ノ餘地アル地方ニアリテハ目標ニ向ツテ更ニ引下ヲ指導ス

- 一、會員ニ對シ機會アル毎ニ協定金利ヲ勵行スル様嚴重注意スルコト
- 二、常ニ協定金利ノ實行情況ノ監視ヲ怠ラズ、違反ノ疑アル場合若クハ違反ノ風評ヲ聞込ミタル場合ニハ其ノ都度出來得ル限り迅速且ツ詳細ニ其ノ事實ヲ大藏、農林兩省ニ通報スルコト
- 三、違反ヲ發見シタルトキハ之ガ是正ヲ求ムル等適當ナル措置ヲ講ズルト共ニ其ノ事實ヲ大藏、農林兩省ニ通報スルコト
- 尙、大藏、農林兩省ニ於テハ金利協定ノ實行狀況調査ノ爲必要ニ應ジ之ノミヲ目的トスル金融機關ノ實地検査ヲ行フコト、シ現在逐次實行中ナリ
- 四、金融機關ノ中ニハ預貯金者ニ對シ物品ヲ贈與スル等ノ方法ニヨリ過度ノサービスヲ爲シ以テ實質上協定金利ノ違反ヲ敢テスルモノアルガ如ク聞及ニ付、斯ルコトナキ様監視スルト共ニ出來得ベクンバ預貯金者ニ對スルサービスノ範圍ニ付テモ相互ニ協定ヲ爲ス様指導スルコト

産組法 地方金利平準化ニ關スル件

ルコト

右指導ニ當リテハ大藏、農林兩省ト十分打合ノ上實行スルコト

二、現在既ニ大體ニ於テ右目標點ニ到達セル地方ニアリテハ專ラ主力ヲ現協定金利ノ勵行確保ニ注ギ、金利ノ全面的再引下ハ當事者ノ一致セル自發的要望アルマデ其ノ機會ヲ待ツコト

三、銀行、信用組合聯合會並ニ信用組合ノ金利相互間、管内各地域ノ金利相互間若ハ同一銀行本支店ノ金利相互間ニ均衡ヲ得ザル地方ニアリテハ之ガ是正ニ努ムルコト

四、金利協定ニ參加セザル信用組合ニ付テハ地方金利指導目標ニ準據シ産業組合中央會支會、信用組合聯合會ト相協力シ個々ノ組合ニ付具體的目標ヲ定メ積極的ニ金利ノ低下ニ努ムルコト

第三、金融懇談會ノ内容ノ充實

一、金融懇談會ノ會則ノ制定ナキ地方、又ハ會則、役員ノ組織等ニ不備ノ點アル地方ニ於テハ之ヲ整備スルコト

二、金融機關ニシテ金融懇談會ニ加入スルヲ適當トスルニ拘ラズ未ダ加入セザルモノアル地方ニ於テハ之ガ加入ヲ極力勸奨スルコト

入ヲ極力勸奨スルコト

(イ) 銀行(日本銀行ヲ除ク)、信用組合聯合會ハ凡テ加入セシムルコト

(ロ) 市街地信用組合及其他ノ信用組合ニシテ産業組合中央會支會及信用組合聯合會ノ意見ヲ徴シ特ニ銀行ト協調ヲ保ツ上ニ於テ金融懇談會ニ加入スルヲ適當トスル信用組合ニ付テハ成ル可ク之ヲ加入セシムルコト

(ハ) 信託會社並ニ無盡會社ハ金利協定ニハ加入セシムルヲ適當トセザルモ金融懇談會ニハ成ル可ク加入セシムルコト

三、金利ノ問題ハ勿論國民貯蓄ノ獎勵、國債ノ消化、金ノ買上等各種金融機關ニ共通ノ問題ニ付テハ出來得ル限リ金融懇談會ヲ活用スル等其ノ活動分野ノ擴充ヲ圖ルコト

(附) 金融懇談會開催要領

一、金利再協定ノ必要存スルト否トニ拘ラズ、今後尠ク共毎年大凡二回位ハ金融懇談會ヲ開催セシムルコト

二、金融懇談會ノ開催ニ當リテハ、大藏、農林兩省ヨリ關係官派遣ノ都合モ存スルヲ以テ隣接縣ト打合ノ上成ル可ク日ヲ接シテ會合ヲ行フコトトシ其ノ日取ヲ

速ニ大藏、農林兩省ニ通報スルコト

三、金融懇談會ニ於ケル懇談豫定事項ハ事前ニ出事得ル限リ速ニ大藏、農林兩省ニ通報ノ上十分打合スルコト

地方金利指導目標

一、銀行定期預金利率

(イ) 特別銀行並ニ國債引受シンジケート加盟銀行 年利三分三厘

(ロ) 地方大銀行 年利三分四厘乃至三分五厘以下

(ハ) 其他ノ銀行 年利三分五厘以下

二、貯蓄銀行据置貯金利率

當該銀行ノ資力信用、普通銀行トノ競争關係等ヲ考究シ定期預金利率ヲ超エザル範圍内ニ於テ適當ニ定ムルコト

三、信用組合聯合會ノ定期貯金及据置貯金ノ利率 原則トシテ年利三分五厘以下

但シ特殊ノ事情ノ爲急速ニ年利三分五厘マデ引下ノ困難ナルモノニ於テモ、差當リ年利三分六厘迄引下グルコト

四、信用組合ノ定期貯金及据置貯金ノ利率 信用組合聯合會ノ金利ニ準ジ原則トシテ年利三分五厘以下ヲ目標トスルコト

(イ) 尠ク共市街地信用組合ノ員外貯金ノ利率ハ地元銀行

産組法 地方金利平準化ニ關スル件

ト同率トスルコト

市街地信用組合ニ於テハ其他ノ貯金ノ利率ニ付テモ特ニ地元銀行ノ利率トノ均衡ヲ慎重ニ考慮シ、出事得ル限リ之等ノ銀行ノ利率ト同率トスルコト

(ロ) 其他ノ信用組合ニ付テモ信用組合聯合會ノ金利ニ準ジ原則トシテ年利三分五厘以下ヲ目標トスルコト、但シ左ニ掲グル如キ特殊ノ事情アリ直ニ之ニ據リ難キモノニアリテモ出來得ル限リ金利ノ低下ニ努ム事情已ムヲ得ザル場合ヲ除キ原則トシテ年利三分八厘以下トスル様指導スルコト

(1) 設立尙日淺キ組合

(2) 販賣購買利用事業資金ノ著シク不足セル組合

(3) 僻地ニ在ル組合

(4) 其他地方廳ニ於テ特殊事情アリト認メタル組合

五、銀行、信用組合聯合會並ニ信用組合ノ定期預貯金及据置貯金以外ノ預貯金ノ利率 定期預貯金並ニ据置貯金ノ利率ノ引下ニ伴ヒ漸次引下ヲ實行シ、之等ノモノト均衡ヲ得ル様指導スルコト

六、無盡會社ノ掛金利率 掛金表ノ預金利率ハ年三分以下(特別ノ事情アル場合ト雖モ三分五厘以内)ト爲サシムル様指導スルコト

産組法 地方金利平準化ニ關スル件

加入者ノ都合ニ依リ未給付口掛金ノ先掛ヲナス場合割引ヲ行フ地方ニ於テハ之カ割引利率ハ銀行ノ預金協定利率ノ範圍内ト爲サシムル様勸奨スルコト

七、信託會社金銭信託ノ受益者配當率

地方ニアル信託會社ニ於ケル金銭信託ノ受益者配當率ハ出來得ル限り中央ノ配當率ニ接近セシムル様勸奨スルコト

地方金利指導目標

一、銀行定期預金利率

(イ) 特別銀行並ニ國債引受シンジケート加盟銀行

年利三分三厘 差當り年利三分四厘以下

(ロ) 地方大銀行 年利三分四厘乃至三分五厘以下

(ハ) 其他ノ銀行 年利三分五厘以下

特殊ノ事情アルモノ若ハ急速ニ年利三分五厘マデ引下ノ困難ナルモノニ於テハ差當り年利三分六厘以下トスルコト

二、貯蓄銀行据置貯金利率

當該銀行ノ資力信用、普通銀行トノ競争關係等ヲ考究シ

定期預金利率ヲ超エザル範圍内ニ於テ適當ニ定ムルコト

三、信用組合聯合會ノ定期預金及据置貯金ノ利率

原則トシテ年利三分五厘以下

但シ特殊ノ事情ノ爲急速ニ年利三分五厘マデ引下ノ困難ナルモノニ於テモ、差當り年利三分六厘迄引下グルコト

四、信用組合ノ定期貯金及据置貯金ノ利率
信用組合聯合會ノ金利ニ準ジ原則トシテ年利三分五厘以下ヲ目標トスルコト

(イ) 尠ク共市街地信用組合ニ於テハ其ノ他ノ貯金ノ利率ニ付テモ特ニ地元銀行ノ利率トノ均衡ヲ慎重ニ考慮シ、出來得ル限り之等ノ銀行ノ利率ト同率トスルコト

(ロ) 其ノ他ノ信用組合ニ付テモ信用組合聯合會ノ金利ニ準ジ原則トシテ年利三分五厘以下ヲ目標トスルコト但シ左ニ掲グル如キ特殊ノ事情アリ直ニ之ニ據リ難キモノニアリテモ出來得ル限り金利ノ低下ニ努メ事情止ムヲ得ザル場合ヲ除キ原則トシテ年利三分八厘以下トスル様指導スルコト

(1) 設立尙日淺キ組合

(2) 販賣購買利用事業資金ノ著シク不足セル組合

(3) 僻地ニ在ル組合

(4) 其ノ他地方廳ニ於テ特殊事情アリト認メタル組合

五、銀行、信用組合聯合會並ニ信用組合ノ定期預貯金及据置貯金以外ノ預貯金ノ利率

金利ノ低下ヲ期セシムル様指導督勵相成度此段及通牒候也

記

一 金融懇談會ニハ信用組合(兼營ヲ含ム)ニシテ從來協定ニ加入シ居ラザルモノヲ全部加入セシムルコト

但シ協定ノ協議ニハ郡別ニ代表者ヲ定メ參加セシムル等ノ方法ヲ講ズルコト

信用組合聯合會ハ從前通り懇談會ニハ加入スルモ産業組合ノ金融統制上ノ必要ヲ考慮シ貯金ノ種類ニ依リテハ金利協定ヲ爲サザルコトヲ認ムル等適當ノ方法ヲ講ズルコト

二 定期預(貯)金、据置貯金利率ニ付テハ銀行、信用組合ヲ通ジ年三分四厘以下ヲ目標トシテ引下ヲ指導督勵スルコト

三 市街地ニ於ケル信用組合ノ定額(積立)貯金利率ハ年三分以下ヲ目標トシテ引下グル様指導スルコト、農村ニ於ケル信用組合ニ付テハ集金扱ノモノハ右ニ準ジ、然ラザルモノニ付テハ定期貯金利率ニ準ジ引下ル様指導スルコト

四 日歩預(貯)金ニ付銀行、信用組合ヲ通ズル協定ナキ地方ニ在リテハ當座預(貯)金日歩二厘以下、特別當座預(貯)金日歩六厘以下、通知預(貯)金日歩七厘以下ヲ目標

産組法 地方金利平準化ニ關スル件

一〇〇 地方金利平準化ニ關スル件

昭和十五年十二月十二日藏銀第壹八三號
大藏省銀行局長農林省經濟更生部長通牒

地方金融機關ノ金利ハ貴官ノ御盡力ト關係各方面ノ協力トニ依リ相當低下セラレタル様被認候經濟情勢ノ推移ニ鑑ミ今後更ニ低下ノ徹底ヲ期スルノ要アリト被認候ニ付テハ十一月二十八日附一五更第一一〇一五號農林、大藏兩次官通牒ノ次第モ有之候條左記ニ依リ金融機關ヲシテ積極的ニ

定期預貯金並ニ据置貯金ノ利率ノ引下ニ伴ヒ漸次引下ヲ實行シ、之等ノモノト均衡ヲ得ル様指導スルコト

六、無盡會社ノ掛金利率

掛金表ノ預金利率ハ年三分以下(特別ノ事情アル場合ト雖モ三分五厘以内)ト爲サシムル様指導スルコト

加入者ノ都合ニ依リ未給付口掛金ノ先掛ヲナス場合割引ヲ行フ地方ニ於テハ之カ割引利率ハ銀行ノ預金協定利率ノ範圍内ト爲サシムル様勸奨スルコト

七、信託會社金銭信託ノ受益者配當率

地方ニアル信託會社ニ於ケル金銭信託ノ受益者配當率ハ出來得ル限り中央ノ配當率ニ接近セシムル様勸奨スルコト

産組法 地方異種金融機關ノ金利協定ニ關スル件

一六八

トスル協定ヲ爲サシメ、協定アルモ右目標ヨリ高キモノハ尠クトモ右標準迄引下グル様指導スルコト

一〇一 地方異種金融機關ノ金利協定ニ關スル件

昭和十三年四月二十日藏銀第一〇九二號
大藏省銀行局長農林省經濟更生部長通牒

一 靜岡、長崎、大分縣知事宛 (各通)

曩ニ御回報相成候貴管下異種金融機關ノ金利協定狀況ニ據レハ該協定ハ未タ充分徹底シ居ラサル様被認候ニ付テハ今後一層協定ノ徹底方御配慮相煩度此段及通牒候也

二 埼玉、兵庫縣知事宛 (各通)

曩ニ御回報相成候貴管下異種金融機關ノ金利協定狀況ニ據レハ該協定ハ一部地方ニ過キサル狀況ナルニ付テハ他ノ主要地方ニ於テモ金利協定ノ實現竝ニ之ガ徹底方御配慮相煩度此段及通牒候也

三

北海道、青森、千葉、神奈川、岐阜、香川、佐賀、鹿兒島 各地方長官宛 (各通)

曩ニ貴管下異種金融機關ノ金利協定ニ關スル件御回報相成候處貴管下ニ於テハ未タ該協定成立ニ至ラサルモ實現ノ見込有之趣ナルニ付テハ今後一層金融機關相互ノ協調ヲ緊密ニシテ相互ノ摩擦ヲ避クルト共ニ其ノ經營ヲ合理的ナラシムル爲金利協定ノ實現竝ニ之ガ徹底方ニ付一層御配慮相煩度此段及通牒候也

四

宮城、茨城、群馬、新潟、富山、石川、山梨、愛知、三重、京都、奈良、大阪、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、熊本、高知、沖繩、秋田、山形、福島、栃木、東京、福井、長野、滋賀、和歌山、廣島、宮崎 各府縣知事宛 (各通)

曩ニ貴管下異種金融機關ノ金利協定ニ關スル件御回報相成候處貴管下ニ於テハ未タ該協定成立無之又近キ將來ニ於テモ實現ノ見込立タサル趣ニ有之候へ共金融機關相互ノ協調ヲ緊密ニシテ相互ノ摩擦ヲ避クルト共ニ其ノ經營ヲ合理的ナラシムルコト今日ノ經濟狀勢ノ下ニ於テ最モ必要ナルニ付協定ノ實現竝ニ之ガ徹底方ニ付尙一層ノ御配慮相煩度此段及通牒候也

一〇二 産業組合聯合會カ借入ヲ爲ス場合ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ保證スルノ件

大正元年十二月農第三一四六號

産業組合聯合會カ借入ヲ爲サムトスル場合 (其ノ所屬組合又ハ聯合會ニ資金ノ融通ヲ爲ス等ノ爲) ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ其ノ借入ヲ保證スルハ其ノ責任ヲ過大ナラシムルノミナラス組合又ハ聯合會ノ性質上認ムヘカラサルモノトス

一〇三 信用組合ノ醫療施設ニ關スル件

昭和九年十一月十三日
內務省衛生局長通牒

十一月五日附第一七九二號ヲ以テ御照會ニ係ル表記ノ件産業組合法ニ依リ信用販賣購買若クハ利用ノ一事業又ハ數事業ヲ爲ス組合ハ醫師法ノ所謂公共團體ニ非ズ私法人ナレドモ前掲事業中利用以外ノ事業ヲ爲ス組合ニ於テ醫療利用事業ヲ兼營セントスルモノニ對シ診療所ノ開設ヲ絕對ニ許可セザル方針無之其ノ診療所開設ノ許可ニツヒテハ從來警察部長及衛生課長會議等ニ於テ屢々指示アリタル非醫師(公

共團體ヲ除ク)ノ診療所開設許可ノ方針及曩ニ昭和八年十月二十一日附內務省發第一二〇號ヲ以テ內務次官ヨリ各地方長官宛依命通牒シタル醫師法中改正法律齒科醫師法中改正法律及之ニ附屬スル命令施行ニ關スル件ニ依リ可然御措置相成度候也 (右照會文)

昭和九年十一月五日
衛生局長宛 佐賀縣知事

信用組合等ノ利用事業トシテ醫療施設ヲ爲サムトスルモノニ對シ客年十一月診療所取締規則公布ノ際信用購買利用組合等ノ如キモノニ於テ診療設備ヲ爲スガ如キハ之ヲ公共團體ト認メズ從ツテ許可セザルノ方針ナルヤニ聞キ及ビ候處左記ノ通り醫療事業兼營許可アリタルヤニ候處目下管内ニ於テ此種ノ設備計畫ヲ企畫シ既ニ願出アル向モ有之候ニ付テハ如何ニ措置シ可然哉至急何分ノ承知致度此段及御照會候也

記

- 一、北海道有限責任米飯信用購買利用組合
- 一、長野縣保證責任大鹿信用販賣購買利用組合
- 一、熊本縣保證責任高森信用購買販賣利用組合
- 一、三重縣保證責任十社信用販賣利用組合

産組法 産業組合聯合會カ借入ヲ爲ス場合ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ保證スルノ件 信用組合ノ醫療施設ニ關スル件

一六九

(六) 販賣事業ニ關スル事項

一〇四 販賣組合事業ニ關スル件

昭和四年十一月二十一日農務局第三三三號
農林省農務局長 通牒 佐賀縣知事宛

十一月六日附商第一二二二號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ御照會
相成候處御申出ノ如キ事項ハ販賣組合ノ事業トシテ認ムヘ
キ筋ニ非サル義ニ付御了知相成度此段及回答候也
(右照會文)

販賣組合ニ關スル件

昭和四年十一月六日商第一二二二號
農務局長 宛 佐賀縣知事

販賣組合ノ組合員カ組合員外ノ者(區域ノ關係上組合員タ
ルコトヲ得サルモノ)ト船網漁場等ノ共同關係ニ依リ共同
生産ヲナシタル不可分ノ漁獲物ヲ共同生産者中組合員タル
モノカ共有物處分ノ委任ヲ受ケテ販賣スル場合販賣組合ニ
於テ之ヲ組合員ノ生産物トシテ販賣ノ委託ヲ引受クルコト
ハ産業組合法上穩當ナラサル義トハ被存候得共漁業者中ニ
ハ共同經營ニヨル生産者相當有之右ヲ絕對不可能ナリトス
レハ漁業者中永久販賣組合ヲ利用セシムルコト能ハサル狀
態ニ陥ルモノ不尠從ツテ漁村ニ於ケル販賣組合ノ効果ヲ減

成度候

一〇六 木炭ノ需給調整ニ關スル件

昭和十五年五月二十九日一五林第三
九〇六號一五物價第二一一八號
農林次官商工次官依命通牒

現下ニ於ケル木炭事情ニ鑑ミ其ノ需給ノ適合ヲ圖リ國民生
活ノ安定ヲ策スルハ寔ニ緊切ノ要アリト認メラルル處ナル
ガ木炭ノ需給調整ニ關シテハ先般地方長官會議ノ際政府ヨ
リ別紙ノ通指示ノ次第モ有之候處右ノ趣旨ヲ體シ適切ナル
措置ヲ講ジ木炭需給調整上遺憾ナキヲ期セラレ度依命此段
及通牒候也

追而右ノ指示事項ハ現下緊急ノ事態ニ對處スベキ臨時應
急ノ對策ニシテ木炭ノ需給統制ニ關シテハ木炭ノ集荷配
給機構ノ整備、木炭價格政策ノ運營等ニ付其ノ方策ノ樹
立實施ヲ見ルベキモノト認メラルルガ差當リ右ノ趣旨ニ
依リ適宜ノ措置ヲ講ゼラレ度申添候
別紙

木炭需給調節ニ關スル件

木炭ノ需給調節ニ付テハ政府ノ行フ木炭需給調節事業實施
ト關聯シ全般ニ互リ慎重ナル考究ヲ遂ゲ適切ナル措置ヲ講
産組法 木炭ノ需給調整ニ關スル件 販賣組合ニ於ケル醬油釀造
ニ關スル件

殺セシムルヲ以テ之カ販賣上ニ付テ疑義ノ點有之目下事實
問題トシテ呼子町産業組合ニ於テ組合當事者ハ之カ取扱ヲ
被認度希望有之候得共亦一方販賣組合ノ經營ヲ喜ハサル營
利市場業者ハ之ヲ阻止セントスル希望有之候狀況ニ付組合
員外トノ共同生産物取扱至急何分ノ御回示相煩度此段及照
會候也

一〇五 販賣組合ノ販賣方法ニ關 スル件

昭和四年八月十二日農務局第二一九五號
農林省農務局長 通牒 佐賀縣知事宛

七月五日附商第九〇〇號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ照會ノ趣了
承右ハ貴見ノ通ニ付御了知相成度此段及回答候也
(右照會文)

販賣組合ノ販賣方法ニ關スル件

昭和四年七月五日商第九〇〇號
農務局長 宛 佐賀縣知事

販賣組合ニ於テ蔬菜魚類等ノ販賣所ヲ設置シ競賣ノ方法ヲ
以テ販賣スル場合地方長官ハ産業組合法第六十條ノ規定ニ
依リ命令又ハ處分ヲ以テ其ノ販賣方法ノ制限ハ之ヲ爲シ得
サルモノトハ被存候得共其ノ義如何ニ候哉何分ノ御回示相

ズルコトトスルモ差當リ左記ニ依リ措置スルモノトス
記

- 一 産業組合ノ配給費ノ餘剩ハ此ノ際ハ之ヲ積立ツル等ノ
方法ニ依リ直チニ生産者ニ割戻ヲ爲サザルコト
- 二 生産者、移出商業者及其ノ團體等ガ大都市等大消費
地ニ直接小賣ヲ爲スガ如キコトハ出來得ル限り之ヲ抑制
スルノ措置ヲ講ズルト共ニ大消費地ニ於ケル商業者ノ産
地買付ニ付テモ抑制ヲ圖ルコト
- 三 現在ノ小口配給用木炭ノ供給圓滑ヲ缺クハ大口消費者
ノ大量獲得ニ原因スルコト大ナル實情ニ鑑ミ大口消費者
ノ産地直接買付ヲ抑制スルト共ニ生産者團體及卸賣商等
ノ大口消費者ニ對スル供給ヲ必要最小限度ニ制限スル措
置ヲ講ズルコト

一〇七 販賣組合ニ於ケル醬油釀 造ニ關スル件

昭和五年三月二十七日五農局第二八號

一月三十日附五發商第二九號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ御照會
ノ趣了承販賣組合ニ於ケル醬油釀造原料ニ供スヘキ小麥及
大豆ハ共ニ組合員ノ生産シタルモノナルコトヲ要スル儀ニ

付可然御了知相成度此段及同答候也

一〇八 米穀管理資金融通ニ關スル件

昭十五年十一月十七日二五更第二〇五三號
農林省經濟更生部長米穀局長通牒

米穀管理制度ノ實施ニ當リ管理米ノ集荷ヲ急速ニ完了スル爲管理米ニ對スル資金融通ハ必要ニ應ジ敏速ニ之ヲ行フコト極メテ緊要ノ義ニ有之今般右資金ノ融通ニ關シ必要アル場合ニ於テハ大藏省預金部資金ノ融通アルコトトナリタルヲ以テ左記要綱ニ基キ產業組合ヨリ管理米所有者ニ資金ノ融通ヲ爲サシムルコトト致度候條可然周知方御取計相成度此段及通牒候也

追而管理米トシテ保管セラルル數量ノ二分ノ一ハ特ニ資金ノ融通ヲ要セサルモノトシテ計畫シタル次第ニ有之候條爲念申添候

記

管理米資金融通要綱

- 一、管理米トシテ保管セラルル米穀ニ對スル融通資金ハ極力產業組合自給資金ヲ以テ之ニ充當スルモノトス
- 二、前項ニ依ルモ資金不足スル場合ニ限リ產業組合中央金庫ハ預金部資金ノ融通ヲ受クルモノトス

三、預金部資金ヲ原資トスル產業組合中央金庫ノ貸付利率ハ年三分四厘、產業組合ノ管理米所有者ニ對スル貸付利率ハ年三分八厘トス

四、產業組合自給資金ノ貸付利率ハ前項ノ貸付利率ト同率トス

五、融通期間ハ昭和十六年十月末迄トス但シ管理米ヲ販賣シ若ハ販賣ノ委託ヲ爲シ系統機關ガ賣渡シタルトキ又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ處分シタルトキハ期限前ト雖モ償還セシムベキモノトス

管理米資金貸出取扱要項

(昭和十五年十一月定之)

一、資金ノ用途

本資金ハ管理米トシテ保管セラルル米穀ニ對スル資金ニシテ產業組合自給資金ヲ先ヅ前記用途ニ充當シ不足スル場合ニ融通スルモノトス

二、貸出ノ方法

原則トシテ信用組合聯合會ノ轉貸ニ依ルモノトス但シ事情ニ依リ信用組合聯合會ノ保證ニ依ル貸出又ハ直接貸出ヲ認ムルモノトス

三、融通期限

昭和十六年十月末日迄トス但シ管理米ヲ販賣シ若ハ販賣

ノ委託ヲ爲シ系統機關ガ賣渡シタルトキ又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケ處分シタルトキハ期限前ト雖モ償還セシムベキモノトス

四、貸出ノ形式

六十日以内ノ手形貸付トシ必要ノ期間切替ニ應ズルモノトス

五、貸出ノ利率

信用組合聯合會轉貸ニ依ル貸出ノ場合當金庫ノ信用組合聯合會ニ對スル貸出利率ハ日歩九厘一毛トシ信用組合聯合會ハ日歩九厘四毛以内ニテ產業組合又ハ產業組合聯合會ニ貸出スモノトス信用組合聯合會ノ保證ニ依ル貸出又ハ直接貸出ノ場合當金庫ノ產業組合又ハ產業組合聯合會ニ對スル貸出利率ハ日歩九厘四毛トシ當金庫ハ保證ヲ爲シタル信用組合聯合會ニ對シ日歩三毛ニ當ル手数料ヲ交付スルモノトス
產業組合ガ管理米所有者ニ對シ貸付又ハ假渡ヲ爲ス場合ノ利率ハ日歩一錢五毛以内ナルヲ要スルモノトス

一〇九 米穀ノ販賣手数料ニ關スル件

昭十五年十一月十四日五米第三七六號
農林省米穀局長通牒

米穀ノ販賣手数料ニ關スル件 政府米供出及管理米ノ販賣ニ關スル件

臨時米穀配給統制規則第五條ノ規定ニ依リ、全國米穀販賣購買組合聯合會ガ政府買入米ヲ取扱フ場合ノ販賣手数料ハ一石ニ付二錢五厘ト云フコトト相成候ニ付テハ御了知相成度
尙縣内配給ノ米穀ヲ縣販賣ヨリ米穀商統制團體ニ賣渡ス場合ニ於ケル販賣手数料ニ付テハ米穀ノ最高販賣價格ニ關スル農林商工兩省告示ノ規定ニ依リ認メラレタル米穀ノ販賣ヲ業務ト爲ス者ノ手数料ノ範圍内ニ於テ地方ノ實情ニ應ジ之ガ適當ナル配分方御指導相成度此ノ段及通牒候也
追而右縣内米穀配給團體又ハ業者ノ販賣手数料ヲ決定ノ上ハ御報告相成度申添候

一一〇 政府米供出及管理米ノ販賣ニ關スル件

昭和十五年十月六日濟一五米第三七六號
農林省米穀局長經濟更生部長通牒

米穀管理制度ノ實施ニ當リ、產業組合系統機關ニ於ケル政府供出米及管理米ノ販賣ニ關シ、貴縣ノ實情ニ應ジ必要アル場合ニ於テハ政府供出米及管理米ノ總出荷數ヲ通ジタル販賣代金ノ共同計算ヲ爲スハ差支無之、又事情ニ應ジ右ト共ニ金利保管料ニ對スル補助金ニ付共同計算ヲ爲スモ差支無之候條 右御諒知ノ上可然御指導相成度此段及通牒候也

産組法

小麥ノ集荷販賣ニ關スル件 産業組合製絲繭價配分平衡

一一一 小麥ノ集荷販賣ニ關スル件

昭和十六年五月二十六日六食糧第三九二號
農林省總務局長食糧管理局長官通牒

曩ニ通牒致置候通今般販賣セラルベキ麥類ハ原則トシテ全部政府ニ於テ之ガ買入ヲ爲スコトト相成候處小麥ニ付テハ特ニ其ノ買入價格、買入數量等ノ關係上之ガ迅速且圓滑ナル遂行ヲ期スルガ爲ニハ供出小麥ノ中相當部分ヲ直接消費地政府指定倉庫ニ於テ買入ヲ爲スコト必要ナリト被認ルヲ以テ右趣旨ニ則リ産業組合及同聯合會等ヲシテ政府買入ニ協力セシメラレ度而シテ其ノ結果之ガ販賣代金ヲ全國的ニ共同計算ヲ爲スハ所期ノ目的達成上必須ノ要件ナリト被認ルヲ以テ昨年度同様全國販賣購買組合聯合會ヲシテ之ガ實施ヲ爲サシムルコトト致候ニ付テハ關係系統團體ヲ可然御指導相煩度此度及通牒候也

一一二 産業組合製絲繭價配分平衡
資金ノ積立ニ關スル件

昭和十四年一月三十一日附四置局第二五號
農林省蠶絲局長經濟更生部長通牒

貴管下産業組合製絲ノ經營改善ニ關シテハ各般ニ互リ銳意御配意中トハ被存候へ共昨今ノ如キ絲價漸騰ノ狀勢ヨリ本年度ノ如キ年柄ニ在リテハ相當有利ノ配分ヲナシ得ルモノ有之様被思料候條此ノ際繭絲價ノ騰落ニ基ク繭代配分差ノ平衡ニ努メ以テ供繭ノ浮動ヲ防止シ組合經營ノ堅實ヲ圖ル爲配分金ニシテ時價以上ニ涉ル場合ハ事情ノ許ス限リ適當ナル方法ニ依リ繭價配分平衡資金ノ積立ヲ爲サシメ以テ將來ニ具ヘシムルト共ニ一面貯蓄獎勵ノ國策ニ順應セシムル様一段ト御指導相成度此段及通牒候也

一一三 産業組合法中加工ノ意義
ニ關スル件

明治四十二年十二月農第一三九號
農商務省農務局長通牒

産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ關スル岡山縣ノ質疑ニ對シ別紙ノ通回答致置候條貴官ニ於テモ同様御取扱相成様致度此段及通牒候也

(別紙)

明治四十一年九月十七日附商甲第八三八號ヲ以テ産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ付御照會ノ件了承右加工ハ凡

テ動産ニ工作ヲ加フルヲ謂ヒ其ノ工作ノ程度如何ヲ問ハサルモノニ有之御問合セノ場合ノ總テヲ含ムモノト被解候間加工ニ際シ相當ノ助成材料ヲ用フルハ差支無之候モ主タル材料ハ購買組合ニ在リテハ其ノ目的タル購買物件、販賣組合又ハ生産組合ニ在リテハ組合員ノ生産セシモノタルヲ必要トスル義ニ有之候條右様御承知相成度依命此段及回答候也

(右照會文)

明治四十一年九月十七日商甲第八三八號
農商務省農務局長宛岡山縣知事

産業組合法第一條ノ加工トハ精米、製材、蠶詰等ノ如ク加工ノ程度低ク工程單純ナルモノヲ指ス義ト被存候處製絲、製紙、醸造、織物製造等ノ如ク加工ノ程度高クシテ全ク原形ヲ變スルモノハ包含セサル義ニ候哉何分ノ義至急御回報相成度

一一四 産業組合法中疑義ニ關スル件

昭和六年八月十日農務局第一五四一號
農林省農務局長通牒静岡縣知事宛

産組法

産業組合法中疑義ニ關スル件 購買組合ニ於ケル肥料取扱ニ關スル件

五月九日附農第九一四號ヲ以テ首題ノニ件關シ御照會ノ趣了承右ハ法規上御見解ノ通ニテ差支ヘナキモノト被認ルモ産業組合ノ事業トシテ之ヲ爲スコトハ適當ナラサルモノト被認候條可然御了知相成度此段及回答候也

(右照會文)

産業組合法中疑義ニ關スル件

昭和六年五月九日農第九一四號
農務局長宛静岡縣知事

組合員ノ生産シタル繭ヲ加工シ蠶種トシテ販賣スルハ産業組合法上加工ト解シテ差支ヘナキヤ

(七) 購買事業ニ關スル事項

一一五 購買組合ニ於ケル肥料取扱
ニ關スル件

明治四十一年三月農受第一六一九號

購買組合カ肥料ヲ購入シ組合員ニ賣却スルモ肥料取締法ニ依リ販賣ノ免許ヲ受クルコトヲ要セス

産組法

購買組合ノ事業執行ニ關スル件 産業組合カ雜蠶ノ共同飼育ヲ爲スノ件 購買組合理量衡器販賣免許ノ件 外一

一七六

一一六 購買組合ノ事業執行ニ關スル件

明治四十三年五月農第五九五九號

第三十七條ノ特約店トハ如何ナル意味ノモノナリヤ若シ一定ノ商人ヨリ組合員カ直接ニ物品ヲ購入シ組合ハ商人ヨリ一定ノ歩合金ヲ徴スル趣意ナレハ違法ニ付キ本條及特約店ニ關スル他ノ條項ヲ相當訂正スヘシ

〔參照〕

第三十七條 組合員ハ本組合又ハ特約店ヨリ配達ヲ受ケ購買スル物品タルト直接ニ特約店ニ就キ購買スル物品タルトヲ問ハス其ノ代金ハ現金拂トス

一一七 産業組合カ雜蠶ノ共同飼育ヲ爲スノ件

大正元年十一月農第三一五一號

産業組合法ニ於テ蠶兒ノ飼育ヲ加工ト看做シ養蠶業者ヲシテ購買組合ヲ組織セシメ蠶種ノ共同購買ヲ爲シ更ニ雜蠶ヲ

飼育シ蠶兒ノ三齡頃ニ至リ組合員ニ賣却セシムルコトハ支障ナシ

一一八 購買組合理量衡器販賣免許ノ件

大正二年十月農局第一八二七號

購買組合カ組合員ノ需要ヲ充スカ爲度量衡器ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スル場合ニ於テ當該組合ハ度量衡器販賣免許ヲ受クルヲ要セサルモノトス

一一九 生活必需品配給機構整備ニ對スル市街地購買組合ノ取扱方ニ關スル件

昭和十五年十二月二十七日更第一三〇九號
農林次官依命通牒

近來米穀木炭其ノ他生活必需品ノ適正圓滑ナル配給ヲ期スル爲各地ニ於テ之カ配給機構ノ整備行ハレツツ有之候處市街地購買組合ハ從來消費者トノ特別ノ關係ノ下ニ之等物資ノ配給ニ關シ多年ノ經驗ヲ有スル次第ナルヲ以テ之ヲ活用スルニ於テハ配給ノ圓滑ヲ期シ得ル場合尠カラズト思料セラレ候ニ付テハ市、區、町等ニ於テ地區の一元の配給ノ

機構ヲ整備スル場合ニ於テハ當分ノ内左記事項御了承ノ上購買組合ノ實績ヲ認メ業者ニ相互ト提携セシメ相共勵シテ配給ノ任ニ當ラシムル様適當御措置相成度依命此段及通牒候也

記

- 一、地方ノ實情ニ依リ購買組合ノ組合員ノ密度高ク地域のニ利用シ得ル場合ハ之ヲシテ配給ヲ擔當セシムルコト但シ此ノ場合ニ於テハ小賣業者ヲシテ購買組合ノ業務ニ參加セシムル等其ノ保護ニ遺憾ナキヲ期スルコト
- 二、購買組合ノ組合員ノ密度比較的高キ地域ナルモノ、ニ依リ難キ場合ハ小賣商業組合ト共同シテ共同配給所ノ經營ニ參加セシムル等實情ニ即シタル措置ヲ講スルコト
- 三、購買組合ノ組合員ノ密度稀薄ナル地域ニ於テ特ニ商業組合ノミヲ以テ配給機構ヲ整備スルノ必要アル場合ニ於テハ左記事項ヲ考慮シ適切ナル措置ヲ講スルコト
 - (1) 購買組合ニシテ食堂又ハ榮養生ノ配給ヲ爲シ居ル組合ニ對シテハ大口消費者トシテ之カ必需物資ノ配給ヲ現狀通認ムルコト
 - (2) 購買組合ノ組合員ノ密度比較的高キ地區ノ配給所ハ代行又ハ委託ノ形式ニ依リ可及的ニ購買組合ヲシテ配給擔當者タラシムル等ノ方法ヲ講スルコト

産組法

購買組合ノ煙草供給方ニ關スル件

一七七

一二〇 購買組合ノ煙草供給方ニ關スル件

大正十二年八月十七日更第三四七一號
大藏省專賣局長官通牒

産業組合法ニ依リ設立シタル購買組合カ定價ヲ以テ煙草小賣人ヨリ購入シタル煙草ヲ更ニ定價ニテ組合員ニ分配スルハ差支ナキ旨豫テ回答シタル次第モ有之候處右ハ特ニ希望者ノ注文ヲ取纏メテ其希望品數ヲ定價ニテ購入シ之ヲ該注文者ニ對シ定價ニテ分配スル場合ニ限ル義ニシテ注文者以外ノ組合員ニ賣渡シ又ハ豫メ購入ヲ爲シ置キ組合員ノ希望ニ從テ隨時是ニ供給スルカ如キ行爲ハ專賣法ノ所謂販賣ト解スル事ニ局議決定致候條爲念此段及御通知候也

一二二 產業組合ノ賣藥並藥品取扱ニ關スル件

昭和四年十月十一日四農局第三〇〇九號
農林省農務局長 通牒三重縣知事宛

九月二十六日附商第三七二八號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承產業組合ハ所謂營業者ニハ非サレ共賣藥法及藥品營業並藥品取扱規則制定ノ主旨ハ主トシテ保健並公海上ノ必要ニ基クモノナルヲ以テ產業組合カ其ノ組合員ニ藥品ヲ賣却スル場合ハ右法令ノ適用アルモノト被認候條御了知相成度此段及回答候也

(右照會文)

產業組合ノ賣藥並藥品取扱ニ關スル件

昭和四年九月二十六日商第三七二八號
農務局長 宛 三重縣知事

產業組合及產業組合聯合會ニ於テ賣藥及藥品ヲ取扱フ場合ノ手續ニ關シテハ大正十三年三月九日附衛醫第三三六號ヲ以テ內務省衛生局長ヨリ貴官宛通牒ノ次第モ有之候處產業組合又ハ同聯合會カ賣藥並藥品ヲ取扱フハ「賣藥法」ノ所謂「賣藥請賣營業者」又ハ「藥品營業並藥品取扱規則」ノ所謂「藥種商」ト解スルハ產業組合ノ本質ニ鑑ミ妥當ナラサルハ

勿論本縣ニ於ケル產業組合ノ取扱フ藥品並賣藥ハ其ノ分量少ク購買事業ノ附屬トシテ便宜之ヲ行フ如キ狀態ナレハ其ノ届出又ハ免許鑑札ヲ受クルノ要無之モノト被存候カ如何ニ候哉何分ノ義至急御回示相煩度此段及照會候也
(參考)產業組合ノ賣藥並藥品取扱ニ關スル件

大正十三年三月九日衛醫第三三六號
農務省農務局長宛內務省衛生局長

本件ニ關シ本月四日附十三農局第二一七號ヲ以テ御照會ノ件了承靜岡縣知事ヘ右記ノ通り回答致置候條御承知相成度

記

大正十三年三月九日衛醫第三三六號
內務省衛生局長 通牒靜岡縣知事宛

產業組合ノ賣藥並藥品取扱ニ關スル件

本件ニ關シ二月十九日附產農第二四七二號ヲ以テ農務省農務局長宛御照會相成候趣ニテ別紙ノ通同局長ヨリ照會有之候ニ付本職ヨリ左記及回答候也

記

一、購買組合カ組合員ノ需要ヲ充スカ爲賣藥又ハ藥品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スル場合ニ於テハ當該組合ハ左ノ手續ヲ要ス

一、賣藥請業ニ對シテハ大正十三年八月內務省令第十六號賣藥法施行規則第十三條ニ依リ地方行政廳ニ届出ツルコト
一、藥品販賣ニ對シテハ明治二十二年三月法律第十號藥品

營業並藥品取扱規則第二十條及二十一條ニ依リ地方廳ノ免許鑑札ヲ受クルコト

一二三 購買組合聯合會ヲ鹽元賣捌人ニ指定ノ件

大正十三年九月農第二〇一八號

大正十三年九月五日附ヲ以テ專賣局長官ヨリ購買組合聯合會及購買事業兼營ノ產業組合聯合會ニシテ鹽ノ購買ヲ爲スモノハ爾今其ノ申請ニ依リ調査ノ上必要ト認メタルトキハ鹽元賣捌人ニ指定シ得ルコトニ相成リタル旨本省次官ヘ回答有之タルニ付キ可然周知方御取計相成度

(八) 利用事業ニ關スル事項

一二三 產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ノ件

大正十五年五月二十日令勅第三百三十一號
改正昭和十六年八月十五日勅令第八百六號

產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ利用組合ノ設備ニシテ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ利用セシムルコトヲ得ルモノヲ指定スルコトヲ左ノ如シ

電氣設備、水道、浴場、種畜、乾餾裝置、醫療設備

產組法

產業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ノ件 外三

附 則

本令ハ大正十五年法律第五十四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
(大正十五年五月二十五日ヨリ施行)

附 則(昭和十六年勅令第八百十八號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一二四 醫療設備ヲ有スル利用組合等ノ農林厚生兩省共管並ニ員外利用ニ關スル件

昭和十六年八月十八日一六總第二〇三八號
農林次官 厚生次官 依命 通牒

今般昭和十六年八月十六日附勅令第八百十八號ヲ以テ醫療設備ヲ有スル利用組合等ヲ農林厚生兩省ノ共管トシ併テ產業組合ニ依ル醫療利用事業ノ員外利用ヲ認ムルコトト相成候處右ハ國民保健ノ重要性ニ鑑ミ農林厚生兩省共管ニ依リ醫療利用組合ノ運営ニ萬全ヲ期スルト共ニ醫療施設ノ員外利用ノ途ヲ拓キ以テ農山漁村ニ於ケル醫療施設ノ利用ニ遺憾ナカラシメントスル趣旨ニ有之候條右御了知ノ上指導監督相成度依命此段及通牒候也

一二五 產業組合ノ診療所開設許可及醫療設備ノ員外利用取扱方ニ關スル件

昭和十六年八月十八日一六總第二〇三六號
農林省總務局長 厚生省衛生局長 通牒

産組法 産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關スル件

一八〇

醫療設備ヲ有スル利用組合等ノ農林厚生兩省共管並ニ員外利用ニ關スル件ニ付テハ別途農林厚生兩省官ヨリ通牒有之候處之ガ事務處理ニ當リテハ衛生及産業組合ニ關スル事務ノ兩主管課ニ於テ充分連絡協議ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度尙産業組合ノ診療所開設ノ許否及員外利用ノ取扱ニ關シテハ爾今左記ニ依リ御取計相成度

記

- 一、診療所ノ開設ニ關スル件
 - (一) 無醫町村又ハ醫療機關ノ缺如セル地域ニ診療所ヲ開設セントスル場合ハ之ヲ許可スルコト
 - (二) 醫療機關存スル地域ニ診療所ヲ開設セントスル場合ハ醫療普及上特ニ必要ト認メラルルニ非ザレバ之ヲ許可セザルコト
 - (三) 市街地等醫療機關ノ相當發達シタル地域ニ診療所ヲ開設セントスル場合ハ之ヲ許可セザルコト但シ産業組合ノ診療所現ニ相當存在シ又ハ相當設置スル具體的計畫ノ實施ニ伴ヒ其ノ地域ノ中心地ニ綜合病院ヲ開設セントスル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト
 - (四) (二)及(三)ノ診療所ノ開設許否ニ付テハ産業組合法施行規則第十九條ノ二及第二十條ノ規定ニ依リ農林大臣及厚生大臣ノ指揮ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外豫メ厚生大臣及農林大臣ニ稟伺スルコト

- 二、醫療設備ノ員外利用ニ關スル事項
 - (一) 一ノ(一)ニ依リ許可セラレタル診療所ノ員外利用ニ付テハ之ヲ認ムルコト
 - (二) 一ノ(二)ニ依リ許可セラレタル診療所ノ員外利用ニ付テハ醫療施設ノ利用上特ニ必要ト認メラルル場合ニ限り之ヲ認ムルコト
 - (三) 一ノ(三)ニ依リ許可セラレタル綜合病院ノ員外利用ニ付テハ他ニ醫療機關ノ相當發達シタル地域ノ産業組合ニハ之ヲ認メザルコト

一二六 産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關スル件

大正十一年五月八日電監第二四九九號 逓信省 電氣局長 依命 通牒

産業組合ニ於テ電氣工作物ヲ施設セムトスルモノニ對シテハ大體左記ノ方針ニ據リ處理ノコトニ決定相成候ニ付テハ貴官ニ於テ電氣工作物ノ施設ヲ目的トスル産業組合ノ設立ヲ許可シ又ハ本目的ノ爲メニ既設組合ノ定款ノ變更ヲ認可セラレムトスル場合ニ於テハ大正四年四月一日附電第五八五號(改正昭和七年十一月二十九日附業第一三〇〇號)電氣事務監督ニ關スル内訓ノ各項ニ關シ取調ヘ處分豫メ當省

御打合せ相成様致度

追テ産業組合ノ經營スル電氣施設ノ認可ニ付往々其ノ手續ヲ誤リ電氣事業法ニ據リ申請ヲナスモノアルモ右ハ組合員ニ限リ其需用者ヲ限定シテ供給スルモノナルヲ以テ其認可ノ申請ハ明治四十四年逓信省令第三十一號(改正昭和七年逓信省令第五十六號) 自家用電氣工作物施設規則ニ據リ相當手續ヲナスヘキモノナルニ付右ニ御了知相成度爲念

記

- 一 産業組合カ自ラ設置スル共同ノ工場索道等ノ動力ニ供スル爲電氣工作物ヲ施設スルモノハ規定ノ範圍内ニ於テ可成之カ施設ヲ認ムルコト
- 二 産業組合カ其ノ組合員ニ電燈ヲ供給スルコトヲ主タル目的トシテ電氣工作物ヲ施設セムトスルモノ若ハ組合自身ノ工場等ニ施設スル電氣工作物ニ使用スル電氣ノ餘力ヲ電燈用トシテ其組合員ニ供給セムトスルモノニアリテハ左ノ各號ニ據リ處理スルコト
 - (一) 使用區域(電燈供給區域)ハ一村又ハ其一部ナルコト
 - (二) 使用區域カ既設電氣事業者ノ電燈供給區域内ナル場合ハ其ノ地域カ僻遠其ノ他ノ事情ニヨリ既設電氣事業者ヨリ配電困難ナルカ若ハ之カ供給ヲ受ケムカ爲メニハ多大ノ寄附ヲ要スルトキニ限り之ヲ認可スルコト

産組法 産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關スル件

一八一

- 三 組合員ニ電燈ヲ供給スルコトヲ主タル目的トスル組合ニアリテハ使用區域内ニ於ケル特定ノ部落又ハ特定人ヲ加入セシメサルカ如キ電燈ノ普及ニ支障アル條項ヲ定款其ノ他ノ組合規約中ニ設ケシメサルコト
 - 四 他ノ事業ト併セ電燈供給ヲ營ム場合ニアリテハ電燈供給ニ關スル經理ハ特別計算トナシ之カ收支ヲ明ナラシムルコト
 - 五 一地域ニ於テ電燈ヲ供給スル組合ヲ認メタル場合ハ同一地域ニ於テ更ニ之ト同様ノ目的ヲ有スル他ノ組合ヲ設クル等ニヨリ錯雜シタル關係ヲ生セシメサルコト
- 二 大正十一年五月八日電監第二四九九號 逓信省 電氣局長 通牒
- 産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關シ電監第二四九九號ヲ以テ依命通牒ノ次第モ有之候處右ニ關シテハ尙左記ノ諸點ニ就キ御留意相成度
- 一、産業組合カ電氣供給ヲ爲スコトヲ認メラレタルハ電氣事業者ト對立シテ廣ク電氣事業ノ經營ヲ認メラレタル趣旨ニ非スシテ一般事業者カ普及セサル場所ニ對シテ電氣ノ普及ヲ圖ル趣旨ナルニ因リ既設ノ事業者トハ相互充分協調セシメラレタキコト
 - 二、産業組合カ各別ニ小規模ノ發電所ヲ建設スルハ多クノ場合不經濟ナルヲ以テ可成既設事業者ヨリ受電スル等ノ

方法ヲ講シ簡略ニ其施設ヲ爲サシメラレタキコト
三、從來共同自家用電氣工作物等ノ施設ニ際シ各地ニ散在セル不正ノ機械商又ハ適當ノ素養ナキ低級ノ技術者カ地方民ノ知識ナキニ乘シ不完全ナル機械等ヲ適當ナルモノノ如ク説明シテ購買セシメ爲メニ甚シキ損害ヲ施設者ニ與ヘタル實例尠カラサルニ依リ將來産業組合ノ經營スル電氣施設ノ増加スルニ伴ヒ叙上ノ弊害益々増加ノ虞アルニヨリ此等ノ不正商人竝ニ技術者ノ取締ヲ嚴ニスルト共ニ組合ノ使用スル機械竝ニ電氣設計等ニ關シテハ貴廳ニ於テ充分ノ監督ヲ加ヘ適當ナル設備ヲ爲ス様指導セラレタキコト

追而産業組合ノ施設スル電氣工作物ニ關スル規定ハ近キ將來ニ於テ改正ノ見込ナルモ差向キ自家用電氣工作物規則ニ據リ認可セラルル義ニ付右御了知相成度爲念尙從來認可セラレタル共同自家用電氣工作物ヲ産業組合ノ施設ニ變更シ得ルモノハ之ヲ變更セシムルヲ適當ト被存ニヨリ可然御配意相成度

一二七 産業組合ノ電氣工作物施設ニ關スル件

昭和六年一月監第三四二號
逓信省電氣局長依命通牒

近時産業組合ノ發達ニ伴ヒ電氣事業者ノ供給料金高率「サ」
「ビス」不良等ヲ理由トシテ組合施設ニ依リ電氣事業者ト對立シテ電氣利用ノ方途ヲ企圖スルモノ多キヲ加フルヤニ被存候處産業組合ニ依ル電氣施設ニ關シテハ大正十一年五月電監第二四九號ヲ以テ通牒置候次第モ有之カ趣旨ハ電氣事業者ヨリノ配電困難ナル場合ニ於テ電氣利用ノ便益ヲ享受セシムベキ格別ナル事由ニ基クモノニシテ電氣事業者ト相對立シテ廣ク其ノ經營ヲ認メタルモノニ非ラス右ハ今日ト雖何等變ル所無之儀ニ付其ノ邊御含ミノ上御處理相成様致度依命及通牒候

一二八 利用組合事業上ノ疑義ニ關スル件

昭和四年十一月二十六日四農局第百三二號
農林省農務局長通牒青森縣知事宛

十一月十三日附青商第二八一號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ貴見ノ通利用事業トハ難認候條御了知相成度此段及回答候也

(右照會文)
利用組合事業上ノ疑義ニ關スル件

昭和四年十一月十三日青商第二八一號
農務局長 宛 青森縣知事

利用組合又ハ利用組合聯合會カ組合員又ハ所屬組合ノ依頼ニ應シ其ノ所有又ハ占有ノ設備ニアラサル汽車、汽船(例ヘハ國營、社營等ノ汽車、汽船、電車)等ニ依リ貨物ノ運送ヲ爲ス場合ハ之ヲ産業組合法ノ所謂利用事業ト認ムル能ハサルモノト被存候得共差迫リタル事件有之取扱上疑義相生シ候ニツキ何分ノ儀至急御回示ニ預リ度此段及照會候也

一二九 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ水道布設許可ニ關スル件

大正十五年七月二十九日內務省衛第六號
內務省衛生局長 通牒

四月六日法律第五十四號ヲ以テ産業組合法中改正相成リ同法施行ニ關スル五月十九日勅令第三百三十一號五月二十日農林省令第九號發令相成候ニ就テハ今後産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ヨリ水道布設ノ申請アリタル場合ハ左記標準ニ依リ御取扱相成候様致度此段依命及通牒也

記

一、産業組合ニ水道布設ヲ許可スル場合ハ當該市町村ニ於テ水道布設ノ資力ニ堪ヘサル場合ニ限り且ツ水道布設ノ計畫ニ於テ産業組合區域内ノ居住者全部ニ給水シ得ル設

産組法

産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ水道布設許可ニ關スル件 外一

備ヲ爲スモノニ限り許可スルコト

二、前項ニ基キ産業組合ニ水道布設ヲ許可スル場合ニハ特許命令書ニ左ノ趣旨ヲ記載スルコト

(一) 組合員タルコトヲ得サル者ヨリ給水ノ請求アリタル場合ニ於テハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得サルコト

(二) 出資口數或ハ組合員タルト組合員タルコトヲ得サル者トヲ問ハス水道ノ使用ニ關シテハ總テ平等タラシムルヘキコト

(三) 産業組合區域内住民(組合員ニ非サル)増加ノ爲メ既設ノ水道ノミニテハ給水ノ要求ニ應スルコト能ハサルニ至リタルトキハ遲滞ナク擴張設備ヲナスコト

(四) 前三項ニ違背シタル場合ハ水道布設ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一三〇 産業組合ノ利用事業トシテノ自動車設備ニ關スル件

昭和十年二月十五日監雜第六號ノ一
農林省經濟更生部長宛鐵道省監督局長回答

一、産業組合ニ於テ利用事業トシテ自動車ヲ設備シ組合員ノミノ使用ニ供スルハ昭和八年八月五日鐵道省令第十號

產組法

農林商工兩省所管事務調整方針要綱

自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業規則第一條
第二號ノ事業ト解シ支障無之コト

二、尙右ノ場合ニ於テ組合員以外ノ者ヲシテ利用セシムル
コトハ前記規則ニ所謂「自己ノ専用」ノ觀念ト背馳スルコ
トナルヲ以テ斯カルコトナキ様關係ノ向ヘ嚴重ニ示達相
成度コト

昭和十年一月八日九更第一一九八五號
鐵道省監督局長宛經濟更生部長照會

產業組合ニ於テ利用事業トシテ自動車ヲ設備シ組合員ノ要
求ニ應ジ組合員又ハ其ノ物品ヲ運送スルハ組合員共同シテ
其ノ經濟的向上ヲ企圖スルモノニシテ事業經營者タル組合
ト利用者タル組合員トハ經濟的ニハ一身同體ニシテ學校、
工場等ガ學生職工ヲ有償ニテ運送スル場合ノ如クニ人格者
ノ對立關係ニ在ルモノトハ全然趣ヲ異ニシ且其ノ徵收スル
利用料ノ如キモ運賃ノ性質ヲ有セズ組合ノ經營費ヲ負担ス
ル意味ニシテ唯其ノ負擔割合ヲ利用程度ニ應ゼシムルモノ
ニ外ナラズシテ之ヲ經濟的ニ見レバ組合員自ラ自動車ヲ設
置シテ之ヲ利用スルモノニ有之從テ產業組合ニ於テ自動車
利用設備トシテ設置スル場合ハ自動車運輸事業ノ以外ノ自
動車ニ依ル運送事業規則第一條第二號「自己ノ専用ニ供
スルモノ」ニ該當スルモノト解シ差支無之モノト認メラレ
候處貴見承知致度此段及照會候也

(九) 農林商工團體ニ關スル事項

一三一 農林商工兩省所管事務調
整方針要綱

昭和十五年七月九日閣議決定事項

現時局下ニ於ケル我國產業行政事務ノ現況竝ニ將來ニ於ケ
ル我國產業發展ノ趨勢ニ鑑ミ食糧行政ノ一元の統合ヲ圖ル
ト共ニ貿易行政ノ統一刷新ニ資スル趣旨ノ下ニ兩省所管事
務ヲ左記ニ依リ調整シ以テ我國產業行政ノ運営ヲ敏活適切
ナラシムルモノトス

記

- 一、兩省ノ所管事項ハ原則トシテ物資別ニ生産、配給、消
費ヲ一貫シテ統制シ得ル如ク區分スルモノトスルコト
- 右ニ基キ左ノ事項ニ關スル事務ハ農林省ニ集中スルモノ
トスルコト
- イ、農林畜水産物及飲食料品ニ關スル事項
- ロ、農林畜水産物及飲食料品ニ關スル工業組合、商業組
合、市場等ニ關スル事項
- ハ、農林畜水産業用専用物品ノ配給ニ關スル事項

二、貿易ニ關スル事務ハ原則トシテ之ヲ商工省ニ集中スル
コトトシ農林省所管物資ノ貿易ト生産トノ關係ヲ調整ス
ル爲兩省間ニ適宜連絡ノ措置ヲ講ズルモノトスルコト

三、化學肥料ノ生産ニ關スル事項ハ一般化學工業ノ綜合的
統制ノ見地ヨリ之ヲ商工省ニ移管スルモノトスルコト但
シ化學肥料ノ生産數量竝ニ販賣價格ニ關スル事項ハ之ヲ
農林省ニ存置スルモノトスルコト

四、一般商事ニ關スル事項(倉庫業、取引所等)竝ニ商業
組合、工業組合等ノ中央團體、商工會議所等ニ關スル事
項ハ商工省ニ存置スルモノトスルコト

五、物價ニ關スル事項ハ兩省ニ於テ各所管物資ニ付之ヲ分
掌スルモ價格形成委員會ハ現狀ノママトシ低物價政策ノ
綜合的運用ニ遺憾ナキヲ期スルコト

(備考)

化學肥料ノ生産及工業(飲食料品工業ヲ除ク)用原料
タル農林畜水産物ノ配給ニ關シテハ兩省間ニ適宜連絡
ノ措置ヲ講ズルモノトスルコト

(附) 農林畜水産物ノ集荷竝ニ配給ニ關スル件

農林畜水産物ノ集荷竝ニ配給統制ノ實施ニ方ツテハ原則ト
シテ集荷ハ生産者團體、配給ハ商業者ヲシテ之ヲ擔當セシ
ムルコト但シ兩者現在ノ職域ニ急激ナル變革ヲ與フルコト

產組法

農林商工兩省所管事務調整方針要綱

ヲ避クルコトトシ地方ノ實情ニ依リ地方長官ニ於テ兩者ノ
業務範圍ヲ適切ニ調整シ以テ其ノ適正ナル機能ノ發揮ニ力
ムルモノトスルコト

右方針ニ則リ米穀、小麥、木炭ノ集荷竝ニ配給ニ付差當リ
ノ具體的運營方法ヲ定ムルコト次ノ如シ但シ地方長官ニ於
テ刻下ノ米穀事情ニ應ジ現ニ講ジツツアル措置トノ關係上
本方法ニ依リ難キ事情アルモノニ付テハ機宜ノ方法ニ依リ
得ルモノトスルコト

一、米穀

(一) 集荷ニ付テハ

- (イ) 米穀ノ集荷ハ當該道府縣ノ產業組合及同聯合會ヲ
シテ一元的ニ擔當セシムルコト
- (ロ) 現ニ相當數量ノ米穀ヲ商業者ニ於テ集荷シ居ル特
定ノ道府縣及產業組合ニ依ル集荷困難ナル町村ニ
於テハ商業組合ヲシテ集荷ヲナサシムル途ヲ認ム
ルコト
- (ハ) 前二項ノ場合ニ於テハ地方長官監督ノ下ニ農會ニ
於テ出荷ノ取纏メヲ爲スコト
- (ニ) 政府米ノ買上ニ付テハ(イ)ニ依リ產業組合又ハ同
聯合會ニ於テ集荷シタルモノハ全販聯ヲ通ジ、
(ロ)ニ依リ商業組合ノ集荷シタルモノハ直接之ヲ

政府ニ買入ルルコト

(二) 配給ニ付テハ

- (イ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル米穀ニシテ當該道府縣内ニ於ケル消費米トシテ供セラルルモノニ付テハ原則トシテ當該道府縣内ノ米穀商業組合ヲ通ジテ之ヲ配給セシムルコト
- (ロ) 產業組合又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル米穀(政府買上米ヲ除ク)ニシテ直接他ノ道府縣ニ移出セントスルモノニ付テハ當該道府縣移出商業組合ヲ經テ他ノ道府縣ノ米穀商業組合ニ販賣スルコト
- (ハ) 政府米(外米ヲ含ム)臺灣米、朝鮮米ニ付テハ原則トシテ當該道府縣ノ米穀商業組合ヲ通ジテ配給セシムルコト
- (ニ) 商業者系統ニ依ル米穀ノ配給ハ卸賣業者ト小賣業者トノ取扱分野ヲ明確ニシ原則トシテ卸賣商業組合ヨリ小賣商業組合ニ販賣スルコト 但シ大口ノ需要者其ノ他特殊ノ者ヘノ配給ニ付テハ卸賣商業組合ヨリ之ヲ行フモ差支ナキコト
- (ホ) 從來ノ購買組合等ノ白米ノ小賣ニ付テハ差當リ其ノ實績ヲ認メ一般小賣業者ト同様ニ取扱フコト

二、小麥

- (一) 集荷ニ付テハ
 - (イ) 小麥ノ集荷ハ當該道府縣ノ產業組合及同聯合會ヲシテ一元的ニ擔當セシムルコト
 - (ロ) 產業組合ニ依ル集荷困難ナル場合及現ニ相當數量ノ小麥ヲ商業者ニ於テ集荷シ居ル場合ニ於テハ商業組合ヲシテ集荷ヲ爲サシムルノ途ヲ認ムルコト
 - (ハ) 前二項ノ場合ニ於テハ地方長官監督ノ下ニ農會ニ於テ出荷ノ取纏メヲ爲スコト
- (二) 配給ニ付テハ
 - (イ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル小麥ニシテ當該道府縣内ニ於テ消費セラルルモノ(大口需要者ノ消費スルモノヲ除ク)ニ付テハ地方長官ノ統制ノ下ニ地方ノ實情ニ應ジ商業組合又ハ需要者團體ヲ通ジ配給セシムルコト
 - (ロ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル小麥ニシテ他ノ道府縣ニ移出スルモノ(大口需要者ノ消費スルモノヲ除ク)ニ付テハ直接之ヲ移出先道府縣ノ商業組合又ハ需要者團體ニ販賣スルコト
 - (ハ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ノ集荷シタル小麥ニシテ大口需要者ニ配給スベキモノハ產業組

三、木炭

(一) 集荷ニ付テハ

- (イ) 木炭ノ集荷ハ當該道府縣產業組合及同聯合會ヲシテ一元的ニ擔當セシムルコト
- (ロ) 從來炭燒業者ヲシテ貨燒セシムルヲ業トセル商業者(製炭企業者)ニ付テハ其ノ團體ノ集荷ヲ認ムルコト
- (ハ) (イ)ニ依リ產業組合ニ依リ集荷困難ナル町村ニ於テハ當該地方長官ノ承認ヲ受ケ商業組合ヲシテ集荷ヲ爲サシムルコト
- (二) 配給ニ付テハ
 - (イ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル木炭ニシテ當該道府縣内ニ於テ需要セラルルモノニ付テハ原則トシテ當該道府縣内ノ木炭商業組合ヲ通ジテ之ヲ配給セシムルコト
 - (ロ) 產業組合若ハ同聯合會又ハ商業組合ニ於テ集荷シタル木炭ニシテ他ノ道府縣ニ移出スルモノニ付テハ

產組法 配給機構整備ニ關スル件

- (ハ) 地方長官ノ統制ノ下ニ原則トシテ直接ニ他ノ道府縣ノ木炭商業組合又ハ荷受組合ニ販賣セシムルコト
- (ニ) 從來ノ購買組合等ノ木炭ノ販賣ニ付テハ差當リ其ノ實績ヲ認メ一般小賣商ト同様ニ取扱フコト
- (ハ) 木炭同業組合ニ付テハ同種ノ商業組合ニ準ジテ之ヲ取扱フコト

一三三 配給機構整備ニ關スル件

昭和十六年六月四日(振第四〇一四號) 商工次官 農林次官 依命 通牒

戰時下國民經濟ノ圓滑ナル運営ヲ圖リ其ノ健全ナル發展ヲ期スルニハ配給機構ノ整備ヲ圖ルコト極メテ肝要ニシテ本年一月九日開催セラレタル各道府縣經濟部長會議ニ於テモ配給機構整備ニ關シ其ノ一般の方針指示有之タル處現下諸般ノ情勢ニ鑑ミルニ配給機構整備ノ實施ハ益々緊要ノ度ヲ高メツツアルヲ以テ當方ニ於テモ各種物資ニ關スル具體的整備計畫ヲ樹立ノ上逐次指示相成モノ尠カラザル見込ナルモ本件ニ付テハ關係各方面ノ綜合的調整ヲ圖リ單ニ關係者相互間ノ摩擦相剋ヲ排除スルノミナラズ其ノ積極的協力ヲ期セシムルコト特ニ肝要ナルモノアルニ鑑ミ貴官ニ於テモ

産組法 配給機構整備ニ關スル件

配給機構整備上特ニ留意ヲ要スル商業組合ト産業組合等生産者又ハ需要者ノ團體トノ事業調整ニ付テハ左記ニ依リ御指導相成度依命此段及通牒候也

記

一、配給機構ノ整備ニ當リテハ配給業務ヲ擔當スル諸機關相互ノ間ニ於テ徒ニ他ノ配給機關ヲ排除シ資金及勞力ヲ新ニ投下シ他ノ配給機關ノ分野ニ進出スルコトハ之ヲ避ケシムルコト

二、配給機構ノ整備セラレル物資ニ付テハ生産者又ハ其ノ團體ガ新ニ卸賣又ハ小賣部門ニ進出スルコトハ原則トシテ之ヲ認メザルコトトスルモ既存ノ實績ヲ有スルモノハ統制上必要アル場合ハ卸賣業者又ハ小賣業者ノ團體ニ加入スルカ又ハ適當ナル連繫ノ方法ヲ講ゼシメタル上之ヲ認ムルコト

三、都市ニ於ケル購買組合又ハ購買會、工場鑛山等ニ於ケル購買會ニ依ル物資ノ配給ニ付テハ之等ニ依ル配給ガ一般生活必需品ノ切符制度實施等ニ際シ此種統制上支障ナキ限リ其ノ實績ヲ認ムルコトトシ此ノ場合ニ於テハ市街地購買組合ニ付テハ昭和十五年十二月二十七日附一五更第一二〇六九號農林次官通牒ノ趣旨ニ依ルコト
尙新規配給ハ一般配給業者ニ依ル配給ヲ以テ需要ヲ充足

シ得ザル場合ニ於テノミ之ヲ認ムルト共ニ町内會、部落會、隣保班等ハ之ヲ配給機關トシテ認メザルコト

四、農山漁村ニ於ケル産業組合、漁業組合ニ付テハ農山漁村ニ於テ之等機關ノ持つ配給機能ヲ遂行セシメ之ガ利用ニ依リ圓滑ナル物資配給ヲ期スルト共ニ一、ノ趣旨ニ依リ商業機關トノ摩擦相剋ヲ排除シ兩者間ノ積極的協力關係ヲ創造スル様特別ノ考慮ヲ拂フコト

五、各種物資ノ機構整備ニ付具體的措置相成場合ハ當該物資ノ種類、性質、都市及農山漁村ニ於ケル既存ノ配給機關ノ現狀等充分實情ヲ斟酌スルコト

配給機構整備要綱抄

昭和十六年一月九日

配給機構ノ整備ニ當リテハ計畫經濟ノ適正圓滑ナル實施ニ即應セル配給機構ヲ確立スルコトヲ目途トシ其ノ實施ニ際シテハ關係各種業者夫々ノ有スル經濟的社會的機能ヲ極力發揮セシムルヲ肝要トス而シテ其ノ際配給擔當者就中業者ノ經營合理化ト配給能力ノ向上ヲ圖ルト共ニ公益優先、職域奉公ヲ根本理念トスル新商人道ヲ實踐セシムル爲特別ノ考慮ヲ拂フノ要アリトス尙配給機構整備ニ關シテハ物資配給統制等ニ關聯シ物資毎ニ屢次其ノ實施ヲ圖リ來リタルモノノ鈔カラズ既ニ之ニ依リ其ノ整備ヲ行ヒアルモノニ

付テハ夫々其ノ具體的計畫ニ依ルベキノ外整備實施ニ關スル具體的措置ハ物資ノ種類、性質等ニ依リ差異アルベキハ勿論ニシテ今後ト雖モ具體的整備計畫ハ少クモ重要物資別ニ樹立スル必要アルモ配給機構全般ヲ通ズレバ概ネ次ノ如キ方向ニ於テ整備セラレベキモノトス

第一 一般方針

一 配給機構ノ整備ニ當リテ、既存商業者ノ經營單位ノ擴充ト商業組織ノ整備ヲ圖リ整備セラレタル商業機關ヲシテ配給業務ヲ擔當セシムルヲ原則トシ生産者、需要者又ハ其ノ團體ニ於テ徒ニ商業者ヲ排除シ資金及勞力ヲ新タニ投下シテ配給部門ニ進出スルコトハ之ヲ避ケシメ生産者、消費者等ニ付テハ左記ニ依リ措置スルコト

(一) 生産者ニ付テハ

(1) 配給機構ノ整備セラレル物資ニ付テハ生産者ノ卸賣又ハ小賣ハ原則トシテ之ヲ認メザルコトトシ已ムヲ得ザル場合ニハ卸賣業者又ハ小賣業者ノ團體ニ加入セシメタル上之ヲ認ムルコト

(2) 生産者ガ自己ノ生産品ノ外他ヨリ商品ヲ仕入レテ之ヲ販賣セル實績ヲ有スル場合ハ右ノ實績ニ付テ之ヲ販賣業者トシテ取扱フコト
(二) 購買組合、購買會等ニ依ル物資ノ配給ニ付テハ之等

産組法 配給機構整備ニ關スル件

ニ依ル配給ガ一般生活必需品ノ切符制度實施等ニ際シ支障ヲ來ス如キ事例アルベキヲ以テ此ノ種統制上支障ナキ限リ其ノ實績ヲ認メ新規配給ハ一般配給業者ニ依ル配給ヲ以テ需要ヲ充足シ得ザル場合ニ於テノミ之ヲ認ムルコト町内會、部落會、隣保班等ハ之ヲ配給機構トシテ認メザルコト

二 配給機構ノ整備ニ當リテハ商業者又ハ其ノ團體ガ生産者、需要者又ハ其ノ團體ト緊密ナル連絡ノ下ニ配給業務ヲ遂行シ得ル様連絡機關ノ設置等適當ナル措置ヲ考慮スルコト

三 重要原材料資材、國民生活必需品等適正價格ノ嚴守、配給ノ圓滑物資偏在ノ防止ヲ特ニ緊要トスル物資ニ付テハ卸配給ハ原則トシテ組合等ニ依ル團體取引ニ依ルモノト爲スト共ニ國民生活必需品ニ付テハ小賣段階ニ於テモ其ノ仕入部面ニ付組合等ニ依ル共同仕入ヲ勸奨スルコト

四 配給機構整備上必要アルトキ又ハ物動計畫ノ改訂等ニ因ル取扱商品ノ減少ニ對應スル爲必要アルトキハ商業者ノ企業合同又ハ共同經營ヲ指導勸奨スルコト(次官通牒「中小商工業者ノ企業合同指導勸奨ニ關スル件」参照)

一三三 生活必需品配給機構整備ニ關スル件

昭和十六年五月五日六振興部第二六號
商工省振興部長農林省總務局長申進

標記ノ件ニ關シテハ昭和十五年十一月二十二日附一五振第一〇〇七二號並ニ昭和十六年二月二十八日附一六振興部第五八八號ヲ以テ夫々商工次官及商工省振興部長ヨリ通牒相成種々御配慮相煩居候處本件ニ付テハ右商工次官通牒ノ趣旨ニ依ルノ外左記ノ趣旨特ニ御留意ノ上至急貴縣(府)組合整備計畫ヲ樹立ノ上商工省振興部長及農林省總務局長宛御打合相成度此段申進候也

記

(秋田、山形、東京、石川、福井、山梨、長野、奈良、和歌山、熊本、沖繩)

一、小賣商業組合

(一) 包括的業種別小賣商業組合ニ小賣業者ヲ組織スルコト(生活必需品配給機構整備ニ關スル商工次官通牒一、ノ(1)參照)

(1) 包括的業種別ノ區分ハ原則トシテ(イ)食料品(ロ)燃料

(イ) 註文洋服
(ロ) 自轉車
(ハ) 石 油

(二) 生活必需品一般ヲ取扱フ業者ガ多數ヲ占ムル郡部ニシテ地方ノ商業ノ實情ニ依リ包括的業種ニ區分スルコト不適當ナル地域ノ小賣業者ハ生活必需品又ハ之ニ準ズル物資ヲ統合シタル小賣商業組合(生活必需品小賣商業組合)ニ之ヲ組織化スルコトヲ得ルコト

(三) 既設ノ地區商業組合ヲ生活必需品ノ配給機關トシテ利用セントスルトキハ成ルベク旅館、理髮店、浴場等ヲ除外シ特ニ必要アル場合ハ之等ノ營業者ヲ別個ノ商業組合ニ統合スルコト

(四) 地區ヲ市郡町村單位又ハ警察署ノ管轄區域單位トスルコトハ差支ナキモ成ルベク從來ノ經濟地域ヲ尊重スルト共ニ組合員數ガ多キニ過ギ又ハ少キニ過グルトキハ組合經營上支障アルベキヲ以テ右ノ點ヲモ考慮シ適當ニ之ヲ定ムルコト

(五) 組合員ノ行フ配給ニ付テハ統制上必要ナキ限リ其ノ配給區域ヲ組合地區内ニ限定スルコトナク組合員ノ從來ノ配給實績ニ依リ配給ヲ爲サシムルコト

二、卸商業組合

産組法 中央農業協力會ニ關スル件

(ハ) 纖維製品(ニ)其ノ他ノ家庭用雜貨ノ四種トスルコト
(2) 生活必需品中左ニ掲グル物資ニ付テハ業種別組合ニ組織化スルコト

(イ) 醫藥品
(ロ) 度量衡器、計量器

(3) 左ニ掲グル物資ニ付テハ都市ノ小賣業者ハ業種別小賣商業組合ニ之ヲ組織化スルコト但シ郡部ノ小賣業者ハ食料品小賣商業組合ニ之ヲ統合スルコトヲ得ルコト

(イ) 生鮮魚介
(ロ) 蔬菜果實
(ハ) 鳥獸肉
(ニ) 豆 腐
(ホ) 牛 乳
(ヘ) 水

(2) 並ニ前項各號ニ掲ゲタル物資ニ關スルモノノ外地方ノ特別ノ事情ニ依リ業種別小賣商業組合ヲ認メントスル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ詳細ニ具シ打合ヲ爲スコト
(4) 生活必需品中左ノ物資ノ既設業種別組合及其ノ聯合會ハ別段ノ指示アル迄差當リ之ヲ存續セシムルコト

既ニ商工省又ハ農林省ヨリ指示アリタルモノハ其ノ方針ニ從フコト

三、聯合會

次官通牒ノ原則ニ依リ包括業種別ニ之ヲ組織スルコト
四、米麥ニ付テハ一應本件整備計畫ヨリ之ヲ除外スルコト

一三四 中央農業協力會ニ關スル件

昭和十六年四月二十三日六總第四六號
農 林 省 總 務 局 長 通 牒

現下ノ食糧事情ニ鑑ミ農林漁業團體ノ有機的連繫ヲ強固ニシ其ノ綜合的活動ヲ圖ルノ要緊切ナルモノアルヲ認メ別紙要綱ニ依リ戰時農林漁業及食品工業協力體制ヲ確立スルコトトナリ差當リ先ヅ農業部門ニ付之ガ具體的方策ヲ樹立スルコトトシ關係諸團體ト協議ノ結果去ル四月十八日別紙會則ニ依ル中央農業協力會設立セラレ候條御了知ノ上本會ノ運營上其ノ趣旨達成ニ協力方可然御配慮相煩度此段及通牒候也(別紙會則ハ「附錄」參照)

產組法 中央農業協力會ニ關スル件

戰時農林漁業及食品工業協力體制要綱

昭和十六年三月三十一日農林省總務局長通牒

第一方 針

現下内外諸情勢ノ緊迫化ニ對處シ特ニ戰時食糧其ノ他重要農林水産物増産確保ノ要緊切ヲ加ヘ來レルニ鑑ミ相互ニ密接ナル關聯アル農林關係諸團體間ノ有機的連繫ヲ固クシ其ノ綜合的活動ノ徹底ヲ期スルト共ニ各々其ノ職分ニ基キ機能ノ擴充強化ヲ圖リ以テ協心一體總力發揮ニ依リ農林漁業及食品工業ノ戰時運營ニ遺憾ナカラシムル爲本要綱ニ依リ戰時農林漁業及食品工業協力體制ヲ整備セントス

第二 組織要項

一 設置目標

協力體制ハ概ネ(一)農業(二)林業(三)水産業(四)食品工業(五)馬事ノ五部門ニ大別シ順次之ヲ組織スルコトトシ差當リ農業部門ヲ豫定ス

二 農業部門ノ協力體制

甲 中央機關

- (イ) 名 稱 中央農業協力會
- (ロ) 構 成 員

調ニ關スル事項

- (3) 構成員ニ屬スル事業分野ノ協定其ノ他事業上ノ調整ニ必要ナル事項
- (4) 其ノ他必要ナル事項

(ホ) 前項各號ニ掲グル事項ニシテ重要ナルモノニ付テハ農林大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

- (1) 構成員ハ中央農業協力會ノ決定ニ對シテハ各々其ノ職分ニ應ジ之ニ協力スルモノトス
- (2) 構成員ハ中央農業協力會ニ於テ決定シタル事項ニ付テハ之ニ則リ其ノ所屬系統團體及其ノ組織者タル農業者ヲ統制シ系統的ニ其ノ指導ニ從ハシムルモノトス

(ハ) 機 關

- (1) 中央農業協力會ニ會長、副會長各一名、理事、評議員各若干名ヲ置ク
 - 會長及副會長ハ理事會ニ於テ之ヲ選任シ農林大臣ノ承認ヲ受クルモノトス
 - 理事ハ構成員ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ但シ理事會ニ於テ必要アリト認ムルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受ケ構成員以外ノ者ヨリ理事ヲ選任スルコトヲ得ルモノトス
- 地方農業協力體制ニ關スル件

帝國農會、產業組合中央會、全國購買販賣組合聯合會、中央畜産會、全國養蠶業組合聯合會、茶業組合中央會議所及產業組合中央金庫ヲ以テ之ヲ組織ス

前項以外ノ團體ト雖農業ニ關スル全國的團體ニシテ中央農業協力會ノ目的達成上其ノ協力ヲ必要トスルモノハ必要ニ應ジ之ヲ參加團體ト爲スモノトス

(ハ) 目 的

中央農業協力會ハ左ニ掲グル事項ヲ行フコトヲ目的トス

- (1) 農業ノ綜合的指導運營及發達ヲ圖ル爲構成員ノ行フ事業ヲ指導統制スルコト
- (2) 農業部門ニ於ケル意見ヲ代表シ重要農業政策ニ關シ政府ニ協力スルコト

中央農業協力會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事項ノ遂行ニ付指導的地位ニ立ツモノトス

- (1) 農業増産其ノ他農業ニ關スル計畫、指導、統制ノ連絡協調ニ關スル事項
- (2) 農家經濟ノ改善ニ關スル計畫、指導ノ連絡協

トヲ得

評議員ハ關係官廳官吏、參加團體ノ代表者及農業ニ關スル學識經驗アル者ノ中ヨリ理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

(2) 理事會ハ中央農業協力會ノ會務執行ニ關スル重要事項ヲ審議決定ス

評議員會ハ中央農業協力會ノ事業ニ關スル重要事項ニ付會長ノ諮問ニ應ズルモノトス

- (3) 中央農業協力會ニ職員若干名ヲ置ク

中央農業協力會ノ經費ハ構成員ノ負擔金其ノ他ヲ以テ之ニ充ツ

乙 地方機關

道府縣以下ノ團體ニ關シテハ必要アル場合ニ於テハ地方ノ實情ニ即シ地方限リノ連絡機關ヲ設クルコトヲ得ルモノトス

一三五 地方農業協力體制ニ關スル件

昭和十六年六月二十六日一六總第貳三號 農林省總務局長通牒

標記ノ件ニ關シ中央農業協力會ニ於テ決定シタル地方農

業協力體制要綱ニ對シ六月二十五日附ヲ以テ農林大臣ノ承認相成候處右ハ時局下食糧増産完遂上地方農業協力體制確立ニ俟ツ處極メテ大ナルニ鑑ミ適當ト認メ承認相成リタル次第ニ付御了知ノ上右要綱ニ則リ貴管下各種農業團體ヲ指導督勵シテ之ガ趣旨達成ニ努メラレ度此段及通牒候也

地方農業協力體制要綱

一、方針

中央農業協力會加盟團體ノ地方系統組織ハ有機的連繫ヲ強化シ綜合的一體的活動ヲ徹底シ以テ戰時農業ノ運管ニ遺憾ナキヲ期スル爲本要綱ニ依リ農業團體ノ協力體制ヲ整備スルモノトス

二、要項

(一) 道府縣

道府縣ニ在リテハ地方官廳トノ緊密ナル連繫ノ下ニ地方ノ實情ニ即シ中央ニ準シテ道府縣農業協力會ヲ設置シ可及的左ノ如キ方法ニ依リ加盟團體系統組織ノ實質的一體化ヲ圖ルコト

事務所ヲ同一ナラシムルコト

役員ヲ共通ナラシムルコト

主要職員ヲ兼務セシムルコト

加盟團體ノ事業ニ付テハ一體の運管ヲ期シ得ル如

ク適當ニ考慮シ特ニ共通の指導事業(調査、印刷物ノ發行、訓練養成施設、講習會、相互ニ密接ナル關聯アル事項ニ關スル合同協議會ノ開催等)ノ集中化ヲ圖ルコト

道府縣農業協力體ト中央農業協力會トノ關係ハ差當リ事務的連絡ノ範圍ニ止ムルモ中央並ニ道府縣農業協力體制ノ整備強化ニ努メ將來之ヲ事業上ノ範圍ニ迄擴張シ系統組織化スルコト

(二) 郡市

郡市ニ在リテハ道府縣ノ方法ニ準シテ加盟團體系統組織ノ實質的一體化ヲ圖ルコト

郡市農業協力體ト道府縣農業協力體トノ間ニ於テハ道府縣農業協力體ノ整備ニ即應シ事務的連絡、若ハ事業上ノ系統的活動ヲナスコト

(三) 町村

町村ニ在リテハ概ネ左ノ如キ方法ニ依リ加盟團體系統組織ノ實質的一體化ヲ徹底シ町村農業經濟活動ノ最高度ノ機能發揮ヲ圖ルコト

地域ヲ同一ナラシムルコト

事務所ヲ同一ナラシムルコト

役員ヲ共通ナラシムルコト

(二) 職員ヲ兼務セシムルコト

一三六 部落會及部落農業團體ノ調整ニ關スル件

昭和十六年二月十七日發地第二九號
內務 次官 農林 次官 通牒

首題ノ件ニ關シ今般內務農林兩省間ニ於テ左記ノ通決定相成候條御了知ノ上右趣旨ニ依リ部落會及部落農業團體ノ整備ヲ圖リ部落活動ノ一元の強化ノ爲兩者ノ圓滑ナル調整ニ付萬遺憾ナキヲ期セラレ度

部落及部落農業團體ノ調整ニ關スル件

部落會ハ部落ノ全住民ヲ構成分子トスル地域團體トシテ市町村ノ下部行政組織タルモノトシ部落農業團體ハ部落ニ於ケル農家ノ自主的團體トシテ部落ニ於ケル農業經濟ノ實行組織ナルヲ以テ互ニ代用關係ニ立ツコトナク夫々整備ヲ行フコトトスルモ兩者ノ圓滑ナル協調聯絡ヲ圖リ部落活動ヲ一元的ニ強化スル爲兩者ノ關係ハ組織上及活動上左ノ如ク之ヲ調整スルコト

一、純農村部落ニ於テハ出來得ル限り部落會ト部落農業團體ノ區域ヲ一致セシメ役員等ノ人的結合ヲ圖リ部落常會ト組合例會ヲ共通ナラシムル等ノ方法ニ依リ兩者ハ事實

產組法

部落會及部落農業團體ノ調整ニ關スル件 戰時食糧増産
完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱ニ關スル件

上一體トナリテ部落活動ニ遺憾ナカラシムルコト

二、純農村部落以外ノ部落ニ於テハ部落會ニ農業部等ノ部門ヲ設ケ部落農業團體ノ代表者ヲシテ其ノ任務ヲ擔當實行セシメ兩者ノ緊密ナル聯繫ヲ圖ルコト

三、部落農業團體ノ活動分野ハ農業經濟活動ノ範圍ニ之ヲ限定スルコトトシ部落會ノ事業中農業經濟ニ關スル事項ハ部落農業團體ヲシテ之ヲ實行セシムルコト從ツテ農事實行組合ニ設ケラレタル社會部、婦人部、青年部等ハ右趣旨ニ沿ヒ之ヲ夫々部落會ノ各部ニ改ムルコト

一三七 戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱ニ關スル件

昭和十六年五月二十六日一六總第百四號
農林 省 總 務 局 長 通牒

標記ノ件ニ關シ中央農業協力會ニ於テ決定致シタル別紙戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱ニ對シ五月二十三日附ヲ以テ農林大臣ノ承認相成候處右ハ時局下食糧増産確保上部落農業團體ノ活動ニ俟ツ處極メテ大ナルニ鑑ミ適當ト認メ承認相成リタル次第ニ付御了知ノ上右要綱

ニ則リ貴管下各種農業團體ヲ指導督勵シテ之ガ趣旨達成ニ努メラレ度此段及通牒候也

戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱

時局ノ要請ニ即應シ戰時食糧ノ確保ヲ期スル爲ニハ各種農業團體ノ活動ニ俟ツヘキモノ多クアリト雖モ特ニ農業生産ノ實行團體タル部落農業團體ニ對シ現下當面ノ具體的實踐方策ヲ明ニシテ其ノ創意ト責任ニ基ク積極的活動ヲ推進セシムルト共ニ之カ指導ヲ分擔スヘキ農會、產業組合其ノ他ノ農業諸團體亦國家ノ諸施設ニ協力シテ夫々職分ニ應ジ指導統制、經濟及金融等ノ立場ヨリ重點的ニ全國ニ互リ一體的活動ヲ爲シ以テ協同連帶シテ目的達成ニ努ムルヲ要ス仍テ右ニ基キ特ニ左記事項ニ付其ノ急速ヲ要スルモノヨリ順次之カ實施ヲ期セントス

第一 部落農業團體ノ爲スヘキ事項

- 一 生産計畫ノ實施ニ關スル事項
 - (一) 部落農業團體ハ國家目的ニ從ヒ樹立セラレタル食糧生産計畫ニ基キ之カ實行ノ責ニ任シ且農會ノ生産ニ關スル統制施設ノ徹底實施ニ努ムルコト
 - (二) 部落農業團體ハ部落内ニ於ケル稻作廢止ノ防止及二毛作ノ普及促進ヲ圖ルコト

ニ則リ貴管下各種農業團體ヲ指導督勵シテ之ガ趣旨達成ニ努メラレ度此段及通牒候也

戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱

時局ノ要請ニ即應シ戰時食糧ノ確保ヲ期スル爲ニハ各種農業團體ノ活動ニ俟ツヘキモノ多クアリト雖モ特ニ農業生産ノ實行團體タル部落農業團體ニ對シ現下當面ノ具體的實踐方策ヲ明ニシテ其ノ創意ト責任ニ基ク積極的活動ヲ推進セシムルト共ニ之カ指導ヲ分擔スヘキ農會、產業組合其ノ他ノ農業諸團體亦國家ノ諸施設ニ協力シテ夫々職分ニ應ジ指導統制、經濟及金融等ノ立場ヨリ重點的ニ全國ニ互リ一體的活動ヲ爲シ以テ協同連帶シテ目的達成ニ努ムルヲ要ス仍テ右ニ基キ特ニ左記事項ニ付其ノ急速ヲ要スルモノヨリ順次之カ實施ヲ期セントス

第一 部落農業團體ノ爲スヘキ事項

- 一 生産計畫ノ實施ニ關スル事項
 - (一) 部落農業團體ハ國家目的ニ從ヒ樹立セラレタル食糧生産計畫ニ基キ之カ實行ノ責ニ任シ且農會ノ生産ニ關スル統制施設ノ徹底實施ニ努ムルコト
 - (二) 部落農業團體ハ部落内ニ於ケル稻作廢止ノ防止及二毛作ノ普及促進ヲ圖ルコト

必要ナル造成設備ノ完備ヲ期スルコト

- (三) 部落農業團體ハ農村衣料等ノ自給ニ資スル爲野生苧麻及桑皮等ノ採取、屑麻ノ回收等農村未利用資源ノ活用ニ努ムルコト
- 四 共同作業、共同設備ノ普及強化ニ關スル事項
 - 部落農業團體ハ特ニ左ノ各號ノ施設ニ付テハ積極的ニ其ノ擴張強化ヲ圖リ農業共同化ノ促進、農業勞働力ノ保全及活用等ニ努ムルコト
 - 農機具ノ共同利用
 - 共同採種圃、共同苗代田ノ設置
 - 共同作業場ノ設置
 - 共同田植、病蟲害ノ共同防除等ノ共同作業ノ徹底
 - 家畜ノ共同購入及共同利用
 - 農繁期共同炊事ノ實施
 - 其ノ他必要ナル農業勞働力ノ確保及調整施設
- 五 農畜一體ノ原則ノ具現促進ニ關スル事項
 - (一) 農業生産力ノ増強及自給肥料ノ給源ノ確保等ヲ圖ル爲部落内ノ農家ヲシテ極力家畜家禽ノ分散飼育ヲ獎勵シ以テ無畜農家ノ解消ニ努ムルコト
 - (二) 部落内ノ放牧地、採草地等ノ利用ノ合理化ヲ圖リ飼料ノ自給ニ努ムルコト

產組法 戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱ニ關スル件

(三) 團體員ノ畜産知識ノ普及ニ努ムルト共ニ部落ノ農業生産事情ニ應ジ合理的ナル畜力利用ノ方法ヲ講スルコト

- 六 農産物(畜産物ヲ含ム以下同シ)ノ供出ニ關スル事項
 - (一) 部落農業團體ハ農産物ノ供出等ニ付團體供出制ノ確立ニ努ムルコト
 - (二) 部落農業團體ハ主要農産物ノ供出ニ付テハ自家用保有米ノ節約等食糧ノ消費規正ニ努メ極力供出農産物ノ増加ニ協力スルコト
 - 七 農業金融ノ刷新合理化ニ關スル事項
 - 部落農業團體ヲ單位トスル生産資金ノ活用ヲ圖リ之カ普遍化ニ努ムルコト
 - 八 以上諸事項ノ實施ニ關スル事項
 - (一) 前記諸方策實施ノ爲ニハ部落農業諸團體ヲ整理、統合シテ一地區一團體、全農家加入ノ單一部落農業團體ニ改組整備セシムル根本方針ノ下ニ必要ナル法律ノ整備ヲナスヘキモ右法制ノ整備ヲ見ル迄ノ過渡的措置トシテハ右趣旨ニ沿ヒ農事實行組合網ノ普及完備ニ努メ且出來得ル限り之ト養蠶實行組合等トノ關係ニ於テハ其ノ組織活動ヲ實質上一體タラシムル如ク考慮スルト共ニ之カ農業諸團體ヘノ加入又ハ連

繫ヲ徹底セシメ以テ各團體ノ綜合的一貫指導ニ遺憾ナカラシムルコト

- (二) 前記諸方策ノ實施ニ當リテハ地方ノ實情ニ應シ重點主義ニ依リ之ヲ實施スルモノトスルモ差當リ昭和十六年度ニ於テハ特ニ左ノ事項ノ實行ニ努ムルコト
 - (イ) 空荒地ノ利用ニ依ル一定面積以上ノ共同耕作地ノ設定
 - (ロ) 稻作廢止ノ防止及二毛作ノ普及
 - (ハ) 低位收穫農家ノ向上
 - (ニ) 自給肥料及自給飼料ノ増産
 - (ホ) 病蟲害ノ共同防除ノ徹底
 - (ヘ) 農機具ノ共同利用
 - (ト) 家畜ノ共同購入及共同利用
 - (チ) 農繁期榮養食ノ普及及ハ共同炊事ノ普及
 - (リ) 耕地ノ交換分合

第二 農業諸團體ノ協力方針

- (一) 農會ノ爲スヘキ事項
 - 農會ハ其ノ系統ニ從ヒ主トシテ指導統制ノ立場ヨリ農業ノ生産及技術上ノ綜合指導、農業生産資材ノ配給並ニ農産物集荷等ノ統制ヲ行フト共ニ農家ノ福利増進ニ努メ以テ部落農業團體ノ活動ニ對シ指導協力スルコト

- (二) 產業組合ノ爲スヘキ事項
 - 產業組合ハ其ノ系統ニ從ヒ主トシテ經濟及金融ノ立場ヨリ生産計畫ノ達成、生産資材ノ配給、農産物ノ集荷及配給ニ關シ計畫ニ即應スル資金ノ積極的融通ヲ行ヒ貯蓄ノ獎勵及國債ノ消化ニ努ムルト共ニ農會ノ統制ノ下ニ生産資材及生活必需物資ノ配給並ニ農産物ノ集荷配給ヲ爲シ共同託兒所ノ設置、共同炊事ノ實施等ニ對シ必要ナル資金ノ融通等ヲ爲シ其ノ他農村厚生施設ノ充實ニ努メ且部落農業團體ノ事業トシテ行ヒ得サルモノニ付必要アル場合ハ產業組合ノ利用事業トシテ之ヲ行ヒ以テ部落農業團體ノ活動ニ對シ指導協力スルコト
- (三) 畜産團體ノ爲スヘキ事項
 - 畜産團體ハ中央畜産會ノ指導統制ノ下ニ畜産指導ノ立場ヨリ無畜農家ノ解消ヲ目標トスル家畜ノ増殖利用、家畜取引ノ合理化及生産資材ノ配給等ノ統制ニ努メ以テ部落農業團體ノ活動ヲ援助協力スルコト
- (四) 養蠶業組合及茶業組合ノ爲スヘキ事項
 - 養蠶業組合及茶業組合ハ其ノ系統ニ從ヒ全國養蠶業組合聯合會及茶業組合中央會議所ノ指導統制ノ下ニ部落農業團體ノ活動ヲ援助協力スルコト

(備考)

農業諸團體ノ協力方針ニ關スル細目ハ別途之ヲ定ムルコト

一三八 漁業組合ト産業組合トノ連絡協調ニ關スル件

昭和十三年七月二十六日一三水第(三三)號 農林省水産局長經濟更生部長通牒

今般漁業協同組合ハ漁業法ノ改正ニ依リ貯金ノ受入ヲ爲シ得ルコトトナリ又産業組合中央金庫法ノ改正ニ依リ産業組合中央金庫ニ加入ノ途折カレ販賣購買等ノ事業ハ固ヨリ金融業務ニ付テモ産業組合ト略同一ノ機能ヲ有スルニ至リ候處漁村ニ於ケル兩者ノ調整ニ付テハ大要左記方針ニ依ルヲ適當ト被存候ヘ共必ズシモ此レニ依リ難キ事情モ可有之要ハ各漁村ノ實情ニ應ジ夫々具體的ニ適當ナル處置ヲ講ゼラレ以テ漁村ノ經濟更生ニ資セラレ度此段依命及通牒候也

記

- 一、純漁村ニ於テハ原則トシテ漁業協同組合ノ活動ニ俟ツコトトシ現ニ産業組合アルモ將來發展ノ見込ナキガ如キモノハ適當ノ時期及方法ニ依リ之ガ整理ヲ爲スコト
- 二、純漁村ニ非ザル町村ニ於テハ大要左ノ標準ニ依ラシムルコト

產組法 漁業組合ト産業組合トノ連絡協調ニ關スル件

- (イ) 町村内ノ漁村部落、農村部落ガ夫々獨立シテ漁業組合及産業組合ヲ以テスル必要アルモノハ其ノ部落毎ニ漁業組合又ハ産業組合ヲ設立セシムルモ差支ナキコト
- (ロ) 部落區域ノ漁業組合ニシテ獨立シテ貯金ノ取扱ヲ爲シ得ザルガ如キモノハ産業組合ニ加入スルコト
- (ハ) 同一漁村ニ區域ヲ重複シテ漁業協同組合及産業組合ヲ併存セシムル場合ニ於テハ組合員ノ分配又ハ事業ノ調整等ノ方策ヲ講ジ共存共榮ヲ圖ルコト
- 三、漁業協同組合ニ於テ新ニ貯金ノ受入ヲ開始セントスル場合ニ於テハ豫メ貴官ニ打合ヲ爲サシメ組合ノ區域、組合員數、實力乃至既設産業組合トノ關係ヲ充分考慮シテ決定スルコト

【第二類】

農業倉庫業法關係

一 農業倉庫業法

大正六年七月二十一日法律第十五號
改正大正十五年三月二十七日法律第三十二號
昭和九年三月十日法律第一號
昭和十四年四月五日法律第六十八號
昭和十五年三月二十九日法律第五十九號

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

- 一 農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物、繭其ノ他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合土地ニ付權利ヲ有スル者ガ小作料トシテ受ケタル穀物其ノ他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ木炭ノ生産ヲ爲ス者ガ其ノ生産シタル木炭ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者
 - 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル繭ヲ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者
- 前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得
- 農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依

農倉法 農業倉庫業法

ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

- 一 受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ヲ爲スコト
 - 二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト
 - 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト
 - 四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 五 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テ其ノ物品ノ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
 - 六 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト
- 第三條 農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス
- 第四條 產業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サレハ第一條第一項第一號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス
- 命令ヲ以テ指定スル產業組合聯合會ニ非サレハ第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス
- 第五條 農業倉庫業者タル產業組合又ハ產業組合聯合會ハ

産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附随トシテ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

農業倉庫業者タル農會又ハ公益法人ハ第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第七條ノ二 農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第六百二十七條第二項及第六百二十八條ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

〔參照〕

商法

第六百二十七條第二項 倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人ノ負擔ス

第六百二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第六百三條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スル事ヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタル時ハ此限ニ在ラス預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス

第六百四條 第五百七十三條及ヒ第五百七十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

第五百七十三條 貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ貨物引換證ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百七十五條 貨物引換證ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ貨物引換證ヲ引渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一ノ效力ヲ有ス

農倉法 農業倉庫業法

第五百九十九條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及

ヒ番號ヲ記載シ倉庫業者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

二 寄託者ノ氏名又ハ商號

三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七 證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第六百條 倉庫業者カ預證券及ヒ質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第六百一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫業者者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫業者

第六百五條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第六百二十條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百二十八條 倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章、第六百十六條乃至第六百十九條及第六百二十四條乃至第六百二十六條ノ規定ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

〔參照〕

商法第三編 商 行 爲

第五章 仲立營業

第五百四十三條 仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第五百四十四條 仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第五百四十五條 仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取リタルトキハ其行爲カ完了スルマテ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第五百五十條 仲立人ハ第五百四十六條ノ手續ヲ終リタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス
仲立人ノ報酬ハ依頼者双方平分シテ之ヲ負擔ス

第六章 問屋營業

第五百五十一條 問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第五百五十二條 問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得義務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及代理ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十三條 問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付キ相手方カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ヌ但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第五百五十四條 問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲シタル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其效力ヲ生ス

第五百五十五條 問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ノ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ賣買ノ代價ハ問屋カ買主又

農倉法 農業倉庫業法

第五百四十六條 當事者間ニ於テ行爲カ成立シタルトキハ仲立人ハ遲滞ナク各當事者ノ氏名又ハ商號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作り署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付スルコトヲ要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名セシメタル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ遲滞ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第五百四十七條 仲立人ハ其帳簿ニ前條第一項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

當事者ハ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ媒介シタル行爲ニ付キ其帳簿ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十八條 當事者カ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ第五百四十六條第一項ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス

第五百四十九條 仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ其相手方ニ示ササリシトキハ之ニ對シテ自ラ履行ヲ爲ス責ニ任ヌ

ハ賣主ト爲リタルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十六條 問屋カ買入ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ委託者カ買入レタル物品ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ第五百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百二十四條 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス損敗シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスシテ之ヲ競賣スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ要ス但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第五百五十七條 第四十七條及ヒ第五十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス

第四十七條 代理商ガ取引ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタル

トキハ運滞ナク本人ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第五十一條 代理商ハ取引ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルニ因リテ生ジタル債權ガ辨濟期ニ在ルトキハ其ノ辨濟ヲ受クル迄本人ノ爲ニ占有スル物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但シ別段ノ意思表示アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十八條 本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲スヲ業トスル者ニ之ヲ準用ス

第七章 運送取扱營業

第五十九條 運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

運送取扱人ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外問屋ニ關スル規定ヲ準用ス

第六十條 運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管、運送人又ハ他ノ運送取扱人ノ撰擇其他運送ニ關スル注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第六十一條 運送取扱人カ運送品ヲ運送人ニ引渡シ

テ消滅ス

前項ノ期間ハ運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ其引渡アルヘカリシ日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ運送取扱人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十七條 運送取扱人ノ委託者又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第六十八條 第五百七十八條及ヒ第五百八十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス

第六十八條 貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷受人カ運送ヲ委託スルニ當タリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス

第六十三條 運送品カ到達地ニ達シタル後ハ荷受人ハ運送契約ニ因リテ生ジタル荷受人ノ權利ヲ取得ス
荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送人ニ對シ運送賃其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第六十六條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ摘出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得賃入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

タルトキハ直チニ其報酬ヲ請求スルコトヲ得
運送取扱契約ヲ以テ運送賃ノ額ヲ定メタルトキハ運送取扱人ハ特約アルニ非サレハ別ニ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第六十二條 運送取扱人ハ運送品ニ關シ受取ルヘキ報酬、運送賃其他委託者ノ爲メニ爲シタル立替又ハ前貸ニ付テノミ其運送品ヲ留置スルコトヲ得

第六十三條 數人相次テ運送ノ取次ヲ爲ス場合ニ於テハ後者ハ前者ニ代ハリテ其權利ヲ行使スル義務ヲ負フ

前項ノ場合ニ於テ後者カ前者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ前者ノ權利ヲ取得ス

第六十四條 運送取扱人カ運送人ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ運送人ノ權利ヲ取得ス

第六十五條 運送取扱人ハ特約ナキトキハ自ら運送ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ運送取扱人ハ運送人ト同一ノ權利義務ヲ有ス運送取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作りタルトキハ自ら運送ヲ爲スモノト看做ス

第六十六條 運送取扱人ノ責任ハ荷受人カ運送品ヲ受取リタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リ

第六十七條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニアラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第六十八條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第六十九條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メサリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第六十四條 第五百二十四條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス
此場合ニ於テ賃入證券ノ所持人ノ權利ハ競賣代金ノ上ニ存在ス

第六十一條及ヒ第六十二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第五百二十四條 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルト

農倉法 農業倉庫業法

キハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ運滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス損敗シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスシテ之ヲ競賣スルコトヲ得

第六百二十五條 第五百八十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

第五百八十八條 運送人ノ責任ハ荷受人カ留保ヲ爲サスシテ運送品ヲ受取り且運送貨其他ノ費用ヲ支拂ヒタルトキハ消滅ス但運送品ニ直チニ發見スルコト能ハサル毀損又ハ一部滅失アリタル場合ニ於テ荷受人カ引渡ノ日ヨリ二週間内ニ運送人ニ對シテ其通知ヲ發シタルトキハ此限ニ在ラス
前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第六百二十六條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス
前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

事業ノ停止ヲ命シ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス
非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

〔參照〕

非訟事件手續法

第二百六條 過料事件ノ他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外過料ニ處セラレヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス
手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ

農倉法 農業倉庫業法

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十二條 商法第六百七十七條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改装又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

第十四條ノ二 農業倉庫業者ノ農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ繭ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行若ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲カ法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ

歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セズ

第十九條

本法ニ於テ聯合農業倉庫業者トハ農業倉庫業者カ第一條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

聯合農業倉庫業者ハ他ノ聯合農業倉庫業者カ前項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品又ハ販賣組合若ハ販賣組合聯合會ガ賣却スル穀物、繭、木炭其ノ他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ保管スルコトヲ得

聯合農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ農業倉庫業者カ第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品、販賣組合若ハ販賣組合聯合會ガ賣却スル物品又ハ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセザル法人ガ賣却若ハ賣却ノ幹施ヲ爲ス物品ヲ保管スルコトヲ得他ノ聯合農業倉庫業者カ本項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ニ付亦同シ
前項ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセザル法人ノ爲ニ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得ル聯合農業倉庫

業者ハ命令ヲ以テ之ヲ指定ス

第二十條 産業組合聯合會ニ非サレハ聯合農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第二十一條 聯合農業倉庫業者タル産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第二條(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)及第十九條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非ザル組合若ハ聯合會又ハ命令ヲ以テ指定スル營利ヲ目的トセザル法人ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 農業倉庫業者カ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人及受寄物ノ質權者アル場合ニ於テハ其ノ質權者ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テハ其ノ寄託ニ因リ生シタル農業倉庫業者ノ權利義務ハ當初ノ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人ニ移轉シ當初ノ寄託ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二十三條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託セムトスル場合ニ於テ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券アルトキハ將來ニ向テ其ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルコトヲ得

ヲ得

農業倉庫業者ハ前項ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルニ非サレハ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スルコトヲ得ス

第二十四條 聯合農業倉庫業者ハ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券ナキ旨ノ農業倉庫業者ノ證明書又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ裏書ヲ禁止セラレタル證券ト引換ニ非サレハ其ノ受寄物ノ聯合農業倉庫證券ヲ交付スルコトヲ得ス

第二十五條 前三條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ他ノ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二條、第三條、第六條乃至第九條、第十條第一項及第十一條乃至第十八條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第二條第六號中農業倉庫業者トアルハ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者、農業倉庫證券トアルハ農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券トシ第八條中農業倉庫證券トアルハ聯合農業倉庫證券トス

第一條第二項ノ規定ハ第十九條第一項及第二項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス
第十條第二項ノ規定ハ第十九條第一項又ハ第二項ニ規定スル寄託物ニ、同條第三項ノ規定ハ第十九條第三項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス但シ聯合農業倉庫業者カ第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル第一條第二項ノ物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正六年勅令第百十號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正十五年勅令第百五十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

附則

本法施行ノ際現ニ農業倉庫業者カ從前ノ第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ存スル預證券及質入證券ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和九年勅令第百十號ヲ以テ同年五月二十日ヨリ施行)

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

商法中改正法律施行法ニ依リ同法第一條ニ於テ謂フ舊法ヲ適用スベキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

(昭和十四年勅令第百十號ヲ以テ同十五年一月一日ヨリ施行)

附則

本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 農業倉庫業法施行規則

大正六年八月十五日農商務省令第十五號
改正大正九年六月八日農商務省令第六號
大正十五年七月五日農林省令第六號
昭和八年九月一日農林省令第十八號
昭和九年五月十六日農林省令第十號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

一 申請ノ理由

二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

三 倉庫ノ所在地

四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力

並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項

五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關

スル事項

六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築

又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既

設ノモノニ付テハ建築ノ時期

七 附屬ノ設備ニ關スル事項

八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其

ノ調達方法

- 九 起業費及一箇年ノ收支概算
- 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書類
- 十一 公益法人ニ在リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目錄
- 十二 農業倉庫業法第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者
タラムモノトスルモノニ在リテハ其ノ區域内ニ於ケル
販賣組合及販賣組合聯合會ノ賣却スル鹵ノ數量
- 第二條 農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
 - 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
 - 二 保管スヘキ物品ノ名稱
 - 三 農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
 - 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
 - 五 保管料ニ關スル規定

六 保管期間ニ關スル規定

- 七 聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ聯合農業倉庫業者又ハ倉庫營業者ノ名稱
- 八 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於ケル受寄物及農業倉庫證券ノ取扱並受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ引渡ス迄ノ間ニ於ケル危險ノ負擔ニ關スル規定
- 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 十 證券發行ニ關スル規定
- 十一 保險ニ關スル規定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 產業組合又ハ產業組合聯合會ニ於テ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業

務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 混合保管ノ範圍
- 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定
- 第四條 農業倉庫業法第四條第二項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者タルコトヲ得ル者ハ鹵ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル
 - 一 共同鹵倉庫及共同乾鹵裝置助成規則ニ依リ共同鹵倉庫ノ助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ヲ有スル者
 - 二 共同鹵倉庫及共同乾鹵裝置助成規則ニ依リ共同鹵倉庫ノ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ニ準スヘキ規模及構造ヲ具備スル倉庫ヲ有スル者
- 第五條 農業倉庫業者ニ非サレハ其ノ名稱中ニ農業倉庫ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
- 第六條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第七條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地、棟數、建坪又ハ收容力ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 第八條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ

收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

- 第九條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
- 第十條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
止シタル事業ヲ開始シタルトキ亦同シ
- 第十一條 聯合農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 第一條第一號乃至第十號ニ掲ケル事項
 - 二 申請者ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ニシテ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タルモノノ數並ニ其ノ者ガ農業倉庫業法第一條第一項及第二項又ハ同法第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ最近一年間ニ保管シタル物品ノ種類別數量及申請者ニ一年間ニ寄託スベキ物品ノ種類別數量ノ豫定
 - 三 申請者ノ所屬販賣組合又ハ所屬販賣組合聯合會ノ數並ニ農業倉庫業法第十九條第二項ノ規定ニ依リ寄託スルコトヲ得ル物品ニシテ其ノ者ガ農業倉庫業法ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノヲ除キ最近一年間ニ賣却シタルモノノ種類別數量及申請者ニ一年間ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

四 申請者ガ農業倉庫業法第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スルコトヲ得ベキ物品ノ倉庫建設豫定地ニ於ケル種類別集積狀況

第十二條 聯合農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨
- 二 第二條第二號、第四號乃至第十三號及第十六號ニ掲クル事項
- 三 農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位

四 農業倉庫業法第二條(同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

五 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

六 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第二十四條ノ規定ニ依リ聯合農業倉庫證券ト引換ニ受取リタル農業倉庫

證券又ハ聯合農業倉庫證券ノ取扱ニ關スル規定

第十二條ノ二 農業倉庫業法第十九條第三項又ハ同法第二十一條第二項ニ規定スル營利ヲ目的トセザル法人ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 農 會
- 二 漁業組合

第十二條ノ三 農業倉庫業法第十九條第四項ノ規定ニ依リ聯合農業倉庫業者ヲ指定スルコト左ノ如シ

第十三條 聯合農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シ且營利ヲ目的トセザル法人ガ賣却又ハ賣却ノ斡旋ヲ爲スモノト其ノ他ノモノト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第十四條 第三條、第五條及第七條乃至第十條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第五條中農業倉庫ナル文字トアルハ聯合農業倉庫ナル文字トス

第十五條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條乃至第十七條ノ行政官廳ハ農林大臣及地方長官トス但シ同法第十六條ノ行政官廳ハ北海道ニ於テ產業組合、產業組合聯合會、町村農會、郡農會

又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農林大臣、北海道廳長官及北海道廳支廳長トス

第十六條 本則中地方長官トアルハ全國ヲ區域トスル產業組合聯合會ガ聯合農業倉庫業者タル場合ニ在リテハ農林大臣トス

附 則
本則ハ農業倉庫業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(大正六年九月一日ヨリ施行)

第七條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農林大臣之ヲ行フ

附 則 (大正十五年農林省令第十九號)

本令ハ大正十五年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(大正十五年九月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和九年農林省令第十號)

本令ハ昭和九年五月法律第一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和九年五月一日ヨリ施行)

三 農業倉庫業法第一條第一項

第一號ノ規定ニ依ル物品指定ニ關スル件

定ニ關スル件

農倉法

農業倉庫業法第一條第一項第一號ノ規定ニ依ル物品指定ニ關スル件 外一

大正十五年七月十五日勅令第二百五十八號

農業倉庫法第一條第一項第一號ノ規定ニ依ル物品ヲ指定スルコト左ノ如シ

沖繩縣及鹿兒島縣ニ於テ生産セラレタル黑糖及白下糖

附 則
本令ハ大正十五年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(大正十五年九月一日ヨリ施行)

四 農業倉庫業法第十五條ノ規定ニ依ル命令ノ件

昭和十五年十一月十九日農林省令第五百五號

第一條 農業倉庫業法第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ル農業倉庫業者ハ米穀生産者又ハ地主ガ米穀管理規則第五條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指示ニ從ヒ管理米ノ寄託ノ申込ヲ爲シタルトキ又ハ寄託ヲ爲シタル當該管理米ヲ擔保トスル貸付ノ申込ヲ爲シタルトキハ之ニ應ジテ當該管理米ヲ保管シ又ハ農業倉庫業法第五條第二項但書ノ規定ニ拘ラズ貸付ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者ノ保管スベキ米穀ノ數量、保管ノ期間及貸付ノ金額ニ關シテハ地方長官之ヲ指

定ス

第二條 農業倉庫業者前條第二項ノ規定ニ依リ保管スベキ米穀ノ數量ヲ指定セラレタル場合ニ於テ其ノ保管上必要アルトキハ地方長官ノ指示ニ從ヒ倉庫ノ借入ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 農業倉庫業者特別ノ事情ニ基キ第一條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル米穀ノ數量ノ全部又ハ一部ヲ保管スルコト能ハザルニ至リタルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ承認ヲ受クベシ

第四條 聯合農業倉庫業者ハ農業倉庫業者ガ第一條第一項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル管理米又ハ臨時米穀配給統制規則ノ定ムル所ニ依リ販賣組合若ハ販賣組合聯合會ガ販賣ノ委託ヲ受ケタル管理米ニ付寄託ノ申込ヲ爲シタルトキハ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第一條第二項及前二條ノ規定ハ前項ノ場合之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農業倉庫業法第十五條ノ規定ニ依ル命令ノ件

昭和八年十一月三十日農林省令第二十四號

第一條 昭和八年產米穀ノ急激ナル出廻ヲ緩和スル爲農業倉庫業法第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ル農業倉庫業者ハ道府縣ニ於テ米穀貯藏獎勵規則ニ依ル獎勵金ノ交付ヲ受ケ糶貯藏ノ助成ヲ爲ス場合ニ於テハ農業ヲ營ム者又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ爲ニ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ受ケタル昭和八年產米穀ニ付申込ニ應ジテ之ヲ保管シ及農業倉庫業法第五條第二項但書ノ規定ニ拘ラズ之ヲ擔保トスル資金ノ融通ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ農業倉庫業者ノ保管スベキ糶ノ數量、保管ノ期間及融通スベキ資金ノ金額ニ付テハ地方長官ノ指定ニ從フコトヲ要ス

第三條 農業倉庫業者前條ノ規定ニ依リ保管糶ノ數量ヲ指定セラレタル場合ニ於テ其ノ保管上必要アルトキハ地方長官ノ指定ニ從ヒ倉庫ノ借入ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 農業倉庫業者特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ指定シタル保管糶ノ數量ノ全部又ハ一部ヲ保管スルコト能ハザルニ至リタルトキハ其ノ事由ヲ具シ地方長官ノ承認ヲ受クベシ

第五條 前四條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第一條中農業倉庫業法第五條第二項但書トアルハ同法第二十一條第二項但書トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五 農業倉庫業法第十九條第二

項ノ規定ニ依ル物品指定ニ

關スル件

昭和九年五月十六日勅令第三百三十一號

農業倉庫業法第十九條第二項ノ規定ニ依リ物品ヲ指定スルコト左ノ如シ

沖繩縣及鹿児島縣ニ於テ生産セラレタル黒糖及白下糖

附 則

本令ハ昭和九年法律第一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和九年五月二十日ヨリ施行)

六 農業倉庫及聯合農業倉庫取

扱心得

大正十五年九月一日農第一〇一八號
改正昭和九年七月二十九日更第八四五四號
昭和十五年十二月二十七日五更第一元五號

大正十五年農第一〇一八五號農業倉庫及聯合農業倉庫取扱

農倉法

農業倉庫業法第十九條第二項ノ規定ニ依ル物品指定ニ關スル件 農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得

心得ヲ左ノ通改正シ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行スルコトト相成候條依命此段及通牒候也

記

第一條 農業倉庫業又ハ聯合農業倉庫業ヲ認可シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ其ノ旨報告スベシ

一 認可ノ年月

二 經營主體ノ名稱

三 經營主體ノ主タル事務所ノ所在地

四 倉庫ノ棟別所在地、建坪及收容量並ニ主要ナル附屬設備ノ種類及規模

五 認可後直ニ事業ヲ開始セザルモノニ在リテハ事業開始ノ豫定年月日

第二條 前條ノ第二號乃至第四號ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ旨報告スベシ

第三條 毎月末ニ於ケル農業倉庫及聯合農業倉庫ノ在庫物數量ヲ様式第一號ニ依リ翌月二十日迄ニ報告スベシ

第四條 前年七月一日ヨリ當年六月三十日迄ノ間ニ事業年度ノ終了シタル農業倉庫及聯合農業倉庫ノ當該事業年度ニ於ケル狀況ヲ様式第二號ニ依リ毎年九月三十日迄ニ報告スベシ

第五條 公益上必要ナル命令ヲ發シ事業ノ停止ヲ命ジ若ハ

農倉法 農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得

認可ヲ取消シタルトキ又ハ事業ノ休止、廢止若ハ休止シタル事業ノ開始ノ届出アリタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨報告スベシ

第一條第五號ニ該當スルモノガ其ノ事業ヲ開始シタルトキ亦同ジ

第六條 農業倉庫法第一條第一項第二號ノ農業倉庫業又ハ聯合農業倉庫業ヲ認可セントスルトキハ意見ヲ具シ申請書及添附書類ノ寫ヲ添へ豫メ本省ニ打合ヲ爲スベシ其ノ倉庫ノ増設ヲ認可セントスルトキ亦同ジ

農業倉庫及聯合農業倉庫在庫物數量調査

年 月末現在

甲、農業倉庫

調査主體數

調査ニ加ハラザル主體數

品目	數量		
	前月末現在數量	入庫數量	出庫數量
玄米			
粳米			
精米			

注意

一、穀物ニ付テハ石、藪、木炭ニ付テハ貫、砂糖

品目	數量			
	前月末現在數量	入庫數量	出庫數量	月末現在數量
臺灣外米				
麥類				
大麥				
小麥				
稞麥				
其ノ他				
豆類				
雜貨				
木炭				
砂糖				

ニ付テハ挺ヲ以テ記スベシ
二、政府ノ寄託物及買取品アルトキハ夫々當該品目欄ニ別記スベシ

乙、聯合農業倉庫

甲號ノ様式ニ準ジ作成スベシ
様式第二號

農業倉庫及聯合農業倉庫事業成績概況

甲、農業倉庫

(第一號表) 受寄物ノ品目別入出庫數量

調査主體數

品目	數量		
	前年度末現在數量	入庫數量	出庫數量
玄米			
粳米			
精米			
麥類			
大麥			
小麥			
稞麥			
其ノ他			

農倉法

農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得

(第二號表) 寄託ヲ受ケタル穀物、藪、木炭及砂糖ノ

品目別入庫數量及寄託者數

(法律第一條第一項第一號ノ農業倉庫業者)

品目	數量			
	前年度末現在數量	入庫數量	出庫數量	年度末現在數量
豆類				
大豆				
小豆				
其ノ他				
雜穀				
藪				
木炭				
砂糖				
菜種				

品目	數量	法律第一條第一項第一號ニ屬スルモノ		小計		法律第一條第三項ニ屬スルモノ		合計
		寄託者數	數量	寄託者數	數量	寄託者數	數量	
玄米								
粃								
精米								
麥類								
豆類								
雜穀								
藁								
木炭								
砂糖								
合計								

(第二號表ノ二)

寄託ヲ受ケタル藁ノ入庫數量及寄託者數

(法律第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者)

品目	數量	法律第一條第一項第二號ニ屬スルモノ		法律第一條第三項ニ屬スルモノ		合計
		寄託者數	數量	寄託者數	數量	
藁						
合計						

(第三號表)

受寄物ノ品目別運送及販賣ノ仲立及取次數量

品目	數量	運送ノ仲立		販賣ノ仲立及取次		其他	合計
		及取次	販賣組合聯合會經由	其ノ他ノ産業組合及産業組合聯合會	其ノ他		
玄米							
粃							
精米							
麥類							
豆類							
雜穀							
藁							
木炭							
砂糖							
菜種							
合計							

農倉法 農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得

(第四號表) 證券發行ノ件數及證券面寄託物ノ數量

品目	件數	法律第一條第一項ニ屬スルモ		其他		合計
		件數	數量	件數	數量	
玄米						
粃						
精米						
麥類						
豆類						
雜穀						
藁						
木炭						
砂糖						
菜種						

(第五號表) 貸付及償還ノ件數金額及貸付ノ目的物ノ數量

品目	件數	前年度末現在		貸付		償還		年度末現在	
		件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
玄米									
粃									
精米									
麥類									
豆類									
雜穀									
藁									
木炭									
砂糖									
菜種									

農倉法 農業倉庫及聯合農業倉庫取扱心得

品目	前年度末現在	貸付	償還	現在貸付	貸付利率	備考
大豆						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦						
粟						
稗						
大豆						
白下糖						
黑糖						
木炭						
蕎麥						
小麦						
大麦				</		

木炭	俵
黑糖	挺
白糖	

一〇 農業倉庫及聯合農業倉庫在庫數量調査ノ件

昭和十五年五月二十九日一五更第四五二號
農林省 經濟更生部 長 通牒

首題ノ件報告中政府指定倉庫タル農業倉庫及聯合農業倉庫ニ於テ政府米ヲ保管スルモノニ在リテハ「内政府米」トシテ區分スル様昭和十年七月四日付更部第八四〇號ヲ以テ通牒致置候處右ハ時局柄特ニ必要ナルモノ有之候條調査上一層ノ精密ヲ期セラレ度尙期限ニ付テモ嚴守方督勵相成度此段重而及通牒候也

追而政府米ノ數量ニ關シテハ極秘ヲ要スル儀ニ付取扱上遺憾ナキヲ期セラレ度爲念申添候

一一 農業倉庫業法中改正ニ關スル件

昭和九年七月七日九更部第九二六號
農林省 經濟更生部長 山林局長 通牒

今回農業倉庫業法ヲ改正シタルハ現下ノ農山漁村ノ狀況ニ鑑ミ農業倉庫ノ機能ヲ擴大スルノ要ヲ認メ山村主要生産物タル木炭ヲ本來ノ受寄物トシテ保管シ得ルコトトシ山村經濟ノ振興ニ資スルト共ニ聯合農業倉庫ニ於テハ再保管物ト並ヒテ販賣組合又ハ販賣組合聯合會ノ賣却スル主要物品ヲ保管スルコトヲ得又農會漁業組合等ノ取扱物品ヲ本來ノ保管業務ニ支障ナキ限リ保管シ得ルコトトシ農林水産物販賣統制ノ實ヲ舉ケシメントノ趣旨ニ有之カ施行及周知方ニ付テハ既ニ夫々御高配中ノコトト存候得共之カ趣旨達成ニ付テハ山村産業組合ノ普及發達ニ努メ木炭ヲ保管スル農業倉庫ハ其ノ經營ニ依ラシムルコトトスルト共ニ改正法ニ依ル聯合農業倉庫ノ運營ニ付テハ産業組合組織ニ依ル系統的販賣ヲ案ルカ如キコトナキ様特ニ左記事項ニ關シ御留意ノ上萬遺漏ナキ様指導相成度此段及通牒候也

追而木炭ノミノ保管ヲ目的トスル農業倉庫ノ建設ノ認可ニ際シテハ申迄モ無之儀ニ候得共事業ノ運行ヲ圓滑ナラシムル爲林務主任官ノ意見ヲ徵スル等關係官ヲシテ緊密

ナル連絡協調ヲ爲サシムル様御配意相成度爲念申添候也

記

- 一、木炭ヲ保管スル農業倉庫ハ一般ノ既存又ハ新設ノ産業組合ヲシテ之ヲ經營セシムルコト
- 二、産業組合新設ノ場合ニ在リテハ單ニ木炭生産關係者ノミヲ以テセス區域内ノ農業者其ノ他ノ生産者ヲ網羅シテ設立スルコトトシ且原則トシテ町村區域ノ四種兼營組合トスルコト但シ木炭ノ生産關係、搬出關係等ニ於テ特殊事情ノ存シ其ノ他特殊ノ事由ニ依リ町村區域ノ四種兼營組合ノ新設困難ナルトキハ之カ例外ヲ認ムルモ已ムヲ得ザルコト
- 三、木炭生産者個人トシテ直接ニ組合加入ノ困難ナル場合ニ於テハ居住部落ノ農事實行組合ニ依ル組合利用ノ方法ヲ採ラシムルコト
- 四、既ニ産業組合ノ經營スル木炭倉庫ニシテ第十一項ノ標準ニ適スルモノハ農業倉庫トシテノ認可ヲ受ケシムルコト
- 五、市町村、森林組合、同業組合等ノ經營スル木炭倉庫ハ可成之ヲ産業組合ノ經營ニ移管セシムルト共ニ建築標準ニ適スルモノハ農業倉庫トシテノ認可ヲ受ケシムルコト
- 六、組合單獨ニテ農業倉庫ヲ建設スルコト困難ナル場合ハ

農倉法 農業倉庫業法中改正ニ關スル件

- 搬出關係其ノ他ノ事情ヲ同シウスル數個ノ組合ヲ以テ共同シテ倉庫ヲ建設經營セシムルコト
- 七、木炭ヲ保管スル聯合農業倉庫ハ既存ノ道府縣ヲ區域トスル一般販賣組合聯合會ヲシテ之ヲ經營セシムルト共ニ單位組合ニ於ケル木炭ノ系統的販賣ハ右聯合會ニ依ラシムルコト
- 八、木炭ヲ保管スル農業倉庫及聯合農業倉庫ノ建設地ニ付テハ夫々ノ機能ニ從ヒ適當ナル個所ヲ選定セシメ其ノ系統組織ヲ案ルカ如キコトナキ様注意スルコト
- 九、木炭ニ付テハ穀物、藁等ト別途保管ノ方法ヲ講スルコト
- 十、木炭ノ規格不統一ナル地方ニ於テハ速ニ之カ規格統一ノ方法ヲ講スルコト
- 十一、木炭ヲ保管スル農業倉庫ノ建築ニ付テハ昭和五年農局第一六二一號通牒ニ依ラス左ノ標準ニ依ラシムルコト
 - (イ) 木造建築ニシテ土臺ヲ有スル構造トスルコト
 - (ロ) 屋根ハ亜鉛鍍鐵板、瓦、スレート葺ノ不燃質ノモノトスルコト
 - (ハ) 床ハ「コンクリート」叩キ又ハ三和土叩キトスルコト
 - (ニ) 外壁ハ板張又ハ亜鉛鍍鐵板張トスルコト

農倉法 農業倉庫業經營認可ニ關スル件

- (ホ) 窓ハ主トシテ採光ノ目的ノ爲設クルコト
- (ヘ) 軒高ハ山元倉庫ニ在リテハ十尺乃至十三尺集散地倉庫ニ在リテハ十三尺乃至十五尺ヲ標準トスルコト
- (ト) 建坪ハ設置個所及其ノ地方ノ生産數量ニ依リ差異アルヘキモ大體山元倉庫ハ十五坪以上其ノ他ノ集散地倉庫ハ三十坪以上トスルコト
- (チ) 一坪當建設費ハ山元倉庫ニ在リテハ二十圓乃至三十圓集散地倉庫ニ在リテハ三十圓乃至六十圓ヲ標準トスルコト
- 十二、木炭保管ノ爲既設農業倉庫ノ下屋等ヲ利用スルモ差支ヘナキコト
- 十三、穀物、藁、木炭勅令指定物品ヲ賣却スル販賣組合又ハ販賣組合聯合會ハ農業倉庫又ハ聯合農業倉庫ヲ經營セサル場合ニ於テモ法第十九條第二項ノ改正ニ依リ聯合農業倉庫ニ右物品ヲ寄託シ得ルコトトナリタルモ右ハ販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニ於テ倉庫ヲ必要トセストシタル義ニ非サルニ付今後ニ於テモ必要個所ニ付テハ倉庫ノ設置ニ努メシムルコト

一二 農業倉庫業經營認可ニ關スル件

大正十四年七月十四日農第三三三號依命通牒
農業倉庫業ノ經營ハ産業組合ヲシテ之ニ當ラシムルヲ本旨ト爲スヘク農會公益法人又ハ市町村若ハ之ニ準スヘキモノヲシテ之ヲ經營セシムルハ例外的ニ認メラレ得ヘキ處ナルハ大正十三年十月二十二日附農局第一二三五號通牒ニ於テモ指示ノ通ニ有之候處各地ノ狀況ヲ觀ルニ此等ノモノノ經營スル農業倉庫ハ事業不振ノモノ尠カラサル様被認一方産業組合ハ漸次各地ニ普及充實シツアルヲ以テ從來農會公益法人又ハ市町村若ハ之ニ準スヘキモノノ經營ニ係ル農業倉庫ニ付テハ今後機會アル毎ニ漸次産業組合ノ經營ニ引直サシメラレ度尙將來農會又ハ市町村若ハ之ニ準スヘキモノニ對シ新ニ農業倉庫業ノ經營ヲ認可セムトスル場合ニ於テハ認可ノ前豫メ左記事項ヲ具シ當局ニ協議相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 農業倉庫業ヲ經營セムトスル地域ニ於ケル産業組合ノ現狀(名稱及活動ノ狀況)
- 二 産業組合ノ農業倉庫業經營ヲ不可トスル理由
- 三 産業組合以外ノモノニ農業倉庫業經營ヲ認可セムトスル詳細ナル事由

一三 産業組合力共同シテ農業倉庫業經營ニ關スル件

大正七年六月七農局第四九八號

- 一 事情止ムヲ得サル場合ニ於テハ農業倉庫業者タル數個ノ産業組合力共同シテ倉庫ヲ使用スルハ差支ナキモ業務規程ニ各々其ノ旨ヲ規定シ置クヲ要ス而テ此ノ場合ニ於テハ經營主體ハ各産業組合ナルカ故ニ認可其ノ他ノ處分等ハ各別ニ之ヲ行ハサルヘカラス
- 一 産業組合力共同シテ使用人ヲ雇傭シ倉庫事務ヲ掌ラシムルハ差支ナキモ責任ハ凡テ經營主體力各々之ヲ負擔セサルヘカラス
- 一 倉庫ノ使用及倉庫事業ヨリ生スル損益ノ分配等ノ内部關係ハ共同セル産業組合ニ於テ適宜之ヲ定ムルハ差支ナシ

一四 農業倉庫建築ニ關スル件

昭和五年五月三十一日農局第一六二一號

農業倉庫ノ機能發揮上之カ建築ニ當リテハ構造上其他ノ點ニ付遺憾ナカラシムル様豫メ御配意中ノコトトハ被存候得共今後左記注意事項御參酌ノ上可然指導相成様致度此段及

農倉法 産業組合力共同シテ農業倉庫業經營ニ關スル件

庫建築ニ關スル件

通牒候也

追而農業倉庫建築ニ關スル技術上ノ事項ニ關シ質疑ノ廉モ有之候節ハ其ノ都度御申出相成様致度此段申添候

記

一 建築構造材料

鐵筋「コンクリート」造ハ最初ノ建築費稍嵩ムノ嫌アレトモ耐震耐火的ニシテ防風力完全且耐久力ニ富ミ之カ維持ニ當リテモ多額ノ修繕費ヲ要セサルコト等ノ長所アリ尙本構造ハ防風防濕上稍缺クルノ點アリト雖適當ナル施工方法ニ依リ容易ニ除キ得ヘク農業倉庫建築上最モ適當ニシテ推奨スヘキモノト認メラル

土藏ハ鼠族ニ對スル防禦力薄ク耐震上亦缺クル點アリト雖施工方法ニ依リテハ鐵筋「コンクリート」造ヨリモ安價ニ建築シ得ル利益アルヲ以テ經費其他ノ事情ニ依リ鐵筋「コンクリート」造ト爲ス能ハサルトキハ之ニ據ルモ可ナルヘシ

石造、煉瓦造ハ防鼠ニ對シ比較的其ノ效アレトモ耐震上不利ナルヲ以テ之ニ據ル場合ハ構造ニ付特別ノ注意ヲ要ス

木骨ヲ主體トシ之ニ石又ハ煉瓦ヲ貼付クル構造ハ耐震上

危険多ク耐久力弱キヲ以テ適當ナラス
木骨ニ鐵網ヲ張り「コンクリート」又ハ「モルタル」ノ類ヲ
以テ被覆スル構造ハ耐震價值稍多シトスルモ耐久力ニ乏
シク貯藏上亦宜シカラサルヲ以テ適當ナラス
木造板倉ハ火災ニ對シ危険多ク燻蒸ニ不適當ナリ

二 壁 體

イ 鐵筋「コンクリート」造ノ場合

鐵筋「コンクリート」造ハ其ノ構造上壁厚薄キカ故ニ
「コンクリート」壁其ノ儘ト爲ストキハ溫熱及濕氣ニ對
シ不十分ナルヲ免レサルヲ以テ施工上左ノ點ニ注意ヲ
要ス在來鐵筋「コンクリート」倉庫ハ此ノ點ニ注意ヲ怠
タルモノ多キハ遺憾トス

1 内壁ノ構造

「コンクリート」壁ノ内側ニ空洞煉瓦半枚積ト爲シ其
ノ表面ヲ白色漆喰仕上ト爲スカ或ハ空洞煉瓦ニ代フ
ルニ厚サ一時ノ「コルク」板ヲ貼付シ其ノ表面ニ金網
ヲ張り「モルタル」塗漆喰仕上ト爲スヘシ

2 外壁ノ仕上

「コンクリート」其ノ儘ニテハ雨水滲透スル虞アルヲ
以テ其ノ表面ハ人造石仕上又ハ厚サ五分以上ノ「セ
メントモルタル」塗ト爲スヘシ但シ人造石仕上ニ據

3 内 壁

漆喰仕上ト爲スヘク色合ハ白色ヲ良シトス

ハ 石造、煉瓦造ノ場合

- 1 煉瓦造ノ壁厚ハ一枚半以上ト爲スコト但シ軒高十
七尺ヲ超過スル場合ニ在リテハ二枚積ト爲スコト
- 2 石造ノ壁厚ハ一尺二寸以上ト爲スコト但シ軒高十
五尺ヲ超過スル場合ニ在リテハ其ノ軒高ノ一二・五
分ノ一以上ニ當ル厚サト爲スヘシ
- 3 石造、煉瓦造ノ場合ニ在リテハ積目地ヨリ屢々雨
水ノ滲透ヲ來タス虞アルヲ以テ外壁面ハ人造石又ハ

「セメントモルタル」ノ類ヲ以テ上塗ヲ爲スヘシ

ニ 荷 摺 木

倉庫ノ壁面ニハ壁ノ損傷ヲ防キ且積荷ノ際ニ於ケル通
風ヲ計ル爲荷摺木ヲ取設クヘシ荷摺木ハ三寸乃至三寸
五分丸太(杉材ヲ可トス)ノ二ツ割ヲ用ヒ間隔ハ普通一
尺トシ最大ノ場合ト雖一尺二寸(眞直ニテ)ヲ限度トス
尙其ノ取付ニ際シテハ可成面トノ空間ヲ置クヲ良シト
スルヲ以テ横ニ胴縁ヲ渡シ之ニ垂直ニ打付クルヲ可ト
ス

三 屋 根

屋根ハ最モ多ク太陽ノ直射ヲ受クル箇所ナルヲ以テ之カ

農倉法

農業倉庫建築ニ關スル件

ル場合ハ太陽輻射熱ノ影響ヲ少カラシムル爲メ白色
ヲ選フヘシ又「セメントモルタル」仕上ノ際ハ「モル
タル」中ニ防水劑ヲ混入スヘシ尙「マイル」張ヲ爲ス
コトニ付テハ施工宜シキヲ得サルトキハ雨水滲透ヲ
醸ス虞多キヲ以テ注意スルヲ要ス

ロ 土藏造ノ場合

1 外 壁

壁厚ハ三寸五分以上ヲ必要トス特ニ日光ノ直射ヲ受
クル西及南ニ面スル側ニシテ他ニ適當ナル日光遮斷
ノ裝置(參照)ヲ設ケサルトキハ其壁厚四寸五分以
上ヲ有セシムルヲ可トス土藏造ニ在リテハ腰部ノ壁
ハ往々鼠族ノ爲ニ喰破ラルル虞アルヲ以テ「コンク
リート」又ハ石、煉瓦等ノ硬キ材料ニテ地面上高一
尺五寸通り腰積ヲ爲スト同時ニ尙其ノ上部四尺通り
(地面上)ノ位置ニ鼠ノ登攀ヲ防ク鼠返蛇腹ヲ設ケ其
ノ下腰壁面ハ總テ「コンクリート」又ハ「セメントモ
ルタル」ノ如キ固キ材料ヲ以テ構成スヘシ

2 西及南側ニ於ケル日光遮斷ノ裝置トシテハ倉庫壁
面ヨリ二、三尺ヲ離レタル位置ニ鞘又ハ板塀ヲ設ク
ルヲ可トス但此ノ場合ニ於テハ通風不良ニ陥ラシメ
サル様上部及下部ヲ透シ置クヘシ

取扱ニ當リテハ熱ノ傳導ヲ防キ得ヘキ構造法ヲ採ラサル
ヘカラス現在各所ノ倉庫中此ノ點ニ注意ヲ缺クルモノ多
キハ遺憾トセサルヲ得ス而シテ屋根ノ構造ハ一重屋根ト
爲シ厚キ土居土ヲ以テ溫熱ノ防止ニ備フルノ方法アレト
モ此ノ方法ニ依リ相當ノ效果ヲ舉クル爲メニハ少クトモ
厚サ四、五寸ノ置土ヲ必要トシ荷重大トナルノ缺點アル
ヲ免レサルノミナラス此ノ方法ハ瓦葺ニ非サレハ之ヲ行
フコトヲ得サルヲ以テ一般ニハ二重屋根トシ中間吹抜ト
爲スノ構造ヲ最モ適當ナリトス

イ 鐵筋「コンクリート」造ノ場合

1 下屋根ハ鐵筋「コンクリート」ヲ以テ構成シ且勾配
屋根ト爲スヘシ但シ右ノ勾配ハ施行上一寸五分乃至
二寸ヲ適當トス

2 上屋根ハ五寸以上ノ勾配ヲ有スル置屋根式ニ取扱
ヒ深キ軒出ヲ有スル構造ト爲スヘシ小屋組ミハ鐵骨
又ハ木造ノ何レニテモ可ナリ

3 屋根ノ形狀ハ切妻ノ如キ簡單ナル構造ニ據ルヲ良
シトシ傍軒ニ於テ壁ヲ屋上ニ立上クルノ方法ハ雨
仕舞上宜シカラサルヲ以テ之ヲ避クヘシ

ロ 土藏造ノ場合

1 下屋根ハ三寸乃至四寸勾配ニ造リ其ノ上ニ厚サ三

寸以上ノ土居塗ト爲スカ或ハ厚サ一寸二分以上ノ「セメントモルタル」塗ト爲スヲ要ス但シ「セメントモルタル」塗ト爲ス場合ハ下地面ニ「アスファルト」フエルト」又ハ建築紙ノ類ヲ敷キ且上塗「モルタル」ノ層中ニ金網ヲ馬乘形ニ挿入セハ極メテ堅牢ニシテ之リ落チルコト無キヲ以テ後者ヲ推奨ス尙下屋根ニ於ケル小屋組ミハ和小屋ニ據ル場合ハ中柱ヲ除クニ困難ナルヲ以テ西洋小屋ニ據ルヲ有利トス

2 上屋根ハ五寸以上ノ勾配ヲ有スル置屋根式ニ取扱ヒ土居土ヲ省キ可成ク輕クスルコト

ハ 石造、煉瓦造ノ場合

此等ノ構造ニ於テ屋根ヲ木造ト爲ス場合ハ前項土藏造ノ場合ニ準スヘシ小屋組ミノ鐵骨造ナル場合ハ下屋根ノ構造ハ天井張ノ如ク取扱ヒ金網張「モルタル」塗ト爲スモ可ナレトモ此ノ場合ハ庫内ニ直接鐵骨ノ露出セサル様注意ヲ要ス鐵骨力庫内ニ現ハルルトキハ露ヲ結フノ缺點アリ

ニ 屋根葺材ニ就テノ注意

- 1 瓦葺ト爲ス場合ハ引掛棧瓦ノ類ヲ使用シ瓦ヲ野地ニ緊結スヘシ
- 2 石棉「スレート」葺ト爲ス場合ハ經費ノ許ス限り可

此ノ高サハ貨車「トラック」ノ床高ト略同一ナルヲ以テ荷役ニ便ナリ

上ケ床ノ場合ニ於ケル構造ハ土盛ヲ爲シ「コンクリート」床ト爲スカ又ハ場合ニ依リテハ床下吹抜ノ鐵筋「コンクリート」床ト爲スモ可ナリ

五 窓入口及換氣設備

イ 入口及窓

- 1 入口ノ大サハ過小ナルトキハ作業ニ不便ヲ來シ過大ナルトキハ防火上不利ナルヲ以テ之カ決定ニ當リテハ兩者ノ關係ヲ十分考慮セサルヘカラス普通ノ場合ニ於テモ適當ト認メラルル大サハ最小幅内法五尺、高サ内法七尺、最大幅内法七尺二寸、高サ内法七尺五寸ヲ限度トス
- 2 入口及窓ハ防火戸ノ外ニ裏白戸ノ如キ準防火戸ヲ備ヘ且内部ニ網戸ノ設備ヲ必要トス但シ窓ニ在リテハ網張ト爲スモ可ナリ防火戸ハ「ティンクラット」ドアー」(鐵板ヲ以テ完全ニ被覆セル木造戸)鐵製捲上戸、厚サ一寸五分以上ノ「コンクリート」戸厚サ五厘以上ノ鐵板戸厚サ五寸以上ノ土藏扉ノ何レニテモ可ナリ
- 3 入口ノ戸ヲ開戸ト爲ス場合ハ歪ヲ生セサル様吊元

成ク二分厚モノヲ使用シ其ノ葺方モ三枚重ト爲スヘシ

3 屋根ハ特別ノ防濕方法ヲ構セサル限り金屬板葺ト爲スヘカラス

四 床

上ケ床及土間床ノ二種アリ其ノ得失ハ一概ニ言フヲ得サレトモ鐵道引込線ニ據リ荷役ヲ行フ場合ハ上ケ床ヲ可トシ荷馬車、荷車等ニ據ル場合ハ普通土間床ヲ便利トスヘシ

イ 土間床

- 1 土間床ハ「コンクリート」床ト爲シ周圍地盤ヨリ一尺以上高クスルコトヲ要ス土地ノ狀況其他ノ事情ニ依リ周圍地盤ヨリ高カラシムルコト困難ナルトキハ十分ナル排水設備ヲ構シ置クヘシ
 - 2 「コンクリート」ノ厚サハ四寸以上ト爲シ其ノ下地ハ割栗石又ハ玉砂利ノ類ヲ以テ堅固ニ搗キ固ムルヲ要ス
 - 3 潤濕地ノ場合ニ在リテハ「コンクリート」層中ニ「アスファルトモルタル」塗ヲ施スヘシ
- ロ 上ケ床
- 上ケ床ト爲ス場合ハ其ノ高サ三尺五寸ヲ最モ適當トス

ノ構造ニ注意ヲ要ス又曳戸ト爲ス場合ハ開閉操作ヲ容易ナラシムル爲メ吊戸ト爲スヘシ

4 入口ノ網戸ハ通風換氣上腰附ナラサルヲ良シトス但シ網目ハ三分目以下ナルコトヲ要ス

5 入口ニハ鼠返ヲ設クルコト

6 窓ハ通風上可成相對スル壁ニ設ケ其ノ位置ハ可及的高所ヲ選フヘシ殊ニ妻壁ノ高所ニ窓ヲ設クルハ通風換氣上最モ有效ナリ

7 窓入口ニハ日光ノ直射ヲ遮リ雨ノ吹込ヲ防クニ足ルヘキ廂ヲ設クヘシ

ロ 換氣設備

- 1 温度高キ空氣及不良ナル空氣ハ常ニ上層ニ停滯スルヲ以テ天井面ノ高キ位置ニ於テ各所ニ排氣孔ヲ設ケ更ニ腰壁ノ低キ位置ニ通氣孔ヲ備ヘ換氣ヲ計ルヘシ
- 2 排氣孔及通氣孔ハ徑七、八寸大ノ圓形ニシテ金網及密閉蓋ヲ備フヘシ尙密閉蓋ノ開閉ハ腰壁通氣孔ハ庫外ヨリ天井排氣孔ハ屋根裏ヨリ行フヲ便利トス殊ニ腰壁通氣孔ノ蓋ヲ庫外ニ設クルハ瓦斯燻蒸ニ際シ其ノ抜口トシテ用フルニ最モ便利ナリ

六 瓦斯燻蒸ニ對スル用意

農倉法 農業倉庫保管物及倉庫建物ノ火災保險ニ關スル件

倉庫ハ瓦斯燻蒸ニ際シ容易ニ密閉シ得ル構造ト爲スヘシ
庫内ニ於ケル鐵骨金物ハ直接燻蒸瓦斯ニ觸レサル様耐酸「ペイント」ヲ以テ被覆スルヲ可トス

七 耐震的構造

- イ 土藏造ノ場合
 - 1 土臺ハ植込「ポールド」ヲ以テ基礎又ハ腰積ニ緊結スルコト
 - 2 柱間出來得ル限リ筋違ヲ設クルコト
 - 3 小屋組ト柱トノ取合部ニハ方杖ヲ設ケ堅牢ニ鐵物ニテ締付クルコト
 - 4 小屋組ノ隅角ニハ燻材ヲ設クルコト
 - 5 各材ノ繼手及組合部ニシテ主要ナル箇所ハ鐵物又ハ「ポールド」ノ類ヲ以テ補強スルコト
- ロ 石造、煉瓦造ノ場合
 - 1 石造又ハ煉瓦造ニ在リテハ其ノ壁長五間ヲ超過セサル範圍内ニ於テ間仕切壁ヲ設ケ尙別ニ二間半以内ノ間隔ニ控柱ヲ設クヘシ
 - 2 石材ノ各繼手ハ太柄ノ類ヲ以テ補強スルコト
 - 3 石造又ハ煉瓦造ニ在リテハ其ノ壁頂ニ鐵又ハ鐵筋「コンクリート」ノ臥梁ヲ設クヘシ

一五 農業倉庫保管物及倉庫建物ノ火災保險ニ關スル件

大正十四年七月十四日農第九七二六號

農業倉庫保管物及倉庫建物ノ火災保險ノ件ニ關シ別紙ノ通り北海道廳長官宛通牒致置候貴管下農業倉庫業者ニシテ未タ火災保險ニ附セサルモノ有之候ハハ可成完全ナル保險ニ附セシムル様指導相成度此段及通牒候也

大正十四年七月十一日 農林省農務局長通牒北海道廳長官宛

六月十七日附内農第二九三五號ヲ以テ貴管下岩見澤町大火災ニ依リ同町所在有限責任岩見澤川向信用購買販賣利用組合農業倉庫及岩見澤町農會農業倉庫類焼ノ件報告相成候處右農業倉庫ニ於テハ倉庫受寄物ニ對シ寄託者カ金融業者ニ擔保ニ入レタル一部ノ物品ノ外保管物及倉庫建物ヲ火災保險ニ附セサリシ爲寄託者ニ多大ノ損害ヲ及シタルノミナラス農業倉庫業者自體モ大打撃ヲ蒙リタルモノト被認候モ如此ハ農業倉庫業者經營ノ健全ナル發達ヲ期スル上ヨリ觀ルモ甚タ遺憾ノ儀ト被存候ニ付テハ將來カカル事無キ様農業倉庫業者ヲシテ保管物及建物共ニ完全ナル火災保險ニ附スル様指導相成度此段及通牒候也

一六 市區町村ノ農業倉庫業ニ關スル件

大正六年十月四日內務省發地二〇三號 內務省地方局長 依命通牒

農業倉庫業法ニ依ル市區町村ノ農業倉庫業ニ關シ左記ノ通取扱相成度

- 一 市區町村カ農業倉庫業者タラムトシ之カ認可ヲ請フトキハ該事業及其ノ財政計畫業務執行方法ノ當否ハ勿論該市區町村吏員ノ能否納稅ノ成績基本財産ノ管理其ノ他財務ノ狀況竝ニ一般事業ノ成績篤ト審査ヲ遂ケ佳良ナル實績ヲ擧ケ得ルモノト確認シ得ル場合ニ限リ之ヲ認可スル方針ヲ以テ處理セラレ度特ニ町村カ農業倉庫業經營ノ爲ニ基本財産積立金額ヲ繰入レ使用スル場合ニ在リテハ前段認可ヲ爲スニ付深甚ナル注意ヲ加ヘラレ度
- 二 農業倉庫ノ保管料ニ關シテハ農業倉庫業法施行規則第二條ニ依リ業務規程ニ之ヲ記載スルモ市區町村ノ農業倉庫保管料ニ付テハ市區町村ノ營造物ノ使用料ニ關スル法令ノ適用アル儀ニ付該保管料新設ノ許可ヲ內務、大藏兩省ニ稟請スル場合ニハ農業倉庫業法施行規則第一條第二號乃至第九號ノ事項ヲ記載シタル書面ニ業務規程及市區

農庫法 市區町村ノ農業倉庫業ニ關スル件 外一

町村ノ歲入出豫算ヲ添附セシメ第一項ニ依リ審査セラレタル事項ノ調書ヲ添へ御進達相成度

一七 農業倉庫業ヲ經營セムトスル公益法人ノ設立許可及公益法人ニ對スル農業倉庫業認可ニ關スル件

大正九年六月八日農第八〇六九號通牒

農業倉庫業ハ産業 組合ヲシテ經營セシムルヲ最モ適當トスルハ言フ俟タサルトコロニシテ農業倉庫業法カ産業組合以外ノ經營主體ヲ認メタルハ經過時代ニ處スルノ趣旨ニ過キス而シテ實地ノ成績ニ徵スルニ産業組合以外ノ經營主體就中公益法人ニ在リテハ其ノ事業ノ經營カ農業倉庫業法ノ精神ニ副ハサルモノ尠カラズ仍テ今後ハ其ノ地方ニ農業倉庫ノ設立ヲ必要トスル事情アルモ産業組合ノ組織ニ依リ難ク且近キ將來ニ於テ公益法人以外ノ組織ニ依リ農業倉庫ヲ經營セムトスル適當ノモノナキ場合又ハ農業倉庫業法施行前地方廳ニ於テ特ニ設立ヲ獎勵シタル米券倉庫等ヲ農業倉庫ト爲サムトスルモ産業組合ノ組織ニ依リ難キ場合ニ於テ眞ニ農業倉庫獎勵ノ趣旨ニ則リテ事業ヲ經營スル見込アル

農庫法

町村農會ニ於テ農業倉庫ヲ經營スル場合ニ於テ特ニ注意
ヲ要ス事項ニ關スル件 外三

場合ニ限り公益法人ノ設立許可又ハ經營認可ヲ與フル方針
ナルニ依リ此ノ趣旨ニ基キ取扱フコト尙定款中特ニ資産ニ
關スル規定ニ於テ公益法人ノ本旨ニ反スル嫌アル事項ナキ
様注意スルコト

一八 町村農會ニ於テ農業倉庫ヲ

經營スル場合ニ於テ特ニ注
意ヲ要スル事項ニ關スル件

大正八年一月八日農局第三五號

- 一 農業倉庫ヲ經營スル町村農會ハ相當ノ事業ヲ爲シ成績
良好ニシテ且役職員ニ適當ナル人物アルモノナルコト
- 一 倉庫建設ノ費用ハ可成町村農會基本金ヲ以テ之ニ充テ
若シ他ヨリ借入ヲ爲ス場合ニ於テハ返戻規定ヲ設ケ一定
期間内ニ確實ニ返戻シ得ル様注意スルコト
- 一 假令ハ倉庫ノ剩餘金カ毎年返戻額ニ達セサル場合ニ於テ
ハ一般會計ヨリ之ヲ補充スルカ如シ
- 一 農會ハ強制加入團體ニシテ且損失填補ニ關スル規定ヲ
缺クテ以テ業務規程中ニ必ス責任ニ關スル規程ヲ設ケ且
倉庫ノ建物及入庫品ハ必ス保險ニ附スル様注意スルコト
- 一 農業倉庫業ノ經營ヨリ生スル剩餘金ハ之ヲ一般會計ニ
繰入ルルカ或ハ特別會計トシテ處理スルカハ農會ノ實狀

ニ鑑ミ便宜決定スヘキモノトス

四八

一九 農業倉庫業法中ニ於ケル穀
物ノ意義ニ關スル件

大正九年三月八日農局第一二四八號
農業倉庫業法ニ於テ穀物トハ禾穀類荳菽類及蕎麥ヲ謂フ

二〇 農業倉庫業者ハ精米ヲ爲ス
ヲ得ルヤ否ヤニ關スル件

大正八年十月八日農局第八二七號
農業倉庫業法第二條第一號ノ調製ニハ精米精麥等ノ作業ヲ
モ含ムモノト解シテ差支ナシ

二一 農業倉庫運送取扱ニ關スル
件

大正十三年五月十三日農局臨第一九二號
農業倉庫業者運送取扱ニ對シ倉庫ノ記號ニ依リ貨物ノ受渡
ヲナスコト及判取帳ニ依ル荷受ノ便宜ヲ與ヘラレタキ旨山
形縣知事ヨリ照會有之鐵道當局ト協議中ノ處今般別紙ノ通
リ鐵道省運輸局長ヨリ回答有之候條貴管下農業倉庫業者ニ

對シ其ノ旨周知セシメラル様取計相成度此段及通牒候
也

大正十三年四月十一日鐵運乙第八四一號
農商務省農務局長宛鐵道省運輸局長

本月六日附農局臨第一九二號ヲ以テ農業倉庫業者ニ對シ記
號ノ使用及判取帳ニ依ル貨物引渡承認方御申越相成候處
記號ノ使用ハ其ノ増加ニ伴フ弊害少カラサルモノ可有之ニ
付御來意ニ應シ難キモ判取帳ニ依ル引渡ハ御申越ノ如キ荷
受人ニシテ相當ノ到着數量アルモノニ對シテハ鐵道局長ニ
於テ必要ト認ムル場合ハ承認シ得ルコト相成居候ニ付農
業倉庫業者ヲシテ直接關係鐵道局ニ申出シムル様御取計相
成度

農倉法

農業倉庫運送取扱ニ關スル件

四九

【第三類】

產業組合中央金庫法關係

一 産業組合中央金庫法

大正十二年四月六日法律第四十二號
改正昭和六年五月二十三日法律第六十三號
昭和七年九月七日法律第三十一號
昭和十三年三月十八日法律第十四號
昭和十五年三月二十九日法律第五十九號

第一章 總 則

第一條 産業組合中央金庫ハ法人トシ其ノ主タル事務所ヲ
東京市ニ置ク

産業組合中央金庫ノ組織ハ有限責任トス

第二條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ從タル
事務所ヲ設置スルコトヲ得

主務大臣ニ於テ從タル事務所ヲ必要ナリトスルトキハ産
業組合中央金庫ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトヲ得

産業組合聯合會及漁業組合聯合會ハ産業組合中央金庫ノ
業務ヲ代理スルコトヲ得

第三條 産業組合中央金庫ノ存立期間ハ設立許可ノ日ヨリ
五十箇年トス但シ政府ノ認可ヲ經テ存立期間ヲ延長スル
コトヲ得

第四條 産業組合中央金庫ノ資本金ハ三千萬圓トシ之ヲ三
十萬口ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス

中金法 産業組合中央金庫法

産業組合中央金庫ハ資本金全額ノ拂込前ト雖出資者總會
ノ決議ニ依リ政府ノ認可ヲ經テ資本金ヲ増加スルコトヲ
得

第四條ノ二 産業組合中央金庫ノ資本金ヲ五百萬圓増加シ
之ヲ五萬口ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス

第五條 政府、産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合
會又ハ漁業協同組合ノ外産業組合中央金庫ノ出資者タル
コトヲ得ス

産業組合聯合會又ハ漁業組合聯合會ノ有スベキ出資口數
ハ千口ヲ、産業組合又ハ漁業協同組合ノ有スベキ出資口
數ハ五百口ヲ超ユルコトヲ得ス

第六條 政府ハ千五百萬圓ヲ限リ産業組合中央金庫ニ出資
スヘシ政府ハ其ノ出資額ニ對シ設立當初ニ於テ五百萬圓
ヲ拂込ミ爾後毎年五百萬圓宛拂込ムモノトス政府以外ノ
出資者ハ其ノ出資ニ對シ設立當初ニ於テ出資額ノ五分ノ
一ヲ拂込ミ爾後十箇年間ニ其ノ殘餘ヲ拂込ムモノトス
政府ノ産業組合中央金庫ニ對シテ所有スヘキ持分ニ關シ
必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條ノ二 政府ハ第四條ノ二ノ規定ニ依ル資本金ノ増加
ノ爲二百五十萬圓ヲ限リ産業組合中央金庫ニ出資スベシ
政府ハ其ノ出資ニ對シ出資スベキコトト爲リタル當初ニ

於テ五十萬圓ヲ拂込ミ爾後四箇年間ニ其ノ殘餘ヲ拂込ムモノトス

第四條ノ二ノ規定ニ依ル増加資本金ニ付テハ政府以外ノ出資者ハ其ノ出資ニ對シ出資スベキコトト爲リタル當初ニ於テ出資額ノ五分ノ一ヲ拂込ミ爾後十箇年間ニ其ノ殘餘ヲ拂込ムモノトス

第七條 産業組合法中産業組合ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ規定アルモノ及産業組合法第十條ノ五乃至第十條ノ八ノ規定ヲ除ク外産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用ス

第八條 産業組合中央金庫ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

登錄稅法及印紙稅法中産業組合聯合會ニ關スル規定ハ産業組合中央金庫ニ付之ヲ準用ス

第二章 役員

第九條 産業組合中央金庫ニ理事長、副理事長各一人理事、監事各三人以上ヲ置ク

第十條 理事長ハ産業組合中央金庫ヲ代表シテ其ノ事務ヲ總理ス

副理事長ハ理事長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補助シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ

ノトス

三 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

四 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト

五 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會、漁業組合、公共團體其ノ他營利ヲ目的トセサル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコト

六 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ノ爲ニ有價證券ノ保護預リヲ爲スコト

七 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ノ爲ニ有價證券ノ委託賣買ヲ爲スコト

第十四條 産業組合中央金庫ハ必要アリト認メタル場合ニ於テハ擔保ヲ徵シテ前條第一號乃至第三號ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第十四條ノ二 第十三條第二號但書ノ規定及前條ニ規定スル第十三條第二號但書ノ規定ハ産業組合中央金庫ガ政府資金ノ融通ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セズ

産業組合中央金庫ノ業務ヲ掌理ス

監事ハ産業組合中央金庫ノ業務ヲ監査ス

第十一條 理事長、副理事長、理事及監事ハ主務大臣之ヲ任命ス

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ五箇年監事ノ任期ハ三箇年トス但シ其ノ任期滿限ノ後再任ヲ命スルコトヲ得

第十二條 産業組合中央金庫ニ評議員三十名以内ヲ置キ主務大臣之ヲ任命ス但シ其ノ半數以上ハ産業組合關係者及漁業組合關係者中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ要ス

評議員ハ名譽職トシ定款ノ定ムル所ニ依リ業務經營ニ關スル重要ナル事項ニ就キ理事長ノ諮問ニ應スルモノトス評議員ノ任期ハ三箇年トス

第三章 業務

第十三條 産業組合中央金庫ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ニ對シ擔保ヲ徵セスシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト

二 所屬産業組合聯合會、所屬産業組合、所屬漁業組合聯合會又ハ所屬漁業協同組合ニ對シ擔保ヲ徵セスシテ三箇年以内ノ年賦償還貸付ヲ爲スコト但シ其ノ金額ハ拂込出資金及産業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超エサルモ

前項ノ融通金額及之ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ第額ハ第十三條第二號但書及前條ニ規定スル第十三條第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第十五條 産業組合中央金庫ハ左ノ方法ニ依ル外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債證券、地方債證券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入、應募又ハ引受ヲ爲スコト

二 大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

三 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業組合ニ對シ短期貸付ヲ爲スコト

四 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業組合ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲スコト

前項ノ餘裕金運用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四章 産業債券

産業組合中央金庫ハ拂込金額ノ十倍ヲ限リ産業債券ヲ發行スルコトヲ得但シ貸付金現在高割引手形現在

高及其ノ所有ニ係ル有價證券現在高ヲ超過スルコトヲ得

産業債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定

第十八條 産業債券ハ券面金額五拾圓以上トシ無記名利札

第十九條 産業組合中央金庫ハ産業債券借換ノ爲一時第十

第二十條 産業組合中央金庫ニ於テ産業債券ヲ發行セムト

第二十一條 産業債券ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十五箇

第二十二條 産業債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取

第五章 計算 第二十三條 削除

産業組合中央金庫監理官ハ監視上必要ナリト認ムルトキ

第三十三條 産業組合中央金庫ハ毎事業年度ニ於ケル出資

第三十四條 左ノ場合ニ於テハ産業組合中央金庫ノ理事

第七章 罰則 第三十四條 左ノ場合ニ於テハ産業組合中央金庫ノ理事

第二十四條 産業組合中央金庫ハ毎事業年度ニ於テ準備金

第六章 監督及補助

第二十五條 主務大臣ハ産業組合中央金庫ノ業務ヲ監督ス

第二十六條 産業組合中央金庫ハ其ノ定款ヲ變更セムトス

第二十七條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受クル

第二十八條 産業組合中央金庫ハ主務大臣ノ命令ニ從ヒ其

第二十九條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ産業組合

第三十條 産業組合中央金庫ノ貸付金利率ノ最高歩合ハ事

第三十一條 主務大臣ハ特ニ産業組合中央金庫監理官ヲ置

第三十二條 産業組合中央金庫監理官ハ何時ニテモ産業組

ニ處ス

一 本法ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ其ノ認

二 主務大臣ノ命令ニ反シタルトキ

三 第十五條ノ規定ニ反シ業務上ノ餘裕金ヲ使用シタル

四 第十六條ノ規定ニ反シ本法ニ規定セサル業務ヲ營ミ

五 第十七條第一項及第十九條第二項ノ規定ニ反シタル

第三十五條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ

第三十六條 主務大臣ハ設立委員ヲ置キ産業組合中央金庫

第三十七條 設立委員ハ定款ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受ケ

第三十八條 設立委員ハ出資者ノ募集ヲ終リタルトキハ出

可ヲ稟請スヘシ 前項ノ許可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資第

一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第三十九條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事

務ヲ産業組合中央金庫理事長ニ引渡スヘシ

第四十條 産業組合中央金庫設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和七年九月法律第三十一號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第二十三條ノ改正規定ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和七年勅令第二百七十七號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和十三年法律第十四號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和十三年三月勅令第七十四號ヲ以テ第十四條ノ

二、第十五條第一項第一號、第二十三條、第三十條及第三十條ノ改正規定ハ同年四月一日ヨリ施行)

(昭和十三年六月勅令第四百六十二號ヲ以テ第二條、第四條ノ二、第五條、第六條ノ二、第十二條第十三條並ニ第十五條第一項第三號及第四號ノ改正同年七月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和十五年法律第五十九號)

本法ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

ノ認可ヲ受クヘシ

加入金及増口金ハ準備金ニ組入ルヘシ

第三條 産業組合中央金庫ニ於テ總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第四條 産業組合中央金庫ハ每事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一所属産業組合聯合會、一所属産業組合、一所属漁業組合聯合會又ハ一所属漁業協同組合ニ對シテ爲ス産業組合中央金庫法第十三條及第十四條ノ規定ニ依ル貸付又ハ手形ノ割引ニ付其ノ金額ノ最高限度ヲ議決スヘシ
前項ノ規定ハ産業組合中央金庫法第十五條ノ規定ニ依ル貸付ニ付之ヲ準用ス
前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第五條 剩餘金ノ配當ハ拂込済出資額又ハ所属産業組合聯合會、所属産業組合、所属漁業組合聯合會及所属漁業協同組合ニ對シ取扱ヒタル事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス
拂込済出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ準備金ノ額カ出資總額ノ四分ノ一ニ達シタルトキハ年八分迄之ヲ増加スルコトヲ得

二 産業組合中央金庫法施行規則

大正十二年七月五日農商務省令第十六號
改正昭和七年九月三十日農林省令第三十六號
昭和十三年六月三十日農林省令第三號

第一條 産業組合中央金庫ニ對シテ政府ノ有スル持分ハ政府ノ出資ニ付左ノ各號ニ依リ算定シタル金額ヲ合計シタルモノトス

一 出資額ニ相當スル額

二 資本金額ヲ超ユル純財産額ニ相當スル金額ヲ定款ノ定ムル所ニ依リ拂込済出資額及其ノ拂込後ノ期間ニ應ジ按分計算シタル額但シ此ノ計算ニ於テハ産業組合中央金庫法第六條及第六條ノ二ノ規定ニ依ル政府出資ノ拂込ハ各當該規定ニ於ケル政府以外ノ出資ノ拂込ト同一ノ方法ニ依リ爲サレタルモノト看做シ且ツ大正十三年ニ於ケル資本金増加ニ因ル出資ハ其ノ拂込ニ付テハ産業組合中央金庫設立當初ノ出資ト看做スモノトス
産業組合中央金庫ノ純財産額ガ資本金額ニ足ラザルニ至リタルトキハ同金庫ニ對シテ政府ノ有スル持分ハ出資總額ニ對スル政府ノ出資額ノ割合ニ依ルモノトス

第二條 資本金増加ノ場合ニ於テ加入金及増口金ヲ徵收セムトスルトキハ産業組合中央金庫ハ農林大臣及大藏大臣

第六條 産業組合中央金庫ノ理事長、副理事長、理事及監事ノ報酬又ハ賞與ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

前項役員ノ報酬ノ額ハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 財産目錄、貸借對照表及事業報告書ニ付總會又ハ總代會ノ承認アリタルトキハ産業組合中央金庫ハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ提出シ且定款ノ定ムル方法ニ從ヒ貸借對照表ヲ公告スヘシ

第八條 産業組合中央金庫ニ於テ事業施行ニ關スル規定ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和七年農林省令第二十六號)

本令ハ昭和七年法律第三十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和七年九月勅令第二百七十七號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和十三年農林省令第三號)

本令ハ昭和十三年法律第十四號中第四條ノ二、第五條、第六條ノ二、第十三條及第十五條第一項第三號ノ改正規定施

行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十三年六月二十九日勅令第四百六十二號ヲ以テ昭和十三年七月一日ヨリ施行)

三 産業債券令

大正十二年七月二十六日勅令第三百五十八號

- 第一條 産業組合中央金庫ノ産業債券ノ發行ハ募集又ハ賣出ノ方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 産業組合中央金庫ハ前ニ募集シタル産業債券ノ總額ノ拂込前ト雖更ニ産業債券ヲ發行スルコトヲ得
- 第三條 産業債券ノ募集ニ應セムトスル者ハ産業債券申込證ニ通ニ其ノ引受クヘキ産業債券ノ數及住所ヲ記載シ之ニ署名又ハ記名捺印スヘシ
- 産業債券申込證ハ理事長之ヲ作り左ニ掲クル事項ヲ之ニ記載スヘシ
 - 一 名稱
 - 二 産業債券ノ總額
 - 三 各産業債券ノ金額
 - 四 産業債券ノ利率
 - 五 産業債券償還ノ方法及期限

- 六 數額ニ分チテ産業債券ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ其ノ拂込ノ金額及時期
- 七 産業債券發行ノ價額又ハ其ノ最低價額
- 八 産業組合中央金庫ノ資本金及拂込ミタル出資ノ總額
- 九 最終ノ貸借對照表ニ産業組合中央金庫ニ現存スル財産ノ額
- 十 前ニ産業債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘサル總額
- 産業債券發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者ハ産業債券申込證ニ應募價額ヲ記載スヘシ
- 第四條 前條ノ規定ハ契約ニ依リ産業債券ノ總額ヲ引受クル場合ニハ之ヲ適用セス産業債券募集ノ委託ヲ受ケタル者カ自ラ産業債券ノ一部ヲ引受クル場合ニ於テ其ノ一部ニ付亦同シ
- 第五條 産業債券ノ應募總額カ産業債券申込證ニ記載シタル産業債券ノ總額ニ達セサルトキト雖産業債券ノ發行ヲ成立セシムル旨ヲ産業債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ産業債券ノ總額トス
- 第六條 産業債券ノ募集カ完了シタルトキハ理事長ハ遲滯ナク各産業債券ニ付其ノ全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

- 第七條 産業債券募集ノ委託ヲ受ケタル者ハ自己ノ名ヲ以テ産業組合中央金庫ノ爲ニ第三條第二項及前條ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得
- 第八條 産業債券ノ賣出ヲ爲サムトスルトキハ理事長ハ左ニ掲クル事項ヲ公告スヘシ
 - 一 賣出期間
 - 二 産業債券發行ノ價額
 - 三 第三條第二項第一號乃至第五號及第八號乃至第十號ニ掲クル事項
 - 四 第九條ニ規定スル事項
- 第九條 賣出期間内ニ賣上ケタル産業債券ノ總額カ前條ノ規定ニ依リ公告シタル産業債券ノ總額ニ達セサルトキハ其ノ賣上總額ヲ以テ産業債券ノ總額トス
- 第十條 第六條ノ拂込アリタルトキ又ハ賣出期間滿了シタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ登記スヘキモノトス
 - 一 第三條第二項第二號乃至第五號ニ掲クル事項
 - 二 各産業債券ニ付拂込ミタル金額
- 前項ニ掲クル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スヘキモノトス
- 第十一條 第六條ノ拂込アリタルトキ又ハ賣出期間滿了シタルトキハ理事長ハ二週間内ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シ

- 前條第一項ニ掲クル事項ヲ農商務大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ
 - 一 最終ノ貸借對照表
 - 二 産業債券ノ引受ヲ證スル書面又ハ賣出期間内ニ於ケル賣上總額ヲ證スル書面
 - 三 産業債券申込證
 - 四 各産業債券ニ付第六條ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面
- 前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ農商務大臣及大藏大臣ハ各事務所所在地ノ登記所ニ登記ヲ囑託スヘシ
- 前項ノ規定ニ依リ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ囑託書ニハ第一項ノ届書及添附書類ヲ添附スヘシ
- 第十二條 第十條第一項ニ掲クル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ理事長ハ二週間内ニ其ノ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ事項ヲ農商務大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ
- 前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十三條 産業債券ハ全額ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス
- 第十四條 産業債券ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ理事長之ニ署名又ハ記名捺印スヘシ

- 一 産業債券ノ番號
- 二 第三條第二項第一號乃至第五號ニ掲クル事項
賣出ノ方法ニ依リ發行スル産業債券ニハ第三條第二項第一號ニ掲クル事項ヲ記載スルコトヲ要セス
- 第十五條 理事長ハ主タル事務所ニ産業債券原簿ヲ備ヘ置クヘシ

産業組合中央金庫ノ出資者及債權者ハ業務取扱時間内何時ニテモ産業債券原簿ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 産業債券原簿ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 産業債券ノ數及番號
- 二 産業債券發行ノ年月日

三 第三條第二項第二號乃至第六號ニ掲クル事項

四 各産業債券ニ付拂込ミタル金額及拂込ノ年月日

産業債券ヲ記名ト爲シタルトキハ前項ニ掲クル事項ノ外債權者ノ氏名住所及取得ノ年月日ヲ産業債券原簿ニ記載スヘシ

第十七條 産業債券債權者ニ償還スヘキ金額カ券面額ニ超

ニヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ金額ハ各産業債券ニ付同一ニ定メ且券面ニ之ヲ記載スヘシ

第十八條 産業債券應募者ニ對スル通知又ハ催告ハ産業債券申込證ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者カ別ニ其

ノ住所ヲ産業組合中央金庫ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル
前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

昭和七年九月七日法律第三十二號
改正昭和十年三月二十八日法律第十七號
昭和十三年四月一日法律第六十六號
昭和十六年三月二十七日法律第七十七號

第一條 産業組合中央金庫ハ所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ニ對シ其ノ固定セル債權ヲ資金化シテ金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第二條 産業組合中央金庫ガ前條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スハ本法施行ノ日ヨリ十二年トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十一年ヲ超ユルコトヲ得ズ

テ之ヲ定ム

第六條 第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リテ産業組合中央金庫ノ受ケタル損失及其ノ額ハ農林金融改善特別融通損失審査會之ヲ決定ス

農林金融改善特別融通損失審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 第五條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ産業組合中央金庫ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ得

第八條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第九條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第十條 本法中主務大臣トアルハ農林大臣及大藏大臣トス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(昭和七年九月勅令第二百七十八號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

附 則

(昭和十六年法律第七十七號)
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前産業組合中央金庫特別融通損失審査會ノ決定シ

第三條 産業組合中央金庫法第十四條ニ規定スル第十三條

第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノ並ニ同法第十四條ニ規定スル第十三條第二號但書ノ規定ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ニハ之ヲ適用セス

産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通以外ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ノ額及之ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ産業組合中央金庫法第十三條第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セス

第四條 産業組合中央金庫ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ産業組合中央金庫法第十七條第一項ノ制限ニ拘ラズ産業債券ヲ發行スルコトヲ得

産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通以外ノ融通ヲ爲ス爲産業債券ヲ發行スル場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ産業組合中央金庫法第十七條第一項ノ制限ノ計算上之ヲ算入セス

第五條 政府ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リテ産業組合中央金庫ガ損失ヲ受ケタルトキハ之ニ對シ三千萬圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シ

タル産業組合中央金庫ノ受ケタル損失及其ノ額ハ農林金融改善特別融通損失審査會ノ決定シタルモノト看做ス

五 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則

昭和七年十月一日農林省令第二十七號
改正昭和十年五月二十八日農林省令第十二號
昭和十一年五月一日農林省令第四號
昭和十三年四月一日農林省令第九號
昭和十六年三月二十七日農林大藏省令第一號

第一條 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法第一條ノ規定ニ依ル特別融通ニ依リテ資金化セラレベキ債權ハ昭和十五年十二月三十一日以前ニ發生シタルモノニ限ル
第二條 産業組合中央金庫ハ緊急融通ノ必要アル場合ニ於テハ擔保設定ニ伴フ登記其ノ他ノ對抗要件完備前ト雖所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ノ役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル連帶保證書ヲ徵シテ特別融通ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ速ニ登記其ノ他ノ對抗要件ヲ完備スベク其ノ完備後産業組合中央金庫ハ特別ノ事由ナキ限り當該ノ信用組合聯合會又ハ信用組合ノ役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル連帶保證ヲ免除スベシ

第三條 産業組合中央金庫ハ特別融通ノ資金ニ充ツル爲大藏省預金部ニ對シ産業債券ノ引受ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ産業債券ノ引受利率ハ年四分トス但シ昭和十年五月三十一日以前ニ爲シタル特別融通ノ資金ニ充ツル爲ノ産業債券ノ利率ハ昭和十年六月三十日迄年五分三厘、同年七月一日以後昭和十一年六月三十日迄年五分三厘、同年七月一日以後年四分三厘トシ昭和十年六月一日以後昭和十一年四月三十日以前ニ爲シタル特別融通ノ資金ニ充ツル爲ノ産業債券ノ利率ハ昭和十一年六月三十日迄年四分六厘、同年七月一日以後年四分三厘トス

第四條 産業組合中央金庫ガ特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル利率ハ年四分六厘トス但シ昭和十年五月三十一日以前ニ爲シタル特別融通ノ利率ハ昭和十年六月三十日迄年五分九厘、同年七月一日以後昭和十一年六月三十日迄年五分六厘、同年七月一日以後年四分九厘トシ昭和十年六月一日以後昭和十一年四月三十日以前ニ爲シタル特別融通ノ利率ハ昭和十一年六月三十日迄年五分二厘、同年七月一日以後年四分九厘トス
産業組合中央金庫ハ所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ガ特別融通ノ債務ノ辨濟ヲ怠リタル場合ニ於テハ百圓ニ付日歩參錢ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトヲ得

六 産業組合中央金庫法第二十五條及第二十八條ニ依ル命令

昭和十三年七月一日一三更第五九八二號
農林大臣大藏大臣命令産業組合中央金庫宛
第一條 産業組合中央金庫ノ從タル事務所設置ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ
一 理由書
二 取扱フ業務ノ範圍ヲ記載シタル書面
三 從タル事務所ヲ設置セムトスル地方ニ於ケル産業組合、産業組合聯合會、漁業協同組合及漁業組合聯合會ト産業組合中央金庫トノ取引狀況ヲ記載シタル書面
從タル事務所ノ業務ノ範圍ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ理由ヲ具シ其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ
第二條 産業組合中央金庫ニ於テ出張所ヲ設置セムトスルトキハ豫メ其ノ事由ヲ具シ其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ之ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ
第三條 産業組合中央金庫ニ於テ産業組合聯合會及漁業組合聯合會ニ業務ノ代理ヲ委任シタルトキハ委任契約書ノ謄本ヲ添へ遲滞ナク其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ其ノ契約ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五條 産業組合中央金庫ハ特別融通ニ付調査費ヲ徵スルコトヲ得ズ但シ特ニ多額ノ調査費用ヲ要スル場合ニ於テ其ノ實費ヲ徵スルハ此ノ限ニ在ラズ
第六條 産業組合中央金庫ハ特別融通ヲ爲シタル所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ニ對シ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産、負債及事業ノ狀況ヲ調査シ又ハ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得ベキ旨ノ契約ヲ締結スベシ
産業組合中央金庫ガ前項ノ契約ニ依リ調査ヲ爲シ又ハ報告ヲ爲サシメタルトキハ其ノ結果ヲ農林大臣及大藏大臣ニ報告スベシ
第七條 産業組合中央金庫ハ特別融通ニ關シ農林大臣及大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ爲スベシ
第八條 特別融通ニ關シテハ本令ニ依ルモノノ外農林大臣及大藏大臣之ヲ定ム
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附 則 (昭和十六年農林大藏省令第一號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

委任契約書消滅シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第四條 産業組合中央金庫カ「コレスポンデンス」契約ヲ締結シタルトキハ契約書ノ謄本ヲ添へ遲滞ナク其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ其ノ契約ヲ變更シタルトキ亦同シ

「コレスポンデンス」契約消滅シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第五條 定款ノ變更、存立期間ノ延長、資本金ノ増加、加入金又ハ増口金ノ徴収及役員ノ報酬額ニ關スル認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ノ抄本ヲ添附スヘシ

第六條 産業組合中央金庫ニ於テ總代ノ選舉ヲ執行セムトスルトキハ豫メ其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ總代ニ當選シタル産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合ノ名稱ハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第七條 産業組合中央金庫カ總會又ハ總代會ヲ召集セムトスルトキハ豫メ其ノ日時、場所及會議ノ目的タル事項ヲ産業組合中央金庫監理官ニ通知スヘシ

第八條 産業組合中央金庫ノ總會又ハ總代會ヲ終リタルト

キハ其ノ決議録ノ謄本ヲ遲滞ナク農林大臣及大藏大臣ニ提出スヘシ

第九條 産業組合中央金庫理事長カ評議員ニ諮問セムトスル事項ハ豫メ之ヲ産業組合中央金庫監理官ニ通知スヘシ評議員ニ諮問シタル結果ハ之ヲ産業組合中央金庫監理官ニ報告スヘシ

第十條 産業組合中央金庫ニ於テ事業執行ニ關スル規程ノ外諸規程ヲ制定シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ之ヲ變更又ハ廢止シタルトキ亦同シ

第十一條 剩餘金處分ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 貸借對照表
- 二 損益計算書
- 三 損益勘定内譯明細表
- 四 損益勘定前年度比較表
- 五 總會又ハ總代會ノ決議録ノ抄本

第十二條 每事業年度ニ從ヒ毎六箇月間ニ於ケル貸付金利息ノ最高歩合ノ認可申請書ハ其ノ期間開始前ニ於テ之ヲ提出スヘシ

手形割引料及貸越金利息ノ最高歩合ノ決定及變更ニ付テハ貸付金利息ノ最高歩合ト同一ノ取扱ニ據ルヘシ
貸出ノ種類ニ依リ其ノ利息又ハ割引料ノ歩合ヲ異ニスル

モノハ各別ニ最高歩合ヲ定ムヘシ

第十三條 産業債券發行ノ認可申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 發行ノ方法及條件ヲ記載シタル書面
- 二 拂込金額ヲ記載シタル書面
- 三 貸付金、割引手形及所有有價證券ノ現在高ヲ記載シタル書面
- 四 産業債券ノ現在高ヲ記載シタル書面
- 五 産業債券申込證案
- 六 産業組合中央金庫法第十九條ノ規定ニ依リ産業債券ヲ發行セムトスルトキハ借替フヘキ舊債券ノ償還高ノ豫定及借替ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面
- 七 契約ニ依リ産業債券ノ總額又ハ其ノ一部ヲ引受クル者アルトキ(大藏省預金部ニ於テ引受クル場合ヲ除ク)ハ契約書案又ハ契約條項ヲ記載シタル書面

第十四條 數回ニ分チテ拂込ヲ爲サシムル産業債券ノ發行ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

- 一 拂込ノ最終時期ハ募集締切ノ日ヨリ六箇月以内ニ於テ之ヲ定ムルコト
- 二 産業債券申込證ニハ産業債券令第三條ノ記載事項ノ外毎回ノ拂込金ニ對スル利子支拂ノ方法ヲ記載スルコト但シ其ノ利子歩合ハ産業債券ノ利率ト同一ナル

中金法 産業組合中央金庫法第二十五條及第二十八條ニ依ル命令

コト

三 全額拂込前ニ在リテハ毎回ノ拂込金ハ帳簿上募集金額ヲ以テ整理シ全額拂込済ノ上發行高ニ振替フルコト

第十五條 産業債券ノ賣出期間ハ二箇月以内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

賣残リタル債券ハ監事立會ノ上直ニ廢棄ノ手續ヲ爲スヘシ
賣出債券ノ製造元保管高及受拂高ハ特ニ設ケタル帳簿ニ記載スヘシ

第十六條 産業債券令第十一條ノ届出ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ但シ賣出ノ場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

- 一 應募券面總額及其ノ價格
- 二 申込價格ノ最高、最低及平均
- 三 道府縣別應募券面總額及其ノ價格
- 四 確定募入券面總額、價格及其ノ較差額

第十七條 數回ニ分チテ産業債券ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ毎回其ノ拂込濟額ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ但シ拂込ヲ怠リタル者アルトキハ其ノ口數、通數、金額及其ノ處分方法ヲ附記スヘシ

第十八條 産業債券ノ償還抽籤ヲ執行セントスルトキハ豫

メ抽籤償還スヘキ債券ノ券面總額、抽籤ノ日時及場所ヲ定メ産業組合中央金庫監理官ニ通知シテ立會ヲ請フヘシ

第十九條 産業債券ノ購入鎖却ヲ爲サムトスルトキハ豫メ買入ルヘキ債券ノ種類及豫定額ヲ定メ買入鎖却ヲ必要トスル事由ヲ具シ農林大臣及大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第二十條 産業債券ノ買入價格ハ券面額(産業債券令第十七條ニ該當スル債券ニ在リテハ償還スヘキ金額)ト買入當時迄ノ利子額トノ合計額ヲ超ユルコトヲ得

第二十一條 産業債券ノ買入鎖却ハ左ノ手續ニ依ルヘシ
一 産業債券ヲ買入レタルトキハ其ノ種類及記番號ヲ債券原簿ト對照シテ債券ノ要部ニ付消印ヲ捺シ又ハ打買キ原簿ニ鎖却ノ記入ヲ爲スヘシ

二 前號ノ手續ヲ了シタルトキハ債券ノ種類、記番號、枚數、金額及買入價格ヲ調査シテ鎖却調書ヲ作り理事長及主任理事之ニ署名スヘシ

三 鎖却ノ爲買入レタル債券ハ其ノ豫定額ニ達スルト否トニ拘ラス買入レタル事業年度内ニ鎖却ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十二條 産業債券ノ買入鎖却ニ因ル債券ノ總額變更ノ届書ニハ鎖却調書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二十三條 産業債券又ハ利札ノ時効ニ罹ラムトスルモノアルトキハ時効期間満了ノ時ヨリ少クトモ一箇月前ニ其ノ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ通知スヘシ

第二十四條 産業債券又ハ其ノ利札カ時効ニ罹リタルニ因リ産業組合中央金庫ニ於テ支拂ヲ爲ササルコト確定シタル金額ノ處分ニ付テハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可申請書ニハ前條ノ手續ヲ了シタルコトヲ知ルニ足ルヘキ書面並債券又ハ利札ノ種類、記番號、枚數及金額ノ明細表ヲ添附スヘシ

第二十五條 前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ産業債券原簿ニ時効免責ノ記入ヲ爲シ且其ノ産業債券又ハ利札ノ種類、記番號、枚數及金額ヲ公告スヘシ

第二十六條 償還又ハ交換ニ依リ回收シタル債券ハ其ノ要部ニ付消印ヲ捺シ又ハ打買キ時効期間内之ヲ保管スヘシ

第二十七條 産業組合中央金庫ハ毎月末現在ニ依リ左ニ掲クル書類ヲ作成シ翌月十日迄ニ農林大臣及大藏大臣ニ提出スヘシ

一 毎月實際報告表
二 損益勘定内譯表
三 未決算勘定内譯表

必要ト認ムルトキハ臨時ニ命令ヲ發スルコトアルヘシ

七 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條ニ依ル命令

昭和七年十月一日更第一一〇號
農林大臣大藏大臣命令産業組合中央金庫宛

記

第一條 産業組合中央金庫ハ現ニ貯金ノ拂戻ヲ停止シ又ハ制限シツツアル所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ヨリ特別融通ノ申込ヲ受ケタル場合ハ其ノ申込ノ内容及之ニ對スル處理ノ見込ヲ記載シタル書面ヲ農林大臣及大藏大臣ニ提出スベシ

前項ノ場合ニ於テハ産業組合中央金庫ハ農林大臣及大藏大臣ノ承認アリタル後處理ヲ爲スベシ

第二條 産業組合中央金庫ハ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テ特別ノ必要アリト認ムルトキハ所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ノ役員ノ個人ノ資格ヲ以テスル保證書ヲ徵スルコトヲ得

第三條 産業組合中央金庫ハ毎月月末迄ニ受理シタル特別

四 産業債券内譯表

五 貸出金現在高内譯表

六 餘裕金運用内譯表

七 制限一覽表

八 保護預リ内譯表

九 委託賣買内譯表

第二十八條 産業組合中央金庫法施行規則第七條ノ財産目錄、貸借對照表及事業報告書並剩餘金處分書ハ事業年度終了後二箇月以内ニ提出スヘシ

第二十九條 登記又ハ産業組合中央金庫原簿ノ記載ニ關スル届書ハ農林大臣ニハ三通、大藏大臣ニハ一通ヲ提出スヘシ

前項ノ届出ニハ法令ニ定ムルモノノ外監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第三十條 産業組合中央金庫カ訴訟ノ當事者ト爲リタルトキハ原告タルト被告タルトヲ問ハス訴訟ノ謄本、判決確定シタルトキハ其ノ判決ノ謄本ヲ添へ遲滞ナク其ノ旨農林大臣及大藏大臣ニ届出ツヘシ

第三十一條 産業組合中央金庫ニ於テ臨時休業ヲ爲サムトスルトキハ豫メ農林大臣及大藏大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第三十二條 本命令ノ外農林大臣又ハ大藏大臣ニ於テ特ニ

中金法

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條ニ依ル命令

中金法 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

融通ノ申込ニ對スル處理狀況報告(別紙第一號様式)、月中ニ於ケル特別融通報告(別紙第二號様式)及月中ニ於ケル延滞報告(別紙第三號様式)ヲ作成シ翌月二十日迄ニ農林大臣及大藏大臣ニ之ヲ提出スベシ
産業組合中央金庫ハ每期特別融通業績報告(別紙第四號様式)ヲ作成シ其ノ期ノ事業報告書ニ添附シテ農林大臣及大藏大臣ニ之ヲ提出スベシ
第四條 産業組合中央金庫ガ特別融通ノ資金ニ充ツル爲產業債券發行ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テハ認可申請書ニ特別融通豫定書(別紙第五號様式)ヲ添附スベシ
第五條 産業組合中央金庫ハ特別融通ニ關シ特ニ勘定科目ヲ設ケ之ヲ整理スベシ

特別融通報告様式

第一號様式 特別融通申込處理狀況報告 昭和 年 月 分

區分	年賦貸付		定期貸付		合計	備考
	口數	金額	口數	金額		
前月繰越						
本月申込						
合計						

合計	本月取消高	本月謝絶高	本月査定減少高	本月貸付高	本月處理未済高

(一) 本月末迄ノ申込高累計
(二) 本月末迄ノ取消高累計
(三) 本月末迄ノ謝絶高累計
(四) 本月末迄ノ査定減少高累計
(五) 本月末迄ノ貸付高累計
(六) 本月末現在貸付高

聯合會名	申込金額	資金用途	年賦定期	備考
合計				

(イ) 定期貸付ノ欄ニハ年賦償還貸付以外ノ貸付ヲ記載スルコト 以下諸表ニ付亦同シ
(ロ) 本月貸付決定通知高ヲ本月貸付高欄ノ下ニ朱書スルコト
本月融通申込高内譯(聯合會) 昭和 年 月 分

組合名	申込金額	資金用途	年賦定期	備考
合計				

備考
(一) 本表ハ貸付一口毎ニ記入スルコト
(二) 摘要ノ欄ニハ無擔保債權擔保、不動産抵當附債權擔保、有價證券擔保附債權擔保ノ區別ヲ記載スルコト
本月融通申込高内譯(組合) 昭和 年 月 分

聯合會名	申込金額	年月日	貸付金額	擔保債權額	償還方法	償還期限	備考
合計							

備考 役員等ノ連帶保證アル場合ニ於テハ當該貸付口ニ付摘要ノ欄ニ連帶保證人ノ氏名ヲ附記スルコト以下(ロ)(ハ)表ニ付亦同シ
(イ)ノ二 無擔保債權擔保貸付

聯合會名	申込金額	貸付金額	資金用途	年賦定期	備考
合計					

備考 役員等ノ連帶保證アル場合ニ於テハ當該貸付口ニ付摘要ノ欄ニ連帶保證人ノ氏名ヲ附記スルコト
(ロ)ノ一、二 不動産抵當附債權擔保貸付

組合名	申込金額	年月日	貸付金額	擔保債權額	償還方法	償還期限	備考
合計							

備考 役員等ノ連帶保證アル場合ニ於テハ當該貸付口ニ付摘要ノ欄ニ連帶保證人ノ氏名ヲ附記スルコト
(ロ)ノ一、二 不動産抵當附債權擔保貸付

中金法 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

中金法 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

聯合會名 (組合名)	申貸付		擔保債權	同上月	償還債	摘要
	金額	日付				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
債務保人氏名	金額	種類	擔保物	償還期限	償還方法	
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓

(ハ)ノ一、二 有價證券擔保附債權擔保貸付様式ハ同一様式ニ付略
第三號様式

特別融通延滞報告

昭和 年 月 分

區別	貸付元貨		本月延滞	前月迄延滞	計	摘要
	貸付元貨	元貨現在				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
聯合會	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

內譯 特別融通延滞報告(聯合會)

聯合會名	貸付元貨		本月延滞	前月迄延滞	計	摘要
	貸付元貨	元貨現在				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

備考(一) 本表ハ延滞貸付ノ一口毎ニ記載スルコト

(二) 貸付ノ種類ノ欄ニハ無擔保債權擔保、不動産抵當附債權擔保、有價證券擔保附債權擔保ノ區別及年賦定期ノ區別ヲ記載スルコト

(三) 摘要ノ欄ニハ督促中ノモノ、強制執行手續中ノモノ、強制執行ヲ申立テタルモノ等ノ事項ヲ記載スルコト

特別融通延滞報告(組合)

組合名	貸付元貨		本月延滞	前月迄延滞	計	摘要
	貸付元貨	元貨現在				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

備考(一) 本表ハ延滞貸付ノ一口毎ニ記載スルコト

(二) 貸付ノ種類ノ欄ニハ無擔保債權擔保、不動産抵當附債權擔保、有價證券擔保附債權擔保ノ區別及年賦定期ノ區別ヲ記載スルコト

(三) 摘要ノ欄ニハ督促中ノモノ、強制執行手續中ノモノ、強制執行ヲ申立テタルモノ等ノ事項ヲ記載スルコト

第四號様式

特別融通業績報告

(一) 產業債券

昭和 年 月 分

前期繰越高	當期發行高	當期償還高	差引當期末現在高
圓	圓	圓	圓

(二) 貸付高

貸付種類	貸付		前期繰越高	當期貸付高	當期償還高	差引當期末現在高
	貸付	設				
無擔保(定期)	圓	圓	圓	圓	圓	圓
不動產抵當(定期)	圓	圓	圓	圓	圓	圓
有價證券擔保(定期)	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

內譯 (イ) 無擔保債權擔保貸付高

中金法 產業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

備考(一) 本表ハ延滞貸付ノ一口毎ニ記載スルコト

(二) 貸付ノ種類ノ欄ニハ無擔保債權擔保、不動産抵當附債權擔保、有價證券擔保附債權擔保ノ區別及年賦定期ノ區別ヲ記載スルコト

(三) 摘要ノ欄ニハ督促中ノモノ、強制執行手續中ノモノ、強制執行ヲ申立テタルモノ等ノ事項ヲ記載スルコト

特別融通延滞報告(組合)

組合名	貸付元貨		本月延滞	前月迄延滞	計	摘要
	貸付元貨	元貨現在				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

備考(一) 本表ハ延滞貸付ノ一口毎ニ記載スルコト

(二) 貸付ノ種類ノ欄ニハ無擔保債權擔保、不動産抵當附債權擔保、有價證券擔保附債權擔保ノ區別及年賦定期ノ區別ヲ記載スルコト

(三) 摘要ノ欄ニハ督促中ノモノ、強制執行手續中ノモノ、強制執行ヲ申立テタルモノ等ノ事項ヲ記載スルコト

第四號様式

聯合會名又ハ組合名

(定期) 年賦

聯合會名又ハ組合名	前期繰越高	當期貸付高	當期償還高	差引當期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

(ロ) 不動産抵當附債權擔保貸付高

聯合會名	貸付		前期繰越高	當期貸付高	當期償還高	差引當期末現在高
	貸付	設				
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
合計	圓	圓	圓	圓	圓	圓

(ハ) 有價證券擔保附債權擔保貸付高

中金法

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

聯合會又ハ組合名	前	繰越高	當	當	未	差引
	高	期	期	期	期	期
聯合會名	年賦	圓	圓	圓	圓	圓
計	年賦					
組合名	年賦					
計	年賦					
合計						

(三)ノ一 延滞金調 (聯合會)

貸付種類	延滞期別	延滞金調					合計	貸付金 現在高	同 上ニ 對 延滞 割合	前 期 末 延 滞 高	摘 要										
		一期	二期	三期	四期	五期															
無擔保債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
擔保債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
不動產抵當附債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
有價證券擔保附債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
計	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
前期末延滞高	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金

摘要	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	
督促中ノモノ																					
強制執行手續中ノモノ																					
強制執行ヲ申立テタルモノ																					
計																					
前期末計																					

右記ノ内督促中及強制執行中ノモノ左ノ如シ
(三)ノ二 延滞金調 (組合)

貸付種類	延滞期別	延滞金調					合計	貸付金 現在高	同 上ニ 對 延滞 割合	前 期 末 延 滞 高	摘 要										
		一期	二期	三期	四期	五期															
無擔保債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
擔保債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
不動產抵當附債權	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
計	一年賦	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金
前期末計		口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金	口數	元金

中金法

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法施行規則第八條
ニ依ル命令

中金法 損失補償後ノ處理ニ關スル命令

- 二 前項ノ取立金ニ關シテハ別紙様式ニ依リ毎月一回一ヶ月分ヲ取纏メ翌月末日迄ニ農林省經濟更生部長並大藏省銀行局長ニ報告スベシ
- 三 取立金ヲ政府ニ納入スベキ場合ニ於テハ農林省歳入徴收官前項ノ報告書ニ基キ産業組合中央金庫ヲ納入トシ納入告知書ヲ發行スベキニ付該納入告知書ヲ受ケタルトキ

ハ直ニ歳入ニ納付ノ手續ヲ爲スベシ
(別紙)
産業組合中央金庫特別融通損失補償契約第四條ノ取立金報告

昭和 年 月分

組合名	保有債權金額	取立金額			中央金庫ノ負擔トナリタル取立費用	差引	回収高累計	摘要
		元金	利息	費用				
合計	四	四	四	四	四	四	四	

(備考)

- 一、保有債權總額
- 二、回収高累計
- 三、補償ニ充當シタル金額ノ累計
- 四、政府ニ納入シタル金額ノ累計
- 五、差引回収高現在額

(注意)

- 一、産業組合中央金庫ノ負擔トナリタル取立費用ノ内譯ヲ摘要欄ニ記載スベシ
- 二、右ノ保有債權トハ契約書第三條第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ第四條第一項ノ特別融通債權、第三號及第四號ノ場合ニ在リテハ第四條第二項ノ讓渡セ

シメタル擔保債權トス

- 三、本報告ハ昭和十五年一月分ヨリ提出スベシ但昭和十四年十二月三十一日迄ノ取立ニ係ルモノハ一月分ニ合算スベシ

九 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ關スル件

昭和七年十一月十九日七更部第一五二號
農林省經濟更生部長大藏省銀行局長通牒
産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ關スル件

今般政府カ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ依リ産業組合中央金庫ヲシテ特別融通ヲ爲サシメ之カ損失ヲ補償セントスル所以ノモノハ之ニ依リテ信用組合聯合會又ハ信用組合ノ固定セル債權ヲ資金化シテ金融疏通ヲ圖リ以テ信用組合聯合會又ハ信用組合ヲシテ時局匡救ノ任ニ當ラシメントスルニ有之貴會ニ於テモ能ク各地支會ヲ指導シ法律所期ノ目的達成ノ爲御助力相成様此段及通牒候也

一〇 産業組合中央金庫ノ資金計畫書ニ關スル件

昭和十五年十二月十二日一五更部第一五二號
農林省經濟更生部長大藏省銀行局長通牒
産業組合中央金庫理事長宛

産業組合中央金庫ノ資金計畫書ヲ左記ニ依リ作成シ提出相成度此段及通牒候也
追而右ノ資金計畫書ニ著シキ變更ヲ加ヘタルトキハ遲滞ナク資金計畫變更書ヲ提出相成度尙金庫ニ於テハ産業組合法施行規則第十一條ノ三ニ依リ信用組合又ハ信用組合聯合會ヨリ其ノ貯金ノ拂戻ノ準備ノ爲管理運用スベキ金額ノ預ケ入ヲ受クル爲「拂戻準備預り金」ナル科目ヲ設定相成度

記

- 一、資金計畫書ハ毎年四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル期間及十月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル期間毎ニ作成シ五月十日及十一月十日迄ニ提出スルコト但シ昭和十六年三月三十一日ニ至ル期間ノ資金計畫書ハ昭和十六年一月十五日迄ニ提出スルコト

中金法

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ關スル件
産業組合中央金庫ノ資金計畫書ニ關スル件

計	現 金	法 第 十五 條 ノ 短 期 貸 付 金	有 價 證 券							
			計	其 他	社 債	地 方 債	國 債			
							計	其 他	短 期 國 債	支 那 事 變 債

注 意 短期國債證券トハ米穀證券及蠶糸證券等一年
以內ノ短期國債證券ヲイフ
附 (二) 拂戻準備預リ金ノ管理運用計畫
(計畫要領)

計	前 期 末	現 在 見 込	當 期 末	差 引 當 期 間 ノ 増 減 見 込 (減△)

拂戻準備預リ金ノ管理運用計畫内譯表
附 (二) 其ノ他資金ノ調達及運用ニ關シ參考トナルベ
キ事項

【第四類】

產業組合自治監査法關係

一 産業組合自治監査法

昭和十三年三月十八日法律第十五號
改正昭和十五年三月二十九日法律第五十九號

第一條 産業組合ハ其ノ實質ナル發達ヲ圖ル爲自治監査ヲ行フ目的ヲ以テ産業組合監査聯合會ヲ設立スルコトヲ得
産業組合聯合會ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ産業組合ト看做ス

第二條 産業組合監査聯合會ハ法人トシ全國ヲ通ジ一箇トス
産業組合監査聯合會ノ設立ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
主務大臣必要アリト認ムルトキハ産業組合ニ對シ産業組合監査聯合會ニ加入スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三條 産業組合監査聯合會ノ設立アリタルトキハ事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

産業組合監査聯合會ノ設立又ハ登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第四條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ヲ設置ス
産業組合監査員ノ選任及解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
産業組合監査員ハ産業組合監査聯合會ニ屬スル産業組合

監査法 産業組合自治監査法

ノ事務所、倉庫、加工場其ノ他ノ場所ニ臨ミ金錢、物品、帳簿其ノ他ノ物件ヲ調査シ當該産業組合ノ事業及財産ノ狀況ヲ監査スルコトヲ得

産業組合監査員及其ノ行フ監査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 行政官廳ハ産業組合監査聯合會又ハ産業組合監査員ニ對シ産業組合ノ監査上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第六條 産業組合監査聯合會ニハ所得稅及法人稅ヲ課セズ
産業組合監査聯合會ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第七條 本法ニ規定スルモノノ外産業組合監査聯合會ノ設立、登記、管理、監督、解散、清算其ノ他産業組合監査聯合會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 産業組合中央會及産業組合中央金庫ハ産業組合監査聯合會ニ加入スルコトヲ得

第九條 産業組合ノ役員産業組合監査員ノ行フ監査ヲ拒ミタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス
産業組合監査員第五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス
産業組合監査聯合會ノ役員本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス

監査法 産業組合自治監査法施行令

非訟事件手続法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前三項ノ過料ニ之ヲ準用ス

〔参照〕

非訟事件手続法

第二百六條 過料事件ハ他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外過料ニ處セラルヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

(参考) 民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法

第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條

第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條及ヒ小切手法第七十一條

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ

當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

ル事業

第二條 産業組合監査聯合會ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

産業組合監査聯合會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 産業組合監査聯合會ノ設立者ハ定款ヲ作成シ之ヲ主務大臣ニ差出シ設立ノ認可ヲ受クベシ

産業組合監査聯合會ハ設立ノ認可アリタル時成立ス

第四條 産業組合監査聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 事務所ノ所在地
- 四 會員ノ加入及脱退ニ關スル事項
- 五 會員ノ權利義務ニ關スル事項
- 六 事業及其ノ執行ニ關スル事項
- 七 役員ニ關スル事項
- 八 會議ニ關スル事項
- 九 資産ニ關スル事項
- 十 公告ヲ爲ス方法

第五條 本令ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第六條 産業組合自治監査法又ハ本令ニ依リ登記スベキ事項

監査法 産業組合自治監査法施行令

二

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和十四年三月勅令第三百三十五號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和十五年法律第五十九號)

本令ハ昭和十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 産業組合自治監査法施行令

昭和十四年三月三十一日勅令第三百三十六號

第一條 産業組合監査聯合會ハ左ノ事業ヲ行フ

- 一 産業組合及産業組合聯合會ノ監査
- 二 産業組合及産業組合聯合會ニ於ケル監査事務ノ指導
- 三 其ノ他産業組合監査聯合會ノ目的ヲ達スルニ必要ナ

項ハ第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル民法第四十八條ノ場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ生ヅタル後主タル事務所所在地ニ於テハ二週間以内、其ノ他ノ事務所所在地ニ於テハ三週間以内ニ之ヲ登記スベシ

登記スベキ事項ニシテ主務大臣ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第七條 産業組合監査聯合會ノ設立ノ登記ハ左ノ事項ニ付之ヲ爲スベシ

- 一 第四條第一號、第二號及第十號ニ掲グル事項
- 二 事務所
- 三 成立ノ年月日
- 四 會長、常務理事、理事及監事ノ氏名及住所
- 五 第八條 産業組合監査聯合會ニ役員トシテ會長常務理事各一人及理事監事各二人以上ヲ置ク
- 六 第九條 會長、常務理事、理事及監事ハ主務大臣之ヲ任命ス會長、常務理事及理事ノ任期ハ五年、監事ノ任期ハ三年トス
- 七 第十條 會長ハ産業組合監査聯合會ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス
- 八 常務理事ハ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
- 九 常務理事及理事ハ會長ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ産

三

監査法 産業組合自治監査法施行令

業組合監査聯合會ノ業務ヲ分掌ス
監事ハ産業組合監査聯合會ノ業務ヲ監査ス

第十一條 産業組合監査聯合會ニ評議員二十人以内ヲ置キ主務大臣之ヲ任命ス但シ其ノ半数以上ハ産業組合關係者中ヨリ之ヲ選任スベシ

評議員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ業務執行ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス

第十二條 産業組合監査聯合會ニ總代會ヲ設ク

總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル事項ハ定款ニ之ヲ規定スベシ

總代ハ道府縣毎ニ會員之ヲ互選スベシ

第十三條 左ニ掲グル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一 經費ノ分賦收入方法及手数料ノ徵收方法

二 事業報告及收支決算

三 借入金(一時借入金ヲ除ク)

四 定款ノ變更

前項第四號ニ掲グル事項ハ總代ノ半数以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

前項ノ規定ニ依ル議決ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十四條 會長ハ少クトモ毎事業年度一回通常總代會ヲ召集スルコトヲ要ス

會長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總代會ヲ召集スルコトヲ得

第十五條 總代會ヲ召集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各總代ニ通知スベシ

總代會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 總代會ノ議決ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル總代ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第十七條 各總代ノ議決權ハ平等ナルモノトス

總代ハ他ノ總代ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ總代ハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ受任者ハ委任狀ヲ産業組合監査聯合會ニ差出スベシ

第十八條 總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ召集スルノ暇ナキトキハ會長主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ會長ハ次ノ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第十九條 産業組合監査聯合會ノ事業年度ハ一年トス

第二十條 産業組合監査聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ課スルコトヲ得

産業組合監査聯合會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十一條 産業組合監査聯合會ハ主務大臣之ヲ監督ス

主務大臣ハ産業組合監査聯合會ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 主務大臣ハ産業組合監査聯合會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、産業組合監査聯合會ノ業務ヲ停止シ又ハ其ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十三條 産業組合監査聯合會ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 總會員ノ四分ノ三以上ノ同意

二 破産

三 主務大臣ノ解散命令

監査法 産業組合自治監査法施行令

前項第一號ノ事由ニ因ル解散ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十四條 産業組合監査聯合會ノ清算ハ其ノ主たる事務所所在地ノ區裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲シ又ハ特ニ選任シタル者ヲシテ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

第二十六條 産業組合監査聯合會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ産業組合監査聯合會登記簿ヲ備フ

第二十七條 設立ノ登記ハ會長、常務理事、理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ定款、設立アリタルコトヲ證スル書面及申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第二十八條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ會長又ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添付スベシ但シ前ニ登

記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要セズ

第二十九條 産業組合監査聯合會ガ第二十三條第一項第一號ノ事由ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及會長ガ清算人タラザル場合ニ於テハ申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添付スベシ

産業組合監査聯合會ガ第二十三條第一項第三號ノ事由ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ登記ハ主務大臣ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲スベシ

第三十條 清算人ニ關スル登記及清算終了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲スベシ

第三十一條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スベシ

第三十二條 民法第四十四條第一項、第四十五條第三項、第四十八條、第五十條、第五十一條、第五十二條第二項、第五十四條、第五十五條、第五十七條、第五十九條、第六十六條、第七十條、第七十二條乃至第八十一條及第八十三條並ニ非訟事件手續法第三十七條ノ二、第三百三十六

條乃至第三百三十八條、第四百二十二條乃至第五百一十一條ノ六、第五百十四條、第五百十六條、第五百十七條、第七百七十五條及第七百七十六條ノ規定ハ産業組合監査聯合會ニ之ヲ準用ス但シ民法中主務官廳トアルハ農林大臣及大藏大臣トス

第三十三條 産業組合自治監査法及本令中主務大臣トアルハ農林大臣及大藏大臣トス但シ同法第二條第三項(産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ニ關スル場合ヲ除ク)及第四條第二項ニ付テハ農林大臣トス

第三十四條 産業組合自治監査法第五條中行政官廳トアルハ農林大臣及當該命令ニ係ル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ主タル事務所所在地ノ地方長官トス但シ全國ヲ區域トスル産業組合聯合會ニ係ル命令ニ付テハ農林大臣トス前項中農林大臣トアルハ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ニ係ル命令ニ付テハ農林大臣及大藏大臣トス

附 則

本令ハ産業組合自治監査法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年四月一日ヨリ施行)

三 産業組合自治監査法施行規則

昭和十四年三月三十一日農林省令第十八號

第一條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ノ資格ニ關スル規程ヲ設クベシ

第二條 産業組合監査員ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ農林大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 産業組合監査員又ハ其ノ職ニ在リタル者ハ其ノ職務ニ關シ知得シタル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩スルコトヲ得ズ

第四條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ヲ其ノ服務ニ關スル規程ノ定ムル所ニ依リ懲戒處分ニ附スルコトヲ得

前項ノ處分ヲ爲サントスルトキハ評議員ニ諮問スルコトヲ要ス

第五條 農林大臣監督上必要アリト認ムルトキハ産業組合監査聯合會ニ對シ産業組合監査員ノ解任ヲ命ズルコトアルベシ

第六條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ヲシテ監査ニ際シ産業組合監査員タルコトヲ示スベキ證票ヲ携帯セ

監査法 産業組合自治監査法施行規則

シムベシ

前項ノ證票ハ別記様式ニ依ル

第七條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ガ監査ニ際シ産業組合又ハ産業組合聯合會ノ事業又ハ財産ニ關シ重大ナル事項アリタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ報告セシムベシ但シ全國ヲ區域トスル産業組合聯合會ニ在リテハ農林大臣ニ報告セシムベシ

第八條 産業組合監査聯合會ハ産業組合監査員ガ監査ヲ爲シタル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ監査書ヲ交付スベシ

産業組合監査聯合會ハ前項ノ監査書ノ寫ヲ農林大臣及主タル事務所所在地ノ地方長官ニ提出スベシ但シ全國ヲ區域トスル産業組合聯合會ニ在リテハ地方長官ニ提出スルコトヲ要セズ

第九條 左ニ掲グル事項ハ農林大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

- 一 每事業年度ノ收支豫算
- 二 每事業年度ノ監査計畫
- 三 經費ノ分賦收入方法及手數料ノ徵收方法
- 四 産業組合及産業組合聯合會ノ監査ニ關スル規程ノ制

監査法 産業組合自治監査法施行規則

定及改廢

五 産業組合監査員ノ資格、服務及給與ニ關スル規程ノ制定及改廢

第十條 産業組合監査聯合會ハ每事業年度經過後二月以内ニ左ニ掲グル書類ヲ農林大臣及大藏大臣ニ提出スベシ

- 一 財産目録
- 二 收支決算書
- 三 事業報告書
- 四 會員名簿

第十一條 産業組合監査聯合會ニ於テ業務執行其ノ他ニ關シ規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ農林大臣及大藏大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第十二條 地方長官産業組合自治監査法第五條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第十三條 第八條第二項及前條中農林大臣トアルハ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引又ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ニ付テハ農林大臣及大藏大臣トス

第十四條 第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ産業組合自治監査法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十四年四月一日ヨリ施行)
昭和十二年農林省令第五十二號ハ之ヲ廢止ス
別記様式

裏 面	表 面
<p>注意</p> <p>一、本證ハ産業組合又ハ産業組合聯合會監査ノ際必ズ之ヲ携帯スベシ</p> <p>二、本證ハ監査ヲ受クル産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ請求アリタルトキハ之ヲ呈示スベシ</p> <p>三、本證ヲ紛失シタルトキハ直ニ本會ニ届出ヅベシ</p> <p>四、産業組合監査員其ノ職ヲ退キタルトキハ本證ヲ直ニ本會ニ返付スベシ</p> <p>第 號</p> <p>折</p> <p>目</p> <p>産業組合監査員證</p> <p>産業組合監査聯合會</p>	<p>本證票用紙ノ寸法ハ商工省告示日本標準規格第九十二號B列七番(91日)ニ依リモノトス</p>

内 面

<p>身分證明書</p> <p>現住所</p> <p>氏 名</p> <p>年 月 日 生</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>右本會産業組合監査員タルコトヲ證明ス</p> <p>産業組合監査聯合會會長氏名</p> <p>折</p> <p>目</p> <p>産業組合監査聯合會之印</p> <p>寫眞貼付欄</p>
--

四 産業組合監査聯合會登記取

扱手續

昭和十四年四月四日司法省令第十二號
改正昭和十四年十二月司法省令第六十五號

監査法 産業組合監査聯合會登記取扱手續

第一條 産業組合監査聯合會ノ登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製スベシ

第二條 産業組合監査聯合會ノ登記受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ毎年之ヲ調製スベシ

第三條 事務所ノ新設又ハ移轉ニ依リ産業組合自治監査法施行令第七條ニ定ムル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

第四條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印スベシ

第五條 商業登記取扱手續第十條乃至第二十三條、第二十四條第一項、第二十六條乃至第三十六條、第三十八條乃至第四十七條、第七十條乃至第七十二條、第七十五條、第七十八條及第百六條乃至第百八條ノ規定ハ産業組合監査聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

更	變	丁	更	變
更	變		更	變
更	變		更	變
更	變		更	變

更	變	丁	更	變
更	變		更	變
更	變		更	變
更	變		更	變

紙數表紙ヲ除キ
枚
地方裁判所長

産業組合監査聯合會登記簿
區裁判所

備 豫	十 了清 日ノ算 年結	九 及住 所ノ 氏名	八 清算 人ノ 氏名	八 原散 因及 年月 日	號 第 番 登 記					
					五 法爲 ス公 方告 ヲ	四 年成 立ノ 日	三 目 的	二 事 務 所	一 名 稱	記月登 官日及 印及年
備	年 月 日 登記	年 月 日 登記	年 月 日 登記	年 月 日 登記	七 住名ノ 所及氏 事	六 住名ノ 所及氏 事	六 理理事 務務	六 常長 事務	六 會長	丁

【第五類】 諸獎勵規則

一 農山漁村經濟更生計畫助成

規則

昭和七年十月六日農林省令第三十號
改正昭和十二年五月農林省令第十七號

- 第一條** 農林大臣ハ農山漁村ノ經濟更生計畫ノ助成ヲ爲ス
爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二條** 助成金ハ左ニ掲グル道府縣又ハ團體ノ費用ニ對シ
之ヲ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補
助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 農山漁村經濟更生ニ關スル委員會ヲ道府縣ニ設置ス
ル爲要スル費用
- 二 農山漁村經濟更生ニ關スル事務ニ從事スル專任職員
ヲ道府縣ニ設置スルノ爲要スル費用
- 三 農山漁村經濟更生計畫樹立ノ爲要スル町村又ハ町村
農會其ノ他町村ノ區域ヲ地區トスル產業團體（特別ノ
事情アル場合ニ於テハ市町村内ノ部落又ハ之ニ準ズル
區域ヲ地區トスル產業團體）ノ費用ニ對シ交付スル道
府縣ノ補助金
- 四 農山漁村經濟更生ヲ促進スル爲道府縣ノ要スル費用
又ハ農會、水産會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル産業
團體ノ要スル費用若ハ之ニ對シ交付スル道府縣ノ補助

金

- 第三條** 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲
グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出
スベシ
- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命
ズルコトアルベシ
- 第四條** 助成金ノ交付ヲ受ケタル者前條第一項各號ノ書類
ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ
農林大臣ノ認可ヲ受ベシ
- 第五條** 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決
算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ
- 第六條** 助成金ノ交付ヲ受ケタル者助成金ノ全部ヲ當該年
度内ニ支出スルコト能ハザル場合ニ於テ其ノ殘額ヲ翌年
度ニ繰越サントスルトキハ翌年度四月十五日迄ニ農林大
臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第七條** 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官
ヲ經由スベシ
- 第八條** 助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當ス
ル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金ノ全部又ハ一部ノ還付

請獎勵

農山漁村經濟更生計畫助成規則

諸獎勵 農山漁村經濟更生特別助成規則

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十二年農林省令第十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 農山漁村經濟更生特別助成規則

昭和十一年六月二十三日農林省令第十號

第一條 農林大臣ハ農山漁村ノ經濟更生計畫實行ノ助成ヲ爲ス爲特ニ本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二條 助成金ハ左ニ掲グル道府縣ノ費用ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 農山漁村ノ經濟更生計畫實行ニ要スル費用ニ對シ町村ニ交付スル補助金
- 二 農山漁村ノ經濟更生計畫實行ニ要スル借入金ニ對シ町村ニ交付スル利子補助金

第三條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者前條ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第六條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者助成金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハザル場合ニ於テ其ノ殘額ヲ翌年度ニ繰越セントスルトキハ翌年度四月十五日迄ニ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 農山漁村經濟更生特別助成ニ關スル件

昭和十一年六月二十七日二更第五七七一號
農 林 次 官 通 牒

昭和十一年六月二十三日附農林省令第十號ヲ以テ農山漁村經濟更生特別助成規則公布相成候處農山漁村經濟更生計畫ニ付テハ昭和七年以來逐次之ガ樹立實行ヲ進メ豫期ノ成績ヲ擧ゲツツアルモノ尠カラズ有之候モ此等指定町村中ニハ實力乏シキガ爲經濟更生計畫ノ重要ナル事項ヲ實行スルコト能ハズ爲ニ經濟更生計畫全體ノ效果ヲ著ルシク減殺シ延テ經濟更生ノ完成ニ支障ヲ及ボサントスル虞アルモノナキニ非ザル實狀ニ有之候此ノ如キ農山漁村ニ對シテハ其ノ經濟更生計畫ノ實行ヲ綜合的ニ助成シ當該町村ノ計畫ヲ完成セシメ恒久的ニ農山漁村ノ生活ノ安定向上ヲ期スルコト寔ニ緊要ナリト認メ今回特ニ本施設ヲ新ニ實施スルコトナリタル次第ニ有之候ニ付テハ其ノ實施上遺憾ナキヲ期セラレ度殊ニ本施設ハ其ノ關係スル事項極メテ廣汎多岐ニ互ル

諸獎勵

農山漁村經濟更生特別助成ニ關スル件

副業獎勵規則

ヲ以テ之ガ實行ニ當リテハ本省ニ於テモ關係各局課充分ナル連絡協調ノ下ニ指導監督スベキヲ以テ貴縣ニ於テモ右趣旨ニ則リ關係各部課ノ聯絡ヲ緊密ニシ協力一致周到ナル指導監督ヲ爲シ以テ經濟更生計畫ノ綜合的完成ヲ期スルニ遺憾ナキ様格別ノ配慮相成度此段及通牒候也

四 副業獎勵規則

大正十四年五月九日農林省令第十二號

第一條 農林大臣ハ農村ニ於ケル副業ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣及農林大臣ノ指定スル法人又ハ組合ニ對シ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ニ付道府縣、法人又ハ組合ノ支出スル費用及補助金ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ事項ニ付別ニ國庫ヨリ補助金又ハ之ニ準スルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 道府縣ニ於ケル副業獎勵ノ事務ニ從事スル專任者ノ設置

二 副業ニ關スル傳習會、講習會、展覽會、共進會、競技會等ノ開設

三 副業ヲ指導スヘキ技術員ノ養成

四 副業ニ關スル調査及試験

諸獎勵 副業獎勵規則ニ依リ獎勵金ヲ交付スヘキ法人及組合指定

四

五 副業ニ關スル參考品或副業用種苗及器具機械ノ購入及配付

六 副業品ノ生産販賣ニ關スル斡旋

七 副業ニ關スル組合ノ設立

八 前各號ノ外農林大臣ニ於テ必要ト認ムル事項

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣、法人又ハ組合ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ

一 獎勵計畫

二 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル事項ニ付其ノ計畫ノ内容及收支豫算

前項第二號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ施行シタル事業ノ成績及其ノ收支決算ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ

第五條 道府縣、法人又ハ組合其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ支出スル義務アルモノトス

第六條 農林大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ
道府縣水産會
山縣ヲ區域トスル
帝國水産會
大日本水産會
中央畜産會
帝國農會
日本農民美術研究所
農村工業協會
全國副業協會中央
保證責任全國購買販賣組合聯合會
關東鶏卵卸配給組合
關西鶏卵配給協會
合 西部鶏卵配給組合

獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

一 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第三條第二項ノ規定又ハ補助ノ條件ニ違反シタルトキ

二 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ殘額ヲ繰越支出セサルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第七條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五 副業獎勵規則ニ依リ獎勵金ヲ交付スヘキ法人及組合指定

定

大正十四年六月九日農林省告示第三十四號
改正大正十四年九月農林省告示第九十六號
昭和四年七月農林省告示第八十六號
昭和九年六月農林省告示第二百三十一號
昭和十一年六月農林省告示第九十三號
昭和十六年五月農林省告示第三百十八號

副業獎勵規則第一條ニ依リ獎勵金ヲ交付スヘキ法人及組合左ノ通り指定ス
道府縣農會 北海道林業會

道府縣水産會
大日本水産會
帝國農會
農村工業協會
保證責任全國購買販賣組合聯合會
關西鶏卵配給協會
關東鶏卵卸配給組合
合 西部鶏卵配給組合

六 副業獎勵施設ニ關スル件

昭和十一年一月二十二日(昭二〇更第二〇三三號) 農林省經濟更生部部長通牒

農山漁村ノ經濟更生上重要ナル施設トシテ從來副業獎勵ヲ實施シ來リ更ニ今年度ヨリハ農村工業獎勵ニ着手致シ候處道府縣ノ計畫ニ係ル副業獎勵施設中ニハ農村工業ト認ムベキ事業ノ獎勵施設ヲモ包含スルト共ニ農村工業獎勵施設中ニハ副業ノ域ヲ脱セザル施設モ見受ケラレ彼此混同シ來レル向相當有之候ニ付テハ將來ハ副業獎勵ノ對象タル施設ト農村工業獎勵ノ對象タル施設トヲ區別シ本省ニ於テ地方ノ實情ヲ考慮シ決定致度見込ナルモ大體副業獎勵金ハ主トシ

諸獎勵 副業獎勵施設ニ關スル件 農製品倉庫獎勵規則

五

七 農製品倉庫獎勵規則

昭和十二年四月三十日農林省令第十二號

第一條 農林大臣ハ農製品倉庫獎勵ノ爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ道府縣ガ販賣組合聯合會又ハ販賣組合ノ農製品倉庫ノ新築、増築、改築又ハ買入ニ要スル費用ニ對シ助成金ヲ交付スル場合ニ於テ其ノ助成金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス

第三條 獎勵金ノ額ハ農製品倉庫ノ新築、増築、改築又ハ買入ニ要スル費用ノ十分ノ四以内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

諸獎勵 農村工業獎勵規則

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 三 助成金交付ニ關スル規程

第五條 前條第三號ノ規程ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

- 一 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ助成金ノ交付ヲ受ケ設置シタル倉庫ヲ讓渡シ、貸與シ、擔保ニ供シ若ハ使用ヲ廢止シ又ハ之ニ重大ナル變更ヲ加フルコトヲ得ザルコト
- 二 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ助成金ノ交付ヲ受ケ設置シタル倉庫ニ付種類別入出庫數量ヲ每事業年度終了後遲滞ナク地方長官ニ報告スベキコト
- 三 前各號ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十年間トスルコト
- 四 助成金ノ交付ヲ受ケタル者第一號又ハ第二號ニ違反シタルトキハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベキコト

第六條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣第四條ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書及助成成績書ヲ

ト認ムル團體ノ支出スル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 道府縣ニ於テ農村工業ノ獎勵ニ從事スル職員ヲ設置スル爲要スル費用
 - 二 産業組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ農村工業用器具機械、建物又ハ工作物ノ設置並ニ技術習得又ハ製品ノ販賣ニ關スル施設ニ要スル費用又ハ之ニ對シ交付スル道府縣ノ補助金
 - 三 農林大臣ノ適當ト認ムル全國ヲ區域トスル團體ノ農村工業ニ關スル生産指導及販賣斡旋ノ爲ニ要スル費用
- 第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
- 補助金ニ對シ獎勵金ノ交付ヲ受ケンスル者ハ前項ノ書類ノ外補助ニ關スル規程ヲ提出スベシ
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書

諸獎勵 農産物及木炭販賣改善施設助成ニ關スル件

添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第八條 農林大臣ハ第五條第四號ノ規定ニ基キ助成金ノ還付ヲ受ケタル道府縣ニ對シ助成金中獎勵金ニ相當スル金額ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

第九條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル道府縣又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八 農村工業獎勵規則

昭和十年八月九日農林省令第二十號 改正昭和十四年六月農林省令第三十二號

- 第一條 農林大臣ハ農村工業ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣其ノ他農林大臣ノ適當

算書ヲ翌年六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハザル場合ニ於テ其ノ殘額ヲ事業ト共ニ翌年度ニ繰越サントスルトキハ翌年度四月十五日迄ニ農林大臣ノ認可ヲ申請スベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十四年農林省令第三十二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

九 農産物及木炭販賣改善施設助成ニ關スル件

昭和十年九月二十一日一〇更第九六七六號 農林次官依命通牒

諸獎勵

農産物及木炭販賣改善施設助成ニ關スル件

各種農産物ノ販賣及販賣斡旋ニ關スル各種機關相互ノ連絡
協調ヲ圖リ以テ其ノ販賣組織ノ改善並統制ヲ圖ルコトハ現
下農山村ノ實狀ニ鑑ミ最モ緊要ナル施設ニ有之政府ハ昭和
十年度ヨリ相當豫算ヲ計上シ中央ニ於ケル販賣及販賣斡旋
ニ關スル指導督勵ノ整備ヲ圖ルト共ニ左記農産物及木炭販
賣改善施設助成要項ニ依リ農産物及木炭ニ關スル販賣改善
施設ニ對シ助成ヲ行フコトト相成候ニ付テハ地方ニ於テモ
右趣旨ニ基キ生産物ノ販賣、指導及金融機關相互ノ間ニ於
ケル連絡協調ヲ圖リ其ノ趣旨ノ達成ニ努メラルル様特ニ御
配意相煩度依命此段及通牒候也

追而農會ノ行フ農産物ノ販賣斡旋施設ノ助成ニ關シテハ
別ニ通牒ノ豫定ニ有之候條申添候

記

農産物及木炭販賣改善施設助成要項

- 第一 助成金ハ左ニ掲クルモノニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 農林大臣ノ適當ト認ムル法人又ハ團體ニ於ケル農産物又ハ木炭ノ販賣改善ニ關スル施設ニ要スル費用
 - 二 道府縣ニ於ケル販賣統制委員會ノ設置ニ要スル費用
 - 三 道府縣ヲ區域トスル販賣組合聯合會ニ於ケル農産物又ハ木炭ノ販賣改善ニ關スル專任職員ノ設置
- 第二 助成金ノ金額ハ其ノ費用ノ二分ノ一以内トス、但シ

上ノ俸給ヲ受ケタル者

- 二 一年以上奏任官待遇以上ノ職ニ在リ又ハ三年以上判任官待遇以上ノ職任ニ在リテ産業組合又ハ農産物若ハ木炭關係ノ事務ニ從事シ月額七拾五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者若クハ五年以上農産物又ハ木炭販賣ニ關スル事務ニ從事シ月額七拾五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
- 三 前各號ニ準スル者

第七 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書及收支豫算書ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第八 助成金ノ交付ヲ受ケタル者前項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナ變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第九 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度六月三十日迄ニ收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十 助成金ノ貸付ヲ受ケタル者ハ事業年度經過後遲滞ナク第一號第三號ノ場合ニ在リテハ事業報告書ヲ第一第二號ノ場合ニ在リテハ事業成績書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

諸獎勵

米穀貯藏獎勵規則

- 前項第二號ノ費用ニ付テハ一道府縣最高三〇〇圓、第三號ノ費用ニ付テハ最高八五〇圓ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第三 道府縣販賣統制委員會ハ農産物又ハ木炭ニ關スル販賣改善ニ關スル具體的事項ノ審議及協定ヲ爲スモノトス
- 第四 道府縣販賣統制委員會ハ左ノ如キ組織トス
 - 一 委員會ハ道府縣廳職員、學識經驗アル者、生産指導販賣又ハ販賣斡旋其ノ他取引ニ經驗アル者ヲ以テ組織スルコト
 - 二 委員ハ地方長官之ヲ任免又ハ依囑スルコトトシ其ノ氏名ヲ農林大臣ニ報告スルコト
 - 三 委員會ハ地方長官ヲ委員長トシ常任委員八名以内ヲ以テ組織シ必要ニ應シ臨時委員ヲ置クコトヲ得ルコト
 - 三 委員會ノ決議シタル事項ハ農林大臣ノ承認ヲ受ケ之ヲ實施スルコト
- 第五 關係地方長官ハ其ノ協議ニ依リ數道府縣聯合ノ販賣統制委員會ヲ開催スルコトヲ得
- 第六 第一第三號ノ專任職員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノタルコトヲ要シ其ノ命免ニ付テハ經濟更生部長及山林局長ノ承認ヲ受ケタルコトヲ要ス
 - 一 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ役員トシテ三年以上主トシテ販賣ニ關スル事務ニ從事シ月額七十五圓以

第十一 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二 本要項ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ全國ヲ區域トスル法人又ハ團體ヨリ提出スルモノヲ除キ地方長官ヲ經由スヘシ

第十三 助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

- 一 本要項又ハ本要項ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

一〇 米穀貯藏獎勵規則

昭和七年十一月二十八日農林省令第三十五號
改正昭和八年十一月農林省令第二十三號
昭和九年四月農林省令第三號

諸獎勵 米穀貯藏獎勵規則

第一條 農林大臣ハ米穀ノ出廻數量ヲ調節スル爲特ニ米穀ノ貯藏ヲ獎勵スル必要アリト認ムルトキハ本則ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

農林大臣本則ニ依ル米穀貯藏ノ獎勵ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ告示ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣ノ米穀貯藏助成施設ニ要スル費用ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス

一 米穀貯藏助成ニ關スル事務費

二 産業組合、農事實行組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル者ガ米穀ノ貯藏ヲ爲ス場合之ニ對シ交付スル助成金

第三條 獎勵金ノ額ハ道府縣ノ米穀貯藏助成施設ニ要スル費用ノ範圍内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫書

二 收支豫算書

三 助成金交付ニ關スル規程又ハ條件ヲ記載シタル書類
前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣前條第一項各

號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書及助成金交付ニ關スル調書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第六條ノ二 第二條第一號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ費用ノ精算書ヲ四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績書ヲ事業終了後遅滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第二號ノ費用中倉庫ノ建設費ニ對スル助成金ニ對シ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ其ノ助成金ヲ交付スル場合ニ於テハ左ノ條件ヲ附スベシ

- 一 農林大臣ガ本則ニ依リ米穀ノ貯藏ヲ獎勵スル場合ニ於テハ農林大臣ノ別ニ定ムル條件ニ依リ保管ニ應ズルコト
- 二 建設シタル倉庫ヲ處分セントスル場合ニ於テハ地方長官ヲ經由シ農林大臣ノ認可ヲ受クベキコト
- 三 倉庫ノ利用狀況ニ關シ毎年十一月三十日迄ニ地方長官ヲ經由シ農林大臣ニ報告スルコト

一 穀物倉庫建設補助ニ關スル

件

昭和十六年四月二十六日一六食第三〇號
農林省食糧管理局長官通牒

米穀ノ國家管理並ニ米麥類配給統制ノ完遂ヲ期スル爲昭和十六年度ニ於テ別紙穀物倉庫建設補助要項ニ依リ國庫補助金ヲ交付スルコト相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

穀物倉庫建設補助要項

- 第一 補助金ハ米穀（麥類ヲ含ム以下同ジ）ヲ貯藏スル爲産業組合、産業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル者ガ倉庫ヲ新築、増築又ハ改築シタル場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付道府縣ノ交付スル助成金ニ對シ之ヲ交付ス
- 第二 前號ノ補助金ノ額ハ倉庫建設費ノ三分ノ二以内ニシテ一坪當本屋ニ對シ百圓以内トス
- 第三 補助金ノ交付ヲ受ケ建設スベキ倉庫ハ燻蒸可能ナルモノニシテ坪當收容力三十三石程度ノモノナルコトヲ要ス

諸獎勵 穀物倉庫建設補助ニ關スル件

四 前各號ニ依リ附シタル條件ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十年間其ノ效力ヲ有スベキコト

五 倉庫建設者ニシテ第一號、第二號又ハ第三號ニ違反シタルトキハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

第九條 農林大臣ハ前條第五號ニ依リ助成金ノ返還ヲ受ケタル道府縣ニ對シ助成金中獎勵金ニ相當スル金額ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

第十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル道府縣又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

諸獎勵 穀物倉庫建設補助ニ關スル件

一一一

- 第四 補助金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添付シ昭和十六年五月三日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 様式第一號ノ事業計畫書
 - 二 收支豫算書
 - 三 助成金交付ニ關スル規程又ハ條件ヲ記載シタル書類前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
 - 第五 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣前號第一項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
 - 第六 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ收支決算書及様式第二號ノ成績書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
 - 第七 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ヲ交付スル場合ニ於テハ左ノ條件ヲ附スベシ
 - 一 政府所有米麥其ノ他國家ノ管理スル米穀ニ付テハ農林大臣ノ別ニ定ムル條件ニ依リ寄託ニ應ズルコト

- 二 建設シタル倉庫ヲ處分セントスル場合ニ於テハ地方長官ヲ經由シ農林大臣ノ認可ヲ受クベキコト
- 三 倉庫ノ利用狀況ニ關シ毎年十一月三十日迄ニ地方長官ヲ經由シ農林大臣ニ報告スルコト
- 四 倉庫建設者ニシテ前各號ニ違反シタルトキハ既ニ交付シタル助成金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベキコト
- 第八 補助金ノ交付ヲ受ケタル道府縣補助金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル助成金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滯ナク農林大臣ニ報告スベシ
- 第九 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返付ヲ命ズルコトアルベシ
 - 一 本要項ノ規定ニ違反シタルトキ
 - 二 補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
 - 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - 四 決算額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

團體名	建設地	構造概要	建設坪數	坪當單價	工費	助成坪數	助成金交付額	備考
					圓			
					圓			
					圓			

穀物倉庫建設助成事業計畫書

注意

- 一、建設地ハ何郡何町(村)字何々何番地ト明記ノコト
- 二、建設坪數坪當單價及工費豫算額ハ倉庫本屋ニ付記載ノコト
- 三、助成坪數欄ニハ建設坪數中助成金ヲ受ケ建設スル坪

(様式第二號) 穀物倉庫建設助成金交付成績書

數ヲ記載ノコト

- 四、助成金ニシテ縣費負擔アルモノハ備考欄ニ國費 圓 縣費 圓ト記載ノコト
- 五、増築又ハ改築ハ備考欄ニ増築又ハ改築ト記載ノコト
- 六、下屋其ノ他附屬建物ヲ備考欄ニ記載ノコト

團體名	建設地	構造概要	建設坪數	坪當單價	工費	助成坪數	助成金交付額	竣工年月日	備考
					圓				
					圓				
					圓				

注意 倉庫本屋ノミニ關シ記載スルモノニシテ其ノ記載方ニ付テハ様式第一號注意参照ノコト

一二 小麥増殖獎勵規則

昭和七年七月二十七日農林省令第十四號
改正昭和七年十二月農林省令第三十七號
昭和十年六月農林省令第十五號
昭和十二年七月農林省令第二十七號

- 第一條 農林大臣ハ小麥ノ増殖ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣、道府縣農會又ハ販賣組合聯合會ノ費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベ

諸獎勵 小麥増殖獎勵規則

一一三

諸獎勵 小麥増殖獎勵規則

キ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 小麥ノ増殖獎勵ニ關スル事務ニ從事スル專任技術員ヲ道府縣ニ設置スル爲要スル費用
- 二 北海道農事試験場又ハ府縣立農事試験場ニ於テ小麥ノ獎勵品種決定ニ關スル試験ヲ行フ爲要スル費用
- 三 北海道農事試験場又ハ府縣立農事試験場ニ於テ小麥ノ原種圃ヲ直接經營スル爲要スル費用
- 四 小麥ノ増殖獎勵ニ關スル事業ノ爲要スル左ニ掲グル道府縣ノ費用又ハ助成金
 - (一) 小麥ノ増殖獎勵ニ關スル指導ノ爲要スル道府縣ノ費用
 - (二) 小麥ノ増殖獎勵ニ關スル實地指導地ヲ設置スル爲要スル道府縣ノ費用又ハ其ノ事業ヲ助成スル爲道府縣ノ交付スル助成金
 - (三) 其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル小麥ノ増殖獎勵ニ關スル事業ノ爲要スル道府縣ノ費用又ハ其ノ事業ヲ助成スル爲道府縣ノ交付スル助成金
- 五 小麥ノ増殖促進督勵ニ關スル事業ノ爲要スル道府縣ノ費用又ハ其ノ事業ヲ助成スル爲道府縣ノ交付スル助成金
- 六 小麥ノ病害防除ニ關スル事業ヲ助成スル爲道府縣ノ

交付スル助成金

- 七 休閑地ヲ利用スル小麥ノ共同耕作ニ關スル事業ヲ助成スル爲道府縣ノ交付スル助成金
 - 八 小麥ノ種子購入ニ關スル事業ノ爲要スル道府縣ノ費用又ハ其ノ事業ヲ助成スル爲道府縣ノ交付スル助成金
 - 九 小麥ノ増殖督勵員ノ活動促進ニ關スル事業ノ爲要スル道府縣ノ費用
 - 十 小麥ノ販賣統制ニ關スル事業ノ爲要スル販賣組合聯合會ノ費用(特別ノ事由アル場合ニ於テハ道府縣農會ノ費用)又ハ其ノ事業ノ爲要スル郡農會若ハ市農會ノ費用ニ對シ交付スル道府縣農會ノ助成金
- 第三條 削除
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
- 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第五條 削除
- 第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第四條第一項各號ノ書

類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ但シ第二條第二號、第三號並ニ第四號(二)及(三)ノ費用又ハ助成金ニ關スル事業成績書ニ付テハ翌年度十二月十五日迄ニ之ヲ提出スベシ

第八條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ獎勵金交付ノ日ヨリ五年間其ノ事業ニ關スル報告ヲ命ズルコトアルベシ

第九條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者技術員其ノ他ノ職員ノ俸給費ニ對スル獎勵金ヲ除クノ外其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハザル場合ニ於テ其ノ殘額ヲ事業ト共ニ翌年度ニ繰越サントスルトキハ翌年度四月十五日迄ニ農林大臣ノ認可ヲ申請スベシ

第十條 本則ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十一條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一 本則規ノ定ニ違反シタルトキ

諸獎勵 産藪處理改善助成規則

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年農林省令第九十號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ第二條第四號ノ改正規定ニ依ル費用又ハ助成金ニ對スル獎勵金ノ申請ニ付テハ昭和十五年年度ニ限り十月三十一日迄トス

一三 産藪處理改善助成規則

昭和十年七月二十五日農林省令第十九號

- 第一條 農林大臣ハ養蠶者ノ産藪處理ノ改善ニ資スル目的ヲ以テ乾藪取引ノ普及並ニ産業組合製絲ノ整備ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二條 助成金ハ共同藪倉庫、共同乾藪所又ハ製絲工場ノ建物、工作物又ハ器具機械ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用ニ對シ其ノ十分ノ四以内ヲ交付ス
- 第三條 助成金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得ベキ者ハ主トシテ養蠶(養蠶實行組合ヲ含ム)ヲ以テ組織スル産業組合又

諸獎勵 緬羊飼育獎勵規則

共同畜倉庫及共同乾草裝置助成規則ニ基キ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ交付ノ申請ヲ爲シタル者ハ本令ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ交付ノ申請ヲ爲シタル者ト看做ス

一四 緬羊飼育獎勵規則

昭和六年四月一日農林省令第九號
改正昭和十二年五月農林省令第十九號
昭和十五年七月農林省令第五十五號

第一條 農林大臣ハ緬羊ノ飼育ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ道府縣又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル全國ヲ區域トスル團體ノ左ニ掲グル費用並ニ左ニ掲グル費用ニ對スル道府縣ノ補助金ニ對シ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金又ハ補助金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 緬羊ニ關スル專任技術員設置ニ要スル費用
- 二 緬羊ノ飼育又ハ羊毛若ハ羊皮ノ加工ニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ設備ニ要スル費用
- 三 緬羊ニ關スル講習會、講習會、競技會、共進會其ノ他緬羊ニ關スル知識ノ普及及向上ノ爲適當ナル施設ニ要スル費用
- 四 羊毛又ハ肉緬羊(羊肉ヲ含ム)ノ共同出荷ノ場合ニ於

ケル集荷、選別、包裝又ハ輸送ニ要スル費用

五 緬羊ノ購入又ハ共同購入斡旋ノ場合ニ於ケル緬羊ノ輸送ニ要スル費用

六 緬羊ノ輸入ノ場合ニ於ケル緬羊ノ輸送ニ要スル費用

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
一 前條第一號、第三號及第六號ノ費用又ハ之ニ對シ交付スル補助金ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内

二 前條第二號、第四號及第五號ノ費用又ハ之ニ對シ交付スル補助金ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
 - 三 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ設備ノ要領書
 - 四 補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ補助及監督ニ關スル規程
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命

ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第二號又ハ第五號ノ費用ニ對スル獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備又ハ事業ノ完了後請求書ニ精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第七條 第二條第一號ノ費用又ハ同條第一號乃至第六號ノ費用ニ對シ交付スル補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度七月三十一日迄ニ、同條第三號、第四號又ハ第六號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ事業終了後遲滞ナク事業成績書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎年度ノ事業成績書ヲ其ノ年度ノ終了後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ
第二條第六號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎年五月三十一日迄ノ蕃殖成績ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

諸獎勵 緬羊飼育獎勵規則

第八條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林大臣ノ認可ヲ受ケタルニ非ザレバ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ爲シタル設備ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更スルコトヲ得ズ

第二條第六號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林大臣ノ認可ヲ受ケタルニ非ザレバ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ輸入シタル緬羊ヲ讓渡シ又ハ移輸出スルコトヲ得ズ

第九條 第二條第六號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年内ニ其ノ交付ヲ受ケテ輸入シタル緬羊斃死シタルトキハ獸醫師ノ診斷書又ハ檢案書ヲ添附シ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣獎勵金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用又ハ補助金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ報告スベシ
第十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

諸獎勵 養鷄獎勵規則

- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ達セザルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

従前ノ規定ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍従前ノ第四條及第五條ノ規定ヲ適用ス

附 則 (昭和十五年農林省令第五十五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和十五年度ニ限り八月三十一日迄トス

従前ノ規定ニ依リ獎勵金交付ノ申請ヲ爲シタル者ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

一五 養鷄獎勵規則

昭和二年三月三十日農林省令第五號
改正昭和三年六月農林省令第四號
昭和十四年五月農林省令第二十六號

第一條 農林大臣ハ鷄ノ改良増殖ヲ圖リ鷄卵ノ増産ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ道府縣、農會、産業組合、産業組合聯合

會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 養鷄ニ關スル專任技術員ノ設置ニ要スル費用
- 二 養鷄ニ關スル共進會、競技會、講習會、講話會其ノ他養鷄知識ノ普及向上ニ關スル施設ニ要スル費用
- 三 鷄ノ飼養、孵卵、育雛、産卵能力ノ檢定又ハ飼料ノ貯藏若ハ調製ニ要スル建物、工作物又ハ器具機械ノ設備ニ要スル費用

第二條ノ二 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 前條第一號又ハ第三號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ割合ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ
- 二 前條第二號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫
- 二 事業ニ關スル收支豫算

第二條第三號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケムトス

ル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ設計書ヲ添附スベシ
前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 第二條第三號ノ費用ニ對スル獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ設備完了後請求書ニ精算書ヲ添ヘ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者第三條第一項及第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第一號又ハ第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績及收支決算ヲ翌年七月三十一日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

第七條 第二條第三號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎年度ノ事業成績ヲ其ノ年度終了後二月内ニ農林大臣ニ報告スベシ

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ備ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更スルコトヲ得ズ

諸獎勵 有畜農業獎勵規則

一六 有畜農業獎勵規則

昭和六年七月六日農林省令第十六號

- 第一條 農林大臣ハ有畜農業ノ普及發達ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル場合ニ於テ其ノ施設ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 道府縣ニ於テ有畜農業獎勵ニ關スル專任技術員ヲ設

諸獎勵 有畜農業獎勵規則

置スル場合

- 二 道府縣、畜産組合聯合會、道府縣農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ガ有畜農業ニ關シ左ニ掲グル施設ヲ爲ス場合
 - (一) 講習會、講話會、共進會其ノ他有畜農業ニ關スル知識ノ普及向上ヲ爲適當ト認ムル施設
 - (二) 飼料作物又ハ芻草ノ改良増産ニ關スル模範地ノ設置
 - (三) 飼料ノ調製又ハ貯藏ニ關スル模範設備ノ設置
 - 三 有畜農業ニ關スル共同ノ施設事業ヲ行フ組合又ハ産業組合ガ其ノ事業ニ關シ左ニ掲グル施設ヲ爲ス場合
 - (一) 家畜又ハ家禽ノ購入
 - (二) 家畜又ハ家禽ノ飼養管理ニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ設置
 - (三) 飼料作物又ハ芻草ノ改良増産ニ必要ナル土地ノ整備又ハ之ニ必要ナル工作物若ハ器具機械ノ設置
 - (四) 飼料ノ調製又ハ貯藏ニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ設置
 - (五) 畜産物ノ處理加工ニ必要ナル建物、工作物又ハ器具機械ノ設置
 - (六) 畜力又ハ厩肥ノ利用ニ必要ナル建物、工作物又ハ

器具機械ノ設置

- 第三條 獎勵金ノ額ハ前條第一號及第二號(一)ノ施設ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内トシ其ノ他ノ施設ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内トス
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
 - 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
- 土地ノ整備又ハ建物、工作物若ハ器具機械ノ設置ニ對スル獎勵金交付申請書ニハ前項ノ書類ノ外其ノ設備ノ要領書ヲ添附スベシ
- 前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
- 第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項及第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 第六條 第二條第二號(二)及(三)並ニ第三號ノ施設ニ對スル獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備又ハ事業ノ完了後請求書ニ精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第七條

第二條第一號ノ施設ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度七月三十一日迄ニ、同條第二號(一)ノ施設ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ事業終了後遲滞ナク事業成績書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第二條第二號(二)及(三)並ニ第三號ノ施設ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間每事業年度ノ事業成績書ヲ其ノ年度終了後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第八條

獎勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル建物及工作物ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林大臣ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更スルコトヲ得ズ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ整備シタル土地ニ付亦同ジ

第九條

本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十條

獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

諸獎勵 種畜設置獎勵規則

- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ
- 附 則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一七 種畜設置獎勵規則

昭和七年七月十三日農林省令第十號

- 第一條 農林大臣ハ(種畜種牛及種豚ヲ謂フ以下同ジ)ノ設置ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ道府縣、畜産組合、畜産組合聯合會、産業組合又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ニ於テ生後滿一年以上三年以下ノ種牡牛、生後滿六月以上三年以下ノ種牝牛又ハ生後滿三月以上一年六月以下ノ種豚ノ購入又ハ共同購入ノ斡旋ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ對シ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
 - 一 種畜購入ノ場合ニ在リテハ購入價格及輸送費ノ四分ノ一以内

諸獎勵 牛豚肥育事業獎勵規則

二 種畜共同購入斡旋ノ場合ニ在リテハ輸送費及斡旋ニ要スル購買員旅費ノ範圍内

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲

グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫書

二 收支豫算書

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號ノ

書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請

求セントスルトキハ事業終了後請求書ニ精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第七條 種畜ノ購入費ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者

ハ獎勵金交付ノ日ヨリ二年間毎事業年度ノ事業成績書ヲ其ノ年度終了後遅滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ購入シタル種畜ハ地方長官

ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ購入ノ日ヨリ種牛ニ在リテハ三年間、種豚ニ在リテハ二年間之ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途

ヲ變更スルコトヲ得ズ

第九條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付

ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前種牡牛馬設置獎勵規則第三條第一項ノ規定ニ依リ種牡牛ニ付購入豫定書ヲ差出シタル者ハ之ヲ本則ニ依リ種牡牛購入費ニ對スル獎勵金交付ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

一八 牛豚肥育事業獎勵規則

昭和七年七月十一日農林省令第八號

第一條 農林大臣ハ牛豚肥育事業ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル場合ニ於テ其ノ施設ニ要スル費用ニ對シ之ヲ交付ス

一 道府縣、畜産組合聯合會又ハ農林大臣ノ適當ト認ム

ル法人ガ牛豚ノ肥育ニ關シ左ニ掲グル施設ヲ爲ス場合

(一) 牛豚肥育ノ模範施設

(二) 講習會、講話會、競技會其ノ他牛豚ノ肥育ニ關ス

ル知識ノ普及及向上ノ爲適當ト認ムル施設

二 牛豚ノ肥育ニ關シ共同ノ施設事業ヲ行フ組合又ハ產

業組合ガ其ノ事業ニ關シ必要ナル建物、工作物又ハ器

具機械ノ設置ヲ爲ス場合

第三條 獎勵金ノ額ハ前條第一號(一)ノ施設ニ對スルモノニ

在リテハ其ノ費用ノ三分ノ一以内、同條第一號(二)ノ施設

ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内、同條第二號

ノ施設ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内

トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲

グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫書

二 收支豫算書

第二條第二號ノ施設ニ對スル獎勵金交付申請書ニハ前項

諸獎勵 牛豚肥育事業獎勵規則

ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添附スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又

ハ第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第一號(一)及第二號ノ施設ニ對スル獎勵金交

付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルト

キハ設備ノ完了後請求書ニ精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之

ヲ提出スベシ

第七條 第二條第一號ノ施設ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケ

タル者ハ事業終了後遅滞ナク事業成績書及收支決算書ヲ

農林大臣ニ提出スベシ

第二條第二號ノ施設ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者

ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎事業年度ノ事業

成績書ヲ其ノ年度終了後遅滞ナク農林大臣ニ提出スベ

シ

第八條 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル建物、工作物又

ハ器具機械ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林

大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途

ヲ變更スルコトヲ得ズ

諸獎勵 畜産共同施設獎勵規則

第九條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一九 畜産共同施設獎勵規則

昭和七年七月八日農林省令第七號
改正昭和十二年六月農林省令第二十二號
昭和十三年五月農林省令第十四號

第一條 農林大臣ハ牛乳、肉類及鶏卵ニ關スル共同施設ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル場合ニ於テ其ノ設備ヲ爲ス者ニ對シ其ノ費用ノ二分ノ一以内ヲ交付ス設備ノ改造又ハ

ズルコトアルベシ

第四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備ノ完了後請求書ニ精算書ヲ添付シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎事業年度ノ事業成績書ヲ其ノ年度終了後遅滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ爲シタル設備ノ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ五年間農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更スルコトヲ得ズ

第八條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

諸獎勵 畜産物販賣斡旋及受託販賣獎勵規則

擴張ニ付農林大臣特別ノ必要アリト認ムルトキ亦同ジ

一 畜産組合、畜産組合聯合會、産業組合、産業組合聯合會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ニ於テ牛乳ノ搾取、検査、淨化、冷却、殺菌若ハ加工又ハ牛乳若ハ乳製品ノ貯藏、包装若ハ輸送ニ關スル設備ヲ爲ス場合

二 畜産組合、畜産組合聯合會、農會、産業組合、産業組合聯合會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ニ於テ肉用ノ家畜若ハ家禽ノ屠殺、肉類ノ解體、選別、冷却若ハ加工又ハ肉類若ハ肉製品ノ貯藏、包装若ハ輸送ニ關スル設備ヲ爲ス場合

三 農會、産業組合、産業組合聯合會又ハ三十人以上ヲ以テ組織スル養鶏ニ關スル組合ニ於テ鶏卵ノ検査、選別、貯藏、包装又ハ輸送ニ關スル設備ヲ爲ス場合

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添付シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 設備要領書
- 三 設備ニ關スル豫算書

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

乳肉卵共同處理獎勵規則ハ之ヲ廢止ス

乳肉卵共同處理獎勵規則ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前乳肉卵共同處理獎勵規則ニ依リ爲シタル申請ハ本則ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附 則 (昭和十二年農林省令第二十二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十三年農林省令第十四號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
畜産共同施設獎勵規則第二條第四號ニ掲グル設備ニ付獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

二〇 畜産物販賣斡旋及受託販賣獎勵規則

大正十五年五月七日農林省令第八號
改正昭和六年八月農林省令第二十二號

第一條 農林大臣ハ畜産物ノ販賣斡旋及受託販賣ニ關スル事業ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ

諸獎勵 畜産物販賣斡旋及受託販賣獎勵規則

獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ畜産組合聯合會若ハ之ニ準スヘキ畜産組合、産業組合聯合會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル組合畜産物ノ販賣斡旋及受託販賣ニ關スル事業ヲ行フ場合ニ於テ左ニ掲クル費用ニ對シ其ノ二分ノ一以內ヲ交付ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ此ノ割合ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ

- 一 事業ニ從事スル專任職員ノ俸給及旅費
- 二 事業ニ要スル事務費

前項ノ規定ハ道府縣農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ムル法人畜産物ノ販賣斡旋ニ關スル事業ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第三條

獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ

- 一 事業計畫
 - 二 事業ニ關スル收支豫算
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第四條

獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ其ノ旨農林大臣ニ報告スヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績及收支決算ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ報告スヘシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ行フ同一ノ事業ニ要スル費用ニ對シ支出スル義務アルモノトス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ

- 一 獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ
- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

第八條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和六年農林省令第二十二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二 酪農業改善施設獎勵規則

昭和十四年五月十九日農林省令第二十四號

第一條 農林大臣ハ酪農業ノ改善發達ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 道府縣ノ酪農ニ關スル專任職員設置ニ要スル費用
- 二 道府縣ノ酪農ニ關スル協議會設置ニ要スル費用
- 三 道府縣ノ酪農ニ關スル調査ニ要スル費用
- 四 道府縣及農林大臣ノ適當ト認ムル全國ヲ區域トスル團體ノ酪農ニ關スル講習會、講習會、傳習會其ノ他酪農ニ關スル知識ノ普及向上ヲ目的トスル適當ナル施設ニ要スル費用

五 畜産組合、畜産組合聯合會、農會、産業組合、産業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ酪農ニ關スル講習會、講習會、傳習會其ノ他酪農ニ關スル知識ノ普及向上ヲ目的トスル適當ナル施設ニ要スル費用ニ對シ交付スル道府縣ノ補助金

六 製酪業者ノ組織スル全國ヲ區域トスル團體ノ職員設

諸獎勵 酪農業改善施設獎勵規則

置ニ要スル費用

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 前條第一號及第六號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以內
- 二 前條第二號乃至第四號ノ費用及第五號ノ補助金ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用又ハ補助金ノ範圍内

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
 - 三 第二條第五號ノ補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ補助ニ關スル規程
- 前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルベシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第一號、第二號及第六號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度五月三十一日迄ニ、同條第三號及第四號ノ費用並ニ第五號ノ補助金ニ對スル獎

諸獎勵 飼料自給獎勵規則

勸金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ事業終了後遲滞ナク事業成績書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ達セザルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二二 飼料自給獎勵規則

昭和十三年五月十日農林省令第十三號
改正昭和十五年五月農林省令第三十二號
昭和十六年五月農林省令第三十六號

第一條 農林大臣ハ飼料ノ自給ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 道府縣ノ飼料ニ關スル專任技術員設置ニ要スル費用

施設ノ爲道府縣ノ要スル費用

十 飼料ニ關スル講習會、講話會、傳習會、協議會其ノ他飼料ニ關スル知識ノ普及向上ヲ目的トスル適當ナル施設ノ爲畜産組合、畜産組合聯合會、農會、産業組合、産業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ要スル費用ニ對シ交付ス道府縣ノ補助金

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 前條第一號、第二號及第七號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以內
- 二 前條第三號及第五號ノ補助金ニ對スルモノニ在リテハ其ノ補助金額ノ範圍内ニシテ其ノ費用ノ三分ノ一以內
- 三 前條第四號、第六號及第八號乃至第十號ノ費用又ハ補助金ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用又ハ補助金額ノ範圍内

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 三 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル書類

諸獎勵 飼料自給獎勵規則

二 畜産組合、畜産組合聯合會、農會、産業組合、産業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ飼料ノ生産、調製、貯藏又ハ配給ニ關スル施設ノ設置、改造又ハ擴張ニ要スル費用

三 サイロ共同建設ノ爲ニ要スル費用ニ對シ畜産組合、農會、産業組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ交付ス道府縣ノ補助金

四 サイロノ建設ニ關スル道府縣ノ指導監督ニ要スル費用

五 糞稈類ノ石灰處理ニ關スル施設ノ設置ニ要スル費用ニ對シ畜産組合、農會、産業組合其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ交付ス道府縣ノ補助金

六 農林大臣ノ指定スル道府縣ノ飼料作物原種圃ノ經營ニ要スル費用

七 道府縣ノ飼料作物採種圃ノ經營ニ要スル費用

八 飼料作物ノ種苗配付ノ爲ニ要スル費用ニ對シ畜産組合、畜産組合聯合會、農會、産業組合、産業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ交付ス道府縣ノ補助金

九 飼料ニ關スル講習會、講話會、傳習會、協議會其ノ他飼料ニ關スル知識ノ普及向上ヲ目的トスル適當ナル施設ノ爲道府縣ノ要スル費用

ル場合ニ於テハ設備ノ要領書

四 第二條第三號、第五號、第八號及第十號ノ補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ補助ニ關スル規程

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號及第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備完了後請求書ニ精算書ヲ添附シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第七條 第二條第一號、第四號、第六號及第七號ノ費用又ハ同條第三號、第五號及第八號ノ補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ翌年度七月三十一日迄ニ、同條第九號及第十號ノ費用又ハ補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ事業終了後遲滞ナク事業成績書及收支決算書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケ

諸獎勵 漁業共同施設獎勵規則

タル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間毎年度ノ事業成績書ヲ其ノ年度ノ終了後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ但シ獎勵金ノ交付ヲ受ケ設置シタル施設ガサイロ型框ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ獎勵金ノ交付ヲ受ケテ爲シタル設備ヲ讓渡シ又ハ其ノ用途ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金ノ交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ達セザルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十六年農林省令第三十六號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ第二條第五號ノ補助金ニ對スル獎勵金交付ノ申請ニ付テハ昭和十六年度ニ限り七月三十一日迄トス

二二三 漁業共同施設獎勵規則

大正十四年六月二十六日農林省令第三十二號
改正昭和八年六月農林省令第十二號
昭和十年七月農林省令第十六號
昭和十一年四月農林省令第三號
昭和十二年四月農林省令第十一號

第一條 農林大臣ハ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ獎勵スル爲

- 本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ左ニ掲クル設備又ハ事業費ニ對シ獎勵金ヲ交付ス
- 一 水産物ノ販賣設備
- 二 水産物ノ製造、加工及處理設備
- 三 貯藏設備
- 四 漁業用水ノ製造設備
- 五 漁船及漁具設備

- 六 水産物ノ運搬設備
- 七 水産物ノ養殖設備
- 八 漁礁設備
- 九 給水設備
- 十 漁船救難設備
- 十一 水産物ノ共同出荷ノ爲必要ナル事業費
- 十二 漁業用燃油配給ノ爲必要ナル事業費

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

- 一 漁業組合又ハ漁業組合聯合會
- 二 水産會法ニ依リ設立シタル水産會
- 三 水産組合又ハ水産組合聯合會
- 四 産業組合又ハ産業組合聯合會
- 五 市町村又ハ之ニ準スヘキモノ
- 六 前各號ノ外農林大臣ニ於テ適當ト認ムル法人又ハ組合

第三條 第一條第一號乃至第九號ニ掲クル設備ニ對スル獎勵金ノ額ハ左ノ費用ノ十分ノ五以内トス

- 一 販賣設備ニ在リテハ水産物ノ共同販賣所、共同出荷所又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用

諸獎勵 漁業共同施設獎勵規則

- 二 製造、加工又ハ處理設備ニ在リテハ水産物ノ製造場、加工場若ハ處理場又ハ水産物ノ製造、加工若ハ處理ノ爲使用スル機械器具ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 三 貯藏設備ニ在リテハ水産倉庫、冷藏庫、貯氷庫、燃油槽又ハ其ノ附屬設備其ノ他水産物又ハ漁業用品ノ貯藏設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 四 漁業用水ノ製造設備ニ在リテハ漁業用水ノ製造場又ハ漁業用水ノ製造ノ爲使用スル機械器具ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 五 漁船又ハ漁具設備ニ在リテハ漁船、漁具、副漁具、船納屋、漁具納屋又ハ染網場、網干場其ノ他漁具ノ保強設備ノ新設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 六 運搬設備ニ在リテハ水産物ノ運搬ノ用ニ供スル船、車(車庫ヲ含ム)又ハ機械器具ノ新設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 七 養殖設備ニ在リテハ水産物ノ蕃殖場、蕃養場、種場、人工孵化場其ノ他ノ養殖設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用
- 八 漁礁設備ニ在リテハコンクリート礁、蛇籠其ノ他ノ物ノ沈設ニ依ル漁礁ノ新設又ハ増設ニ要シタル費用

諸獎勵 漁業共同施設獎勵規則

九 給水設備ニ在リテハ漁業又ハ漁獲物ノ處理、加工若ハ製造其ノ他漁業ト密接ナル關係ヲ有スル事業ノ爲必要ナル水ノ供給ニ關スル設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要シタル費用

第一條第十號ニ掲クル設備ニ對スル獎勵金ノ額ハ漁船遭難ノ救護又ハ豫防ノ用ニ供スル救護船、救護船格納庫、標識、信號標、無線電信裝置、無線電話裝置其ノ他ノ設備ノ新造、改造又ハ買入ニ要シタル費用ノ十分ノ六以内トス
第一條第十一號又ハ第十二號ニ掲グル事業費ニ對スル獎勵金ノ額ハ其ノ事業ヲ經營スル爲要スル費用ノ十分ノ五以内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
 - 三 設備ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル場合ニ於テハ設備ノ設計書
- 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノヲ除クノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ
- 一 規約、會則、定款又ハ寄附行爲

二 代表者ノ氏名
前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者第四條第一項各號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ設備ヲ讓渡セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第一條第十一號又ハ第十二號ニ掲グル事業費ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者第四條第一項第一號及第二號ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦前項ニ同ジ

第十二條ノ規定ハ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者ニ付之ヲ準用ス
第一項ノ規定ニ依リ讓渡ノ許可ヲ受ケタルトキハ讓受人ヲ以テ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第六條 農林大臣ハ其ノ指定シタル検査員ヲシテ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ設備ニ付検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セムトスルトキハ設備完成又ハ物件買入終了後精算書ヲ添ヘ請求書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第七條ノ二 第一條第十一號又ハ第十二號ニ掲グル事業費ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書及事

業成績書ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者解散シタルトキハ許可ハ其ノ効力ヲ失フ但シ合併後存続スル法人若ハ合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル法人ニシテ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル設備ニ付引續キ共同ノ施設ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 設備ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ定ムル目的及用途ニ從ヒ其ノ設備ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ要ス但シ其ノ使用ニ支障ナキ限り他ノ用途ニ之ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得
前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ設備ヲ讓渡セムトスルトキ亦同シ

第十條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ每事業年度終了後二月内ニ其ノ共同施設事業ノ報告書ヲ農林大臣ニ提出スヘシ

第十一條 農林大臣及地方長官必要アリト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ニ對シ何時ニテモ其ノ共同施設事業ニ關スル報告ヲ命シ書類、帳

簿又ハ事務執行ノ狀況ヲ検査シ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ設備ノ承繼人ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ツヘシ

- 一 名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
- 二 規約、會則、定款又ハ寄附行爲ヲ變更シタルトキ
- 三 組合ニ在リテハ組合員ノ加入又ハ脱退アリタルトキ
- 四 代表者ヲ變更シタルトキ
- 五 設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至リタルトキ

第十三條 前四條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ獎勵金交付ノ日ヨリ五年ヲ超エサル範圍内ニ於テ農林大臣之ヲ定ム但シ農林大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ五年ヲ超エテ義務ノ存續期間ヲ定ムルコトヲ得

第十四條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ提出者ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者若ハ其ノ設備ノ承繼人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ

諸獎勵 水産増殖獎勵規則

既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命スルコトヲ得

一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十一年農林省令第三號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

水産冷蔵獎勵規則ハ之ヲ廢止ス

水産冷蔵獎勵規則ニ依リ獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前水産冷蔵獎勵規則ニ依リ爲シタル申請ハ本則ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附 則 (昭和十二年農林省令第十一號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

海 藻

海人草(別名マクリ)

海綿

麒麟菜

若布

蕪胡菜

岩海苔

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル費用ニ對シ道府縣又ハ水産會

法ニ依リ設立シタル水産會、漁業組合、漁業組合聯合會

其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ之ヲ交付ス但シ其

ノ費用ニ對シ別ニ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ助成金ノ

交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 道府縣又ハ水産會法ニ依リ設立シタル水産會、漁業

組合、漁業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル

團體ノ水産動植物ノ増殖ニ要スル費用

二 道府縣ノ水産動植物ノ増殖ニ關スル專任技術員ノ設

置ニ要スル費用

第二條ノ二 獎勵金ノ額ハ前條ノ費用ノ二分ノ一以内トス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ獎勵金ハ前項ノ割合ヲ超エ

テ之ヲ交付スルコトアルベシ

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ事

項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ

提出スヘシ

諸獎勵 水産増殖獎勵規則

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ左ノ事

項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ

提出スヘシ

諸獎勵 水産増殖獎勵規則

二四 水産増殖獎勵規則

大正十五年四月二十四日農林省令第六號

改正昭和七年八月農林省令第十六號

昭和十二年八月農林省令第三十五號

昭和十五年四月農林省令第二十號

第一條 農林大臣ハ左ニ掲グル水産動植物ノ増殖ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

ス

鮭鱒類

鯉類

公魚

鱈

鮎

鰻

鰻(クルマエビ、イセエビ及ニシキエビ)

鮑(トコブシヲ含ム)

蛤

北寄貝

赤貝(ハイガヒ及モガヒヲ含ム)

帆立貝

海鼠

海膽

石花菜(ヒラクサ、オホブサ及オニクサヲ含ム)

一 事業計畫

二 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル事項ニ付其ノ計畫ノ内容及收支豫算

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命

スルコトアルヘシ

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前條第一項各號ノ書類

ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ其ノ事業ヲ

讓渡セムトスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケ

テ施行シタル事業ノ收支決算ヲ翌年六月三十日迄ニ農林

大臣ニ報告スヘシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者獎勵金ノ全部ヲ當該年

度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ次年度ニ

於テ同一ノ事業ニ對シ支出スル義務アルモノトス

第七條 農林大臣必要ト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケ

タル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ命スル

コトヲ得

第八條 第四條及第七條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ獎

勵金交付ノ日ヨリ五年ヲ超エサル範圍内ニ於テ農林大臣

之ヲ定ム

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ

諸獎勵 漁業經營費低減補助金交付規則

獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ
一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ

- 二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 獎勵金ノ支出額其ノ交付ヲ受ケタル事業ノ豫算ニ比シ著シク減少シタルトキ

第十條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附 則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年農林省令第二十號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條中二月末日迄トアルハ鯉類、公魚又ハ鱒ノ増殖ニ關スル獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ノ申請書ニ付テハ昭和十五年度ニ限り昭和十五年五月三十一日迄トス

二五 漁業經營費低減補助金交付規則

規則

昭和十二年八月二十日農林省令第三十六號
改正昭和十三年六月農林省令第二十三號
昭和十四年五月農林省令第二十三號

前條第四號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ

得ベキ者ハ漁業組合又ハ漁業組合聯合會ニ限ル

前條第五號及第九號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ハ道府縣又ハ道府縣水産會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ限ル

前條第六號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ

得ベキ者ハ漁業組合聯合會、漁業組合又ハ漁業用礦油ノ配給ニ關シ道府縣ヲ區域トスル漁業組合聯合會ノ幹旋ヲ受クル水産組合、産業組合若ハ産業組合聯合會ニ限ル

前條第七號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ハ漁業組合聯合會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ限ル

前條第八號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ハ帝國水産會、道府縣水産會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ニ限ル

第四條 補助金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ第二條第六號ノ費用ニ對スルモノハ特別ノ事由アル場合ニ限り第六號ノ標準ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ

- 一 第二條第一號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ二十五馬力ヲ超ユル馬力ノモノニ付テハ其ノ費用ノ十分ノ三以内、二十五馬力以下ノ馬力ノモノニ付テハ其ノ費用

諸獎勵 漁業經營費低減補助金交付規則

三八

第一條 農林大臣ハ漁業經營費低減ニ資スル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 漁業用重油發動機ノ購入及据附ニ要スル費用
- 二 漁船ノ保藏設備(防熱設備及冷藏設備ニ限ル)ノ新造又ハ改造ニ要スル費用

三 漁船ノ推進能率増進ノ爲必要ナル船首部及船尾部ノ新造又ハ改造ニ要スル費用

四 漁業用燃油槽若ハ漁業用水ノ製造設備又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設改設又ハ購入ニ要スル費用

五 漁船修理設備又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ購入ニ要スル費用

六 漁業用礦油ノ共同購入又ハ購入幹旋ニ要スル費用其ノ他漁業者ノ購入費低減ノ爲ニ要スル費用

七 漁獲物ノ配給狀況調査及市況通報ニ要スル費用

八 漁業經營費低減指導職員ノ設置ニ要スル費用

九 漁船機關修理巡廻技術員ノ設置ニ要スル費用

第三條 前條第一號乃至第三號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ハ内地ニ船籍(總噸數五噸未満ノ漁船ニ在リテハ碇繫場)ヲ有スル漁船ヲ有スル者ニシテ内地ニ住所ヲ有スルモノニ限ル

ノ十分ノ五以内

二 第二條第二號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ十分ノ五以内

三 第二條第三號ノ新造ニ要スル費用ニ對スルモノニ在リテハ漁船ノ新造費(機關及保藏設備ノ費用ヲ除ク)ノ十分ノ三以内、改造ニ要スル費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ十分ノ五以内

四 第二條第四號及第八號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ三分ノ二以内

五 第二條第五號、第七號及第九號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内

六 第二條第六號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ共同購入又ハ購入幹旋ヲ爲ス漁業用礦油一噸ニ付一圓五十錢以内

第五條 第二條第一號乃至第三號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 事業目論見書
 - 二 豫定經費明細書
 - 三 仕様書及圖面
- 第二條第四號乃至第九號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ

三九

諸獎勵 漁業經營費低減補助金交付規則

受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年
二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 收支豫算書
- 三 設計書

補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ガ團體ナル場合ニ於テハ
前二項ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ノ外左ニ掲グル書類
ヲ添附スベシ

- 一 定款、會則又ハ規約
- 二 代表者ノ氏名ヲ記載シタル書面

前三項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ
命ズルコトアルベシ

第六條 第二條第一號乃至第五號ノ費用ニ對スル補助金交

付ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項又ハ第二項ノ書類ニ記
載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林
大臣ノ認可ヲ受ケベシ第二條第六號乃至第九號ノ費用ニ
對スル補助金ノ交付ヲ受ケタル者前條第二項ノ書類ニ記
載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ
第六條ノ二 第二條第六號ノ費用ニ對スル補助金ノ交付ヲ
受ケル者仕入價格ヲ超ユル價格ヲ以テ配給ヲ爲サントス
ルトキ又ハ其ノ事業ニ伴ヒ手数料ヲ徵收セントスルトキ

第九條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者補助金ノ交付ヲ請

求セントスルトキハ工事完了又ハ物件購入後經費精算書
ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第十條 第二條第六號乃至第九號ニ掲グル費用ニ對スル補

助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌
年度六月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第十一條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人補助

金ノ交付ヲ受ケタル機關、設備又ハ漁船ヲ事業目論見書
又ハ事業計畫書ニ定ムル用途以外ノ用途ニ使用シ又ハ使
用セシメントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ但シ
其ノ用途ニ支障ナキ限り他ノ用途ニ使用シ又ハ使用セシ
ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

補助金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人補助金ノ交付
ヲ受ケタル機關、設備又ハ漁船ニ重要ナル變更ヲ加ヘ又
ハ之ヲ廢棄若ハ讓渡セントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ
受クベシ

前項ノ規定ニ依リ讓渡ノ認可アリタルトキハ讓受人ヲ以
テ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十二條 第二條第四號又ハ第五號ノ費用ニ對スル補助金

ノ交付ヲ受ケタル者ハ毎事業年度終了後遲滞ナク事業報
告書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

諸獎勵 漁業經營費低減補助金交付規則

ハ其ノ超過額又ハ手数料ノ額ニ付農林大臣ノ承認ヲ受ク
ベシ

第七條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者補助金交付ノ許可

ヲ受ケタル機關、設備又ハ漁船ヲ讓渡セントスルトキハ農
林大臣ノ認可ヲ受クベシ
補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者解散シタルトキハ許可ハ
其ノ效力ヲ失フ但シ合併後存續シ又ハ合併ニ因リ設立シ
タル法人ガ事業ノ承繼ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケタルト
キハ此ノ限ニ在ラズ解散シタル法人ト同一ノ事業ヲ行フ
者ガ補助金交付ノ許可ヲ受ケタル機關、設備又ハ漁船ノ
讓受ニ付農林大臣ノ認可ヲ受ケルトキ亦同ジ
前二項ノ認可アリタルトキハ讓受人又ハ承繼人ヲ以テ補
助金交付ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第八條 第二條第一號乃至第三號又ハ第五號ノ費用ニ對ス

ル補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者ハ補助金ノ交付ヲ受ク
ベキ機關、設備又ハ漁船ニ付別ニ定ムル検査要項ニ依リ
農林大臣ノ指定シタル検査員ノ検査ヲ受クベシ
前項ノ規定ニ依ル機關ノ検査ハ漁業用發動機検査規則第
八條ノ検査成績書ノ交付ヲ受ケタル機關ニシテ前項ノ檢
査要項ニ適合シ補助金ノ交付ヲ受ケルトコトヲ得ベキモノ
ニ在リテハ其ノ据附ニ付之ヲ行フモノトス

第十三條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ

補助金ノ交付ヲ受ケタル者又ハ其ノ承繼人ニ對シ其ノ事
業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ書類、帳簿若ハ業務執行
ノ狀況ヲ検査スルトコトアルベシ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ補助金交

付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者若
ハ其ノ承繼人ハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

- 一 氏名若ハ名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ
- 二 定款、會則又ハ規約ヲ變更シタルトキ
- 三 代表者ヲ變更シタルトキ
- 四 解散又ハ破産ノ宣告アリタルトキ
- 五 機關、設備又ハ漁船滅失シ又ハ使用スルトコト能ハザ
ルニ至リタルトキ
- 六 事業ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

第十五條 前四條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ補助金交

付ノ日ヨリ五年ヲ超エザル範圍内ニ於テ農林大臣之ヲ定
ム

第十六條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ道府縣

及區域ガ道府縣ノ區域ヲ超ユル團體ヨリ提出スルモノヲ
除クノ外地方長官ヲ經由スベシ

第十七條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ補助金ノ交

諸獎勵 薪炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則

付ヲ受ケタル者若ハ其ノ承繼人左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ補助金交付ノ許可ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ

二 補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十四年農林省令第二十三號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二六 薪炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則

規則

昭和十二年七月七日農林省令第二十六號
改正昭和十三年五月農林省令第十七號
昭和十四年四月農林省令第二十號
昭和十六年六月農林省令第四十八號

第一條 農林大臣ハ薪炭瓦斯發生裝置ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ毎年豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

前項ノ薪炭瓦斯發生裝置ハ定置用又ハ漁船用ニシテ型式

二 前條第三號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書ヲ添附シ毎年五月三十一日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

前項ノ書類ノ外府縣ハ收支豫算書並ニ補助及監督ニ關スル規程ヲ添附スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項又ハ第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ精算書ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

前項ノ書類ノ外第二條第三號ノ團體ニ在リテハ事業成績書ヲ添附スベシ

第七條 第二條第一號及第二號ノ費用又ハ補助金ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設置ノ年ヨリ三年間毎年四月三十日迄ニ前年度分ノ事業成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

諸獎勵 薪炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則

諸獎勵 薪炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則

四二

及種類ハ別ニ定ムル試験ニ毎年合格シタルモノニ限ル

第二條 獎勵金ハ左ニ掲グル費用又ハ補助金ニ對シ府縣、團體其ノ他薪炭瓦斯發生裝置ヲ設置スル者ニ之ヲ交付ス但シ別ニ國庫ヨリ獎勵金又ハ補助金ノ交付ヲ受クベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 薪炭瓦斯發生裝置ヲ設置スル爲其ノ購入ニ要スル府縣ノ費用又ハ其ノ購入ニ要スル費用ニ對シ府縣ノ交付スル補助金

二 營林局署ヨリ營林ノ指導ヲ受クル者ガ營林ニ關シ薪炭瓦斯發生裝置ヲ設置スル爲其ノ購入ニ要スル費用

三 農林大臣ノ適當ト認ムル全國ヲ區域トスル團體ノ薪炭瓦斯發生裝置普及ニ關スル指導獎勵ニ要スル費用

第三條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 前條第一號及第二號ノ費用又ハ補助金ニ對スルモノニ在リテハ各其ノ購入ニ要スル費用ノ二分ノ一以内ニシテ左ノ金額(漁船用ニ在リテハ一基ニ付三〇〇圓以内)ヲ超エザルモノトス
 - 五馬力以下ノモノ 一基ニ付 一五〇圓
 - 五馬力ヲ超エ 一基ニ付 二五〇圓
 - 十馬力以下ノモノ 一基ニ付 三〇〇圓
 - 十馬力ヲ超ユルモノ 一基ニ付 三〇〇圓

第八條 獎勵金ノ交付ヲ受ケテ設置シタル薪炭瓦斯發生裝置ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三年間農林大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ讓渡シ其ノ用途ヲ變更シ又ハ其ノ使用ヲ廢止スルコトヲ得ズ

前項ノ讓渡ノ許可ノ申請ハ讓受人ト連署ノ上之ヲ爲スベシ

第九條 農林大臣必要アリト認ムルトキハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ薪炭瓦斯發生裝置ノ使用ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ使用ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第十條 獎勵金交付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ獎勵金交付ノ許可ヲ取消シ、獎勵金ノ金額ヲ減少シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

一 本則ノ規定又ハ本則ニ基キ命ジタル事項ニ違反シタルトキ

二 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

第十一條 第二條第二號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ノ本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ營林局署長ヲ經由スベシ

附 則

四三

諸獎勵 林業共同施設獎勵規則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十六年農林省令第四十八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中五月三十一日迄トアルハ漁船用ニ在リテハ昭和十六年度ニ限リ九月三十日迄トス

二七 林業共同施設獎勵規則

大正十五年五月二十六日農林省令第三十二號
改正昭和四年十月農林省令第二十六號
昭和八年一月農林省令第二十二號
昭和十年六月農林省令第十四號
昭和十一年六月農林省令第七號
昭和十六年七月農林省令第五十七號

第一條 農林大臣ハ林業共同施設ヲ獎勵スル爲本則ニ依リ
毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ハ左ノ費用ニ對シ之ヲ交付ス

一 森林組合ノ林産物搬出ノ用ニ供スル林道及貯木場ノ
新設、増設又ハ改設ニ要スル費用ニ對スル道府縣ノ補
助金

二 産業組合及産業組合聯合會(全國ヲ區域トスルモノ
ヲ除ク)、農事實行組合、森林組合、市町村若ハ之ニ準
ズベキ者又ハ木炭ヲ取扱フ商業組合及商業組合聯合會
(全國ヲ區域トスルモノヲ除ク)ノ木炭倉庫ノ新築、増

ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣第二條各號ノ獎勵

金ヲ彼此流用セシムルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ
補助豫定書ニ記載シタル工事施行ノ箇所又ハ工種ヲ變更
セムトスルトキ亦同シ

第二條第三號ノ團體獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル後事業
計畫書ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスル
トキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五條ノ二 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル第二條第三號ノ

團體獎勵金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ請求書ニ様式
第七號ニ依ル精算書ヲ添ヘ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第六條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ左ノ書類及様式
第五號ニ依ル決算表ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣
ニ提出スヘシ

一 第二條第一號ノ場合ニ在リテハ様式第三號ニ依ル補
助成績表

二 第二條第二號ノ場合ニ在リテハ様式第四號ニ依ル補
助成績表

第六條ノ二 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第二條第一號及
第二號ノ場合ニ在リテハ毎年七月三十一日迄ニ前年度分
ノ事業成績書ヲ、同條第三號ノ場合ニ在リテハ事業報告
書ヲ事業年度經過後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

諸獎勵 林業共同施設獎勵規則

四五

築、改築又ハ買入ニ要スル費用ニ對スル道府縣ノ補助
金

三 全國ヲ區域トスル産業組合聯合會ノ木炭倉庫ノ新
築、増築、改築又ハ買入ノ爲支出スル費用

第三條 前條第一號及第二號ノ補助金ニ對スル獎勵金ノ額
ハ其ノ費用ノ四割以内ニシテ道府縣ノ負擔スル補助金額
ノ四倍ヲ超エザルモノトス
前條第三號ノ費用ニ對スル獎勵金ノ額ハ其ノ費用ノ五割
以内トス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣ハ申請書ニ左
ノ書類ヲ添ヘ前年度二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ提出ス
ヘシ

一 第二條第一號ノ場合ニ在リテハ補助金豫算書及様式
第一號ニ依ル補助豫定書

二 第二條第二號ノ場合ニ在リテハ補助金豫算書及様式
第二號ニ依ル補助豫定書

獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル第二條第三號ノ團體ハ申請
書ニ左ノ書類ヲ添ヘ前年度二月末日迄ニ之ヲ農林大臣ニ
提出スベシ

一 様式第六號ニ依ル事業計畫書
二 收支豫算書

第一項又ハ前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類

第六條ノ三 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルト

キハ獎勵金又ハ道府縣補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ
何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿
又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要
ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第六條ノ四 第六條ノ二及前條ノ義務ノ存續期間ハ獎勵金
又ハ道府縣補助金交付ノ日ヨリ三年間トス

第七條 道府縣其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年
度内ニ支出スルコト能ハサルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度
後ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ支出スル義務アルモノト
ス但シ支出スヘキ見込ナキトキハ其ノ旨ヲ決算表ニ附記
スヘシ此ノ場合ニ於テハ農林大臣ハ其ノ金額ノ還付ヲ命
スルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テ金額ノミヲ繰越使用セムトスルトキハ
第四條各號ノ書類ヲ當該年度四月三十日迄ニ提出シ農林
大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 道府縣ニ於テ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ
還付アリタルトキハ其ノ金額中獎勵金ニ相當スル金額ハ
其ノ還付アリタル年度ニ於テ行フ同一ノ事業ニ對シ之ヲ
支出スヘキ義務アルモノトス

道府縣ニ於テ前項ノ金額ヲ支出セムトスルトキハ第四條

諸獎勵 薪炭材需給調整施設助成要綱

各號ノ書類ヲ提出シ農林大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第一項ノ金額ニシテ其ノ還付アリタル年度ニ於テ支出ス
ルコト能ハサルモノハ前條ノ殘額ト看做ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附 則 (昭和四年農林省令第二十六號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前府縣職員ノ旅費ニ對シ交付シタル獎勵金ニ付テ
ハ仍從前ノ例ニ依ル

附 則 (昭和十六年農林省令第五十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第四條中前年度二月末日迄トアルハ第二條第二號及第三號
ニ該當スルモノニ付テハ昭和十六年度ニ限り昭和十六年七
月三十一日迄トス
(様式 略)

二八 薪炭材需給調整施設助成要綱

昭和十六年六月十日一六林第四五三五號
農 林 次 官 通 牒

- 第一 助成金ハ左ニ掲グル道府縣ノ費用又ハ補助金ニ對シ
道府縣ニ之ヲ交付ス
 - 一 薪炭材需給調整委員會ノ設置ニ要スル道府縣ノ費用
 - 二 産業組合、農事實行組合等ノ行フ製炭原木ノ共同購
入ニ要スル費用ニ對シ交付ス道府縣ノ補助金
- 第二 助成金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル

四六

- 一 第一第一號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用
ノ範圍内ニ於テ千百圓ヲ限度トス
- 二 第一第二號ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ購入代金
ノ四十分ノ一以內トス
- 第三 第一第二號ノ助成金ヲ受クベキ産業組合、農事實行
組合等ノ製炭原木ノ共同購入ハ左ノ條件ヲ具備スルモノ
ニ限ル
 - 一 購入金額二百圓以上タルコト
 - 二 木炭ノ販賣統制ノ實績可良ナルコト
- 第四 助成金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ事業
計畫書收支豫算書並ニ補助及監督ニ關スル規程ヲ添附シ
昭和十五年八月三十一日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ
前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命
ズルコトアルベシ
- 第五 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣第四第一項ノ書類ニ
記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農
林大臣ノ承認ヲ受クベシ
- 第六 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ昭和十六年六月三
十日迄ニ決算書及事業成績書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第七 道府縣其ノ交付シタル補助金ニ付還付ヲ命ズベキ事
由發生シタルトキハ遲滞ナク其ノ金額及事由ヲ農林大臣
ニ報告シ其ノ處分ニ付協議スベシ

第八 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣左ノ各號ノ一ニ該當
スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金ノ全部又ハ一部ノ還
付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本要綱ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ達セザルトキ

二九 肥料配給統制助成規則

昭和十五年六月八日農林省令第四十二號

- 第一條 農林大臣ハ肥料ノ配給統制ヲ圖ル爲本則ニ依リ每
年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス
- 第二條 助成金ハ道府縣、道府縣ヲ區域トスル購買組合聯
合會(以下道府縣購買組合聯合會ト稱ス)、産業組合、市
農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ左
ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス但シ其ノ費用ニ對シ國庫
ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準ズルモノノ交付ヲ受クル
場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 - 一 道府縣ニ於テ肥料配給統制ノ事務ニ従事スル專任職
員ノ設置ニ要スル費用及事務費並ニ肥料配給統制ノ事
務ニ従事スル兼任職員ノ旅費

諸獎勵 肥料配給統制助成規則

四七

- 二 道府縣購買組合聯合會ノ職員ニシテ專ラ肥料配給統
制ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用
- 三 産業組合、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當
ト認ムル團體ノ肥料配合ニ必要ナル器具機械ノ設置ニ
要スル費用
- 第三條 助成金ノ額ハ前條第一號ノ費用ニ對スルモノニ在
リテハ其ノ費用ノ三分ノ二以內、同條第二號及第三號ノ
費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ二分ノ一以內ト
ス
- 農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前條第一號ノ費用
ニ限リ前項ノ制限ニ拘ラズ助成金ヲ交付スルコトアルベ
シ
- 前條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ額ハ一箇所分千圓ヲ
超エザルモノトス
- 第四條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲
グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出
スベシ
 - 一 事業計畫書
 - 二 收支豫算書
- 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケントス
ル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添附スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六條 第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書ヲ翌年四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ設備ノ設置完成後費用ノ精算書ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ記載シタル目的及用途ニ從ヒ設備ヲ使用スルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ設備ヲ廢棄シ若ハ讓渡セントスルトキ亦同ジ

第九條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣購買組合聯合會ハ毎月ノ肥料配給ニ關スル事業ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣並ニ産業組合及購買組合聯合會以外ノ團體ハ事業成績書及收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ、産業組合及購買組合聯合會ハ財產目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書ヲ事業年度經過後遲滞ナク農林大臣ニ提出スベシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財產ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタルモノト看做ス

第十四條 第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ノ第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長

官ヲ經由スベシ

第十六條 助成金ノ交付ヲ受ケタル道府縣助成金ノ交付ヲ受ケテ支出シタル費用ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨遲滞ナク農林大臣ニ報告スベシ

第十七條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日トアルハ昭和十五年度ニ限り六月三十日迄トス

肥料配給改善助成規則ハ之ヲ廢止ス

肥料配給改善助成規則第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

肥料配給改善助成規則第十三條乃至第十六條ノ規定ハ前項ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ仍其ノ效力ヲ有ス

諸獎勵

肥料配給統制助成ニ關スル件

肥料配給改善助成規則ニ依リ提出シタル書類ハ本令ニ依リ之ヲ提出シタルモノト看做ス

三〇 肥料配給統制助成ニ關スル件

昭和十五年六月八日一五對第三三號 農林次官 依 命 通 牒

農業生産必須ノ資源タル肥料ニ關シ其ノ配給ヲ統制シ肥料ノ消費ヲ合理的ニ調整スルハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ更ニ一段ト緊要ヲ加フルモノト認メ從來道府縣購買組合聯合會等ニ對スル助成ヲ繼續スルト共ニ既定ノ道府縣肥料ノ配給割當施設ニ對スル助成ヲ一括ノ上肥料配給統制助成規則ヲ制定シ右規則ニ基キ助成金ヲ交付スルコトト相成從ツテ昭和十三年十二月二十四日附農林次官通牒「肥料配給統制助成金交付要項」ハ之ヲ廢止致候ニ付テハ左記御了知ノ上右目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 昭和十三年十二月二十四日附農林次官通牒「肥料配給統制助成金交付要項」第六項ノ規定ニ依ル義務ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル
- 二 同交付要項第八項ノ規定ハ前項ノ規定ニ關係アル範圍内ニ於テ仍其ノ效力ヲ有ス